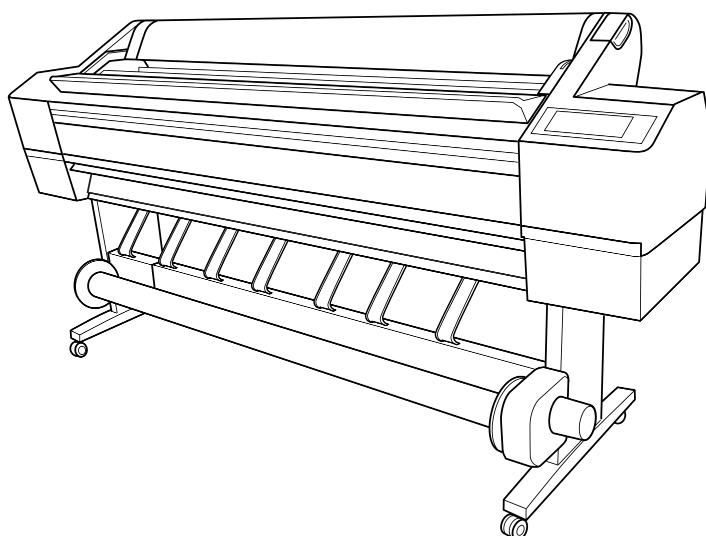
EPSON
EXCEED YOUR VISION

PX-20000
取扱説明書 1
セットアップと使い方編

- 本製品を使用可能な状態にするための準備作業や、基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などを説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

本製品をお使いいただく前に	6
セットアップ	8
操作パネルの使い方	18
用紙のセット	33
基本的な印刷方法	51
消耗品とオプション	58
メンテナンス	60
困ったときは	86
付録	104



取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

開梱と設置作業を行われる方へ	プリンタの搬入後、梱包箱から取り出して設置するまでの作業について記載しています。作業を安全に行うために、必ず本書の手順に従ってください。
取扱説明書 1 セットアップと使い方編（本書）	本製品を使用可能な状態にするための準備作業や、基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などについて説明しています。本製品の近くに置いてご活用ください。
取扱説明書 2 詳細編 （PDF マニュアル）	プリンタドライバやユーティリティの使い方を説明しています。また、さまざまな印刷の目的に応じた設定方法を詳しく説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。 本製品添付のプリンタソフトウェア CD-ROM からインストールできます。このファイルをお読みいただくには、Adobe 社の Acrobat Reader 5.0 以上または Adobe Reader が必要です。
用紙ガイド	本製品でご使用いただけるエプソン製専用紙についてご案内しています。
取扱説明書 ネットワーク編 （PDF マニュアル）	ネットワークプリンタとして使用するための情報を記載しています。

マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
!重要	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
→	関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista™ Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.2.8、v10.3、v10.4
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

Apple の名称、TrueType、Mac、Mac OS、OpenTransport、Bonjour、QuickTime は Apple Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

インクカートリッジは純正品をお薦めします

プリンタ性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお薦めします。
純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンタ本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の場合、ドライバなどでインク残量は表示されません。

安全上のご注意

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

本製品の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、アース接続して使用することを示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で本製品に触れることの禁止を示しています。

設置上のご注意

⚠警告
高温多湿の場所、換気の悪い場所、ホコリの多い場所には設置しないでください。 発煙・発火や感電の原因となるおそれがあります。

⚠注意
不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）には、設置・保管しないでください。 倒れて、けがをするおそれがあります。
ほかの機械の振動が伝わるなど、振動しがちな場所には設置しないでください。 落下によって、そばにいる人がけがをするおそれがあります。
子供の手の届く場所には、設置・保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険や故障の原因になります。次のような場所には設置しないでください。 • 風通しが悪くて狭い場所 • じゅうたんや布団の上 壁際に設置する場合は、壁から一定のすき間を空けてください。また、毛布やテーブルクロスのような布はかけないでください。 → 本書 106 ページ「設置スペース」

取り扱い上のご注意

⚠警告
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
取扱説明書で指示されている箇所以外の分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。安全装置が損傷し、プリントヘッド部分の異常過熱・感電などの事故の危険があります。
通風口など開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

⚠注意	
	本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。
	各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 配線を誤ると、火災のおそれがあります。
	本製品の上に乗ったり、重い物を置かないでください。 特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。

電源に関するご注意

⚠注意	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	本製品を移動する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
	電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長時間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。
	インターフェイスケーブルやオプション製品を取り外すときは、必ず本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電や故障の原因となることがあります。
	電源プラグの取り扱いには注意してください。 取り扱いを誤ると火災の原因となります。 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 • 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない • 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	表示されている電源（**AC100V**）以外は使用しないでください。 表示以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
	同梱の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。 感電・火災の原因となります。

⚠注意	
	破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードの上に重い物を載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない 電源コードが破損したら、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し火災の原因となります。電源コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。
	次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。 • ガス管（引火や爆発の危険があります） • 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため、危険です） • 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）
	漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。 アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災の原因となります。電源コードのアースを必ず次のいずれかに取り付けてください。 • 電源コンセントのアース端子 • 銅片などを 650mm 以上地中に埋めた物 • 接地工事（第 3 種）を行っている接地端子 アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

インクカートリッジに関するご注意

⚠注意	
(分解禁止)	インクカートリッジを分解しないでください。 分解したカートリッジは使用できません。また、分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
(禁止)	インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。 目に入ったり皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
(禁止)	一度取り付けたインクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
(禁止)	インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。 また、インクは飲まないでください。

使用済みインクカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  → 本書 65 ページ「インクカートリッジ回収のお願い」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

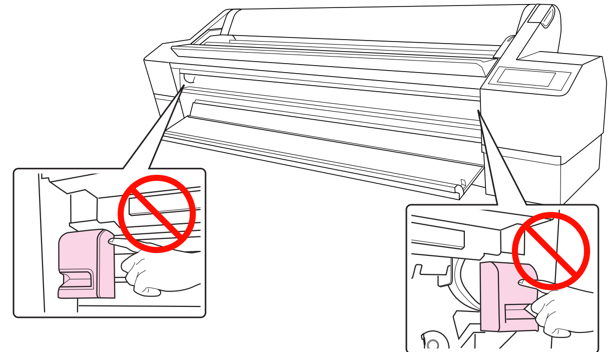
本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

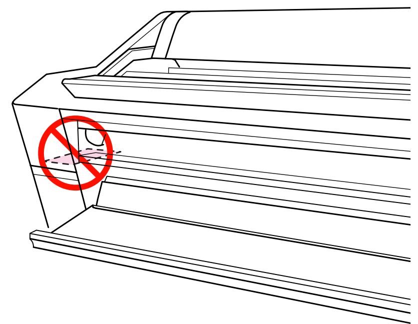
本製品内部への接触に関するご注意

プリンタ内部への不必要な接触は故障の原因となります。

（1）本体内側左右にある部品には触らないでください。



（2）左側インクカートリッジ収納ボックス上部の金属板には触らないでください。



本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

もくじ

安全上のご注意....................................1

安全上のご注意..1

記号の意味 ... 1
設置上のご注意 ... 1
取り扱い上のご注意 ... 1
電源に関するご注意 ... 2
インクカートリッジに関するご注意 ... 3
使用済みインクカートリッジの処分 ... 3
本製品の不具合に起因する付随的損害について ... 3
本製品内部への接触に関するご注意 ... 3
本製品の使用限定について ... 3

本製品をお使いいただく前に 6

各部の名称と働き 6

正面 ... 6
背面 ... 6

本製品の特長..7

セットアップ 8

保護材の取り外しと付属品の取り付け 8

保護材の取り外し ... 8
電源コードの取り付け ... 8
インクカートリッジのセット ... 9
用紙のセットと印刷の確認 ... 11

コンピュータの接続...14

プリンタドライバおよびソフトウェアの
インストール..14

Mac OS X のプリンタ追加方法 ... 15

ギャップ調整..16

Windows ... 16
Mac OS X ... 17

操作パネルの使い方 18

操作パネルの各部の
名称と役割 18

ボタン ... 18
ランプ ... 19
ディスプレイ ... 19

設定メニュー..21

設定メニューの使い方 ... 21
設定メニュー一覧 ... 23
設定メニューの説明 ... 26

メンテナンスモード 32

メンテナンスモードの
メニュー一覧 ... 32

用紙のセット 33

使用可能な用紙 33

用紙のサイズ ... 33
用紙の厚さ ... 33

ロール紙のセット... 34

スピンドルの準備 ... 34
スピンドルへの取り付け ... 34
プリンタへのセット ... 35
ロール紙のカット ... 38
ロール紙の取り外し ... 39

単票紙のセット 40

長さが A3 ノビ（483mm）より
大きい単票紙のセット ... 40
長さが A3 ノビ（483mm）までの
単票紙のセット ... 41
厚紙のセット ... 42

排紙方法 44

ロール紙の場合 ... 44
単票紙の場合 ... 44
自動巻き取り装置 ... 44
排紙バスケットの使い方 ... 49
印刷可能領域 ... 50

基本的な印刷方法 51

印刷方法 51

印刷の手順（Windows）... 51
印刷の手順（Mac OS X）... 52
印刷状態の確認 ... 54
印刷中に問題が起こったときは ... 55

印刷の中止方法 55

コンピュータで中止（Windows）... 56
コンピュータで中止（Mac OS X）... 56
プリンタ本体で中止 ... 56

ブラックインク種類の使い分け 57

消耗品とオプション 58

消耗品の紹介...58

エプソン製の専用紙 ... 58
インクカートリッジ ... 58

オプションの紹介 58

メンテナンスタンク ... 58
カッター替え刃 ... 58
ロール紙固定ベルト ... 58
排紙バスケット ... 58
デュアルテンションスピンドル ... 58
インターフェイスケーブル ... 59

メンテナンス 60

日常の管理...60

設置に適した環境 ... 60
印刷時以外のご注意 ... 60
用紙の取り扱いと保管 ... 60

インクカートリッジの交換..................................61

インクの交換が必要になった /
インクが残り少なくなったときは ... 61
インク残量を確認したいときは ... 62
インクカートリッジの種類 ... 63
インクカートリッジの交換手段 ... 64
インクカートリッジ回収のお願い ... 65

メンテナンスタンクの交換..................................66

メンテナンスタンクの空き容量を
確認したいときは ... 66
メンテナンスタンクの交換手段 ... 66
メンテナンスタンクのリサイクルについて ... 67

カッターの交換...68

プリントヘッドの調整 70

ノズルチェック ... 71
ヘッドクリーニング ... 73
パワークリーニング ... 74
自動メンテナンス機能 ... 75
プリントヘッドのギャップ調整 ... 76

排紙 / 給紙ローラのクリーニング.........................81

プリンタのお手入れ...81

プリンタ外部のクリーニング ... 81
内部のクリーニング ... 82

プリンタの保管...83

プリンタを長期間使用
しないときは ... 83
6ヵ月以上使わなかったときは ... 83
プリントヘッドの保護について ... 83

プリンタの移動・輸送 84

移動・輸送の準備 ... 84
移動・輸送 ... 84
移動・輸送後の手順 ... 84

困ったときは 86

ディスプレイにエラーメッセージが表示される.. 86

エラーメッセージが表示される ... 86
メンテナンスコールが発生したら ... 91
サービスコールが発生したら ... 91

原因の確認と対処方法 92

印刷できない（プリンタが動かない）... 92
プリンタは動くが印刷されない ... 95
印刷品質 / 印刷結果のトラブル ... 96
給紙ミス / 排紙のトラブル ... 100
その他 ... 102

お問い合わせいただく前に 103

エプソンのホームページの Q&A ... 103
プリンタドライバのバージョンアップ ... 103
ファームウェアのバージョンアップ ... 103
トラブルが解消されないときは ... 103

付録..104

プリンタドライバの
システム条件.. 104

推奨システム条件 ... 104
コンピュータとの接続条件 ... 104

本製品の仕様... 105

設置スペース ... 106
用紙仕様 ... 106
環境基本仕様 ... 107
本製品の廃棄 ... 107

サービス・サポートのご案内............................ 108

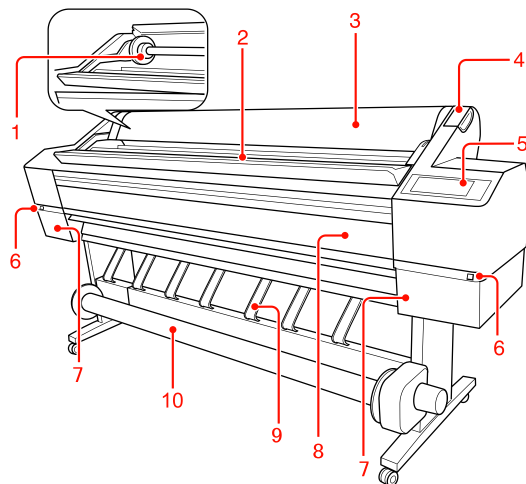
各種サービス・サポートの一覧 ... 108
保守サービスのご案内 ... 108

索引 110

本製品を お使いいただく前に

各部の名称と働き

正面



1. スピンドル
ロール紙のセットに使用します。

2. ロール紙受け
ロール紙を一時的に置く場所です。

3. ロール紙カバー
ロール紙の着脱時に開けます。

4. 用紙セットレバー
用紙を固定または解除するレバーです。

5. 操作パネル
本製品を操作するためのボタンや、状態を示すランプ、ディスプレイがあります。

6. インクカバーオープンボタン（左右 2 箇所）
インクカートリッジの取り付けや交換時に押してカバーを開けます。

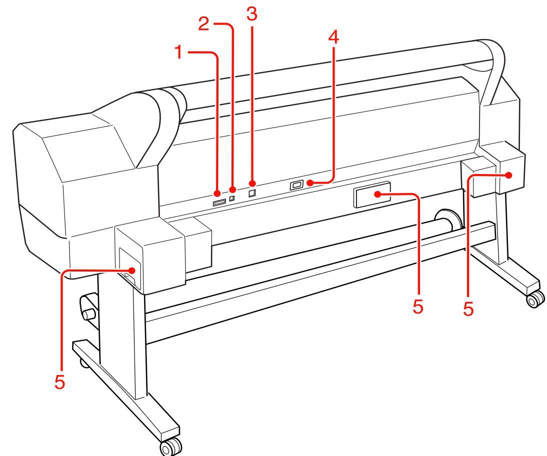
7. インクカートッリッジ収納ボックス（左右 2 箇所）
インクカートリッジを取り付ける場所です。

8. フロントカバー
カッター交換時や紙詰まり時に開けます。

9. 排紙サポート
ロール紙の排紙方向を調節するときに使用します。

10. 自動巻き取り装置
印刷中に排紙されるロール紙を自動的に巻き取ります。

背面



1. 自動巻き取り装置接続用コネクタ
自動巻き取り装置以外のコネクタを接続しないでください。

2. USB インターフェイスコネクタ
コンピュータと本製品を USB インターフェイスケーブルで接続するコネクタです。

3. ネットワークインターフェイスコネクタ
本製品をネットワークインターフェイスケーブルで接続するコネクタです。

4. 電源コネクタ
電源コードの差し込み口です。

5. メンテナンスタンク（左右、中央の 3 箇所）
廃インクを排出するタンクです。

本製品の特長

PX-20000 は、1626mm 幅のロール紙、B0 サイズの単票紙に対応した大判インクジェットカラープリンタです。

本製品の主な特長は以下の通りです。

モノクロ写真印刷

PX-P/K3 インクの搭載で、3 種類の濃度のブラックインクをメインに、淡いカラーインクの調節をし、モノクロの微妙な色調表現を可能にしました。また、アプリケーションソフトで加工することなく、プリンタドライバの機能だけで、カラー写真データから階調豊かなモノクロ写真を印刷できます。

→ 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「モノクロ写真印刷」

さまざまな用紙の種類に対応

高画質印刷を実現するために、さまざまなエプソン製の専用紙を用意しています。屋内使用、屋外使用（ラミネート加工を推奨）など用途に応じた用紙を選んで新しいアートの世界を表現できます。また、1.5mm までの厚紙に対応しており、ボード紙への印刷も可能です。

→ 用紙ガイド（冊子）

PX-P/K3 インクの搭載で、色あせしにくい高画質印刷を実現

PX-P/K3 インクとエプソン製の専用紙の組み合わせによって、優れた耐光性、耐オゾン性を発揮します。写真の印刷はもちろん、店舗のディスプレイやバナー（長尺紙）、ポスターなど、活用の場を広げます。

出力後のインクの安定性

短時間で色が安定するため、プリプレスワークフローや色校正用途として活用できます。

光源環境による色の違いの低減

これまで微妙な階調を表現するために多用していた淡い色のカラーインクを最小限に抑え、ライトグレーインクを活用することで、光源環境による色の違い（メタメリズム）を低減しています。異なった光源下でも安定した色を保ち、常に高品位な出力ができます。

フチなし印刷

自動拡大や原寸維持での四辺フチなし印刷ができます。

→ 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「フチなし印刷」

また、印刷結果をそのままつなぎ合せて大きなポスターができるフチなしポスター印刷機能があります。

→ 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「ポスター印刷（拡大分割して印刷）」

自動巻き取り装置標準装備

印刷中に排紙される用紙を自動的に巻き取るため、汚れや折れなどを防止できます。保管や運搬にも便利です。

2 種類のブラックインクを自動選択

本製品は、光沢系用紙で滑らかな仕上がりを実現するフォトブラックと、マット系用紙で高濃度の発色が得られるマットブラックの 2 種類のブラックインクが常時セットされています。選択した印刷用紙に応じてこれらのブラックインクを自動的に切り替えて使用します。

大容量（700ml）インクカートリッジ

大量印刷や大判の印刷に対応する 700ml の大容量インクカートリッジを使用します。

高速 USB2.0/GigabitEthernet

USB 2.0 High Speed と GigabitEthernet での通信が可能です。

ロール紙残量設定

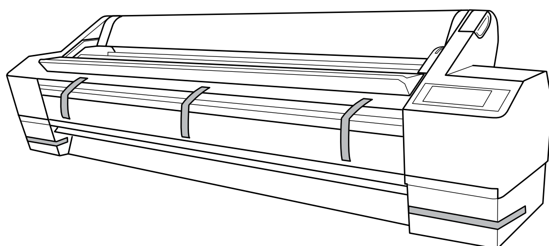
ロール紙残量を表示します。また、ロール紙取り外し時に用紙種類、ロール紙長さなどの情報をバーコード印刷し、次回使用時の設定を効率化します。

セットアップ

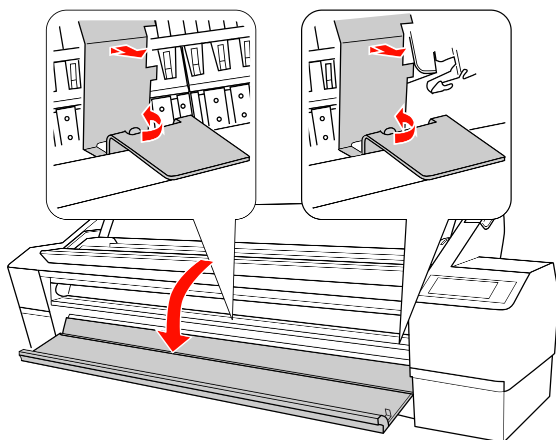
保護材の取り外しと付属品の取り付け

保護材の取り外し

1 プリンタ本体に貼られているテープはすべてはがし、内部に梱包材が残っていないかを確認します。



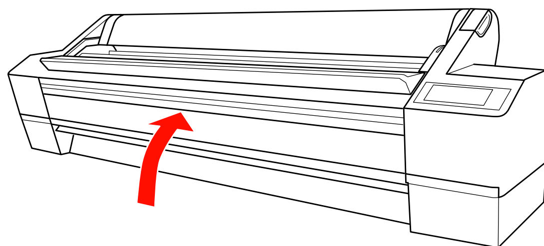
2 フロントカバーを開け、プリントヘッドを固定しているネジを回して、金属板を少し上に持ち上げて手前に取り外します。



！重要

- 梱包用の箱と本体から取り外した保護材は、再輸送の際に使用しますので大切に保管しておいてください。
  → 本書 84 ページ「プリンタの移動・輸送」
- プリントヘッド周辺のケーブル類には触らないでください。故障の原因となります。
  → 本書 68 ページ「カッターの交換」手順 7

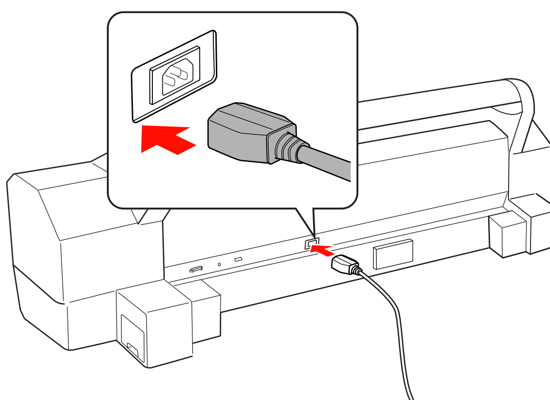
3 フロントカバーを閉じます。



以上で終了です。

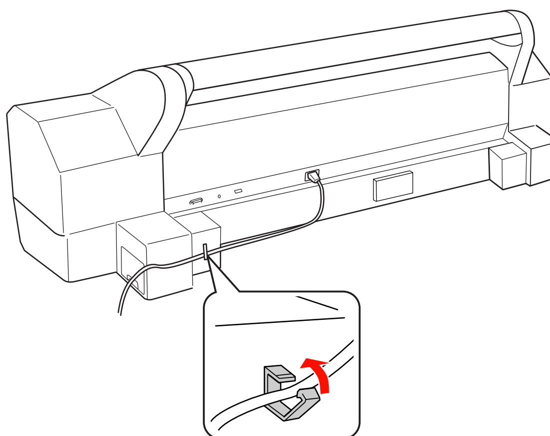
電源コードの取り付け

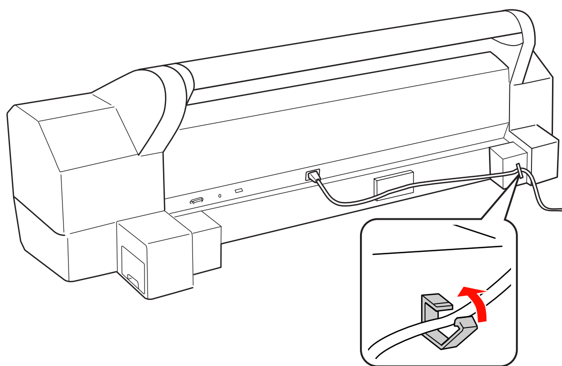
1 プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを接続します。



2 電源コードをプリンタ背面のクランプに取り付けます。

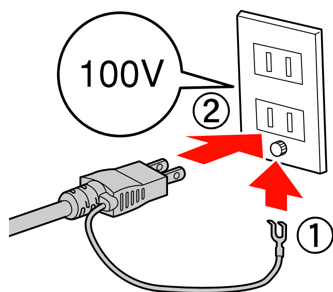
設置場所に合わせて、背面の左または右にコードを配線してください。





3 **AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。**

アース線の接続端子がある場合は、アース線を接続します。





AC100V の電源以外は使用しないでください。

参考

漏電による事故防止について
本製品の電源コードにはアース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電した場合に、電気を逃がし感電事故を防止することができます。コンセントにアースの接続端子がない場合は、アース端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更は、お近くの電気工事店にご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

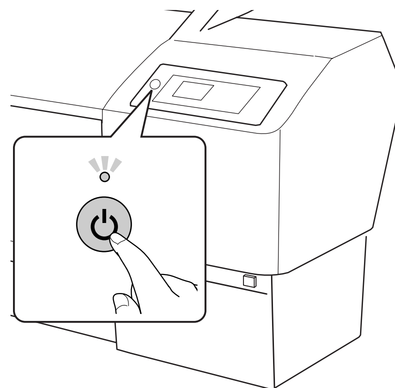
以上で終了です。

インクカートリッジのセット

！重要

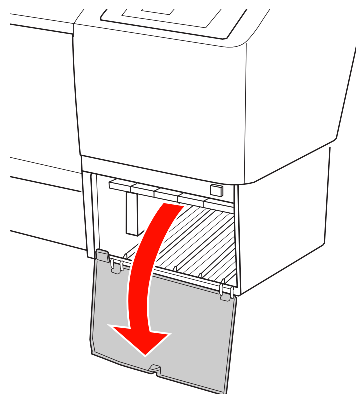
同梱のインクカートリッジは初期充てん用です。初期充てんではプリンタ内部までインクを充てんするため、早めにインクがなくなります。また、インク充てん作業を途中で誤った場合、充てん作業をやり直すためより多くのインクを消費します。必ず以降の手順に従ってインクカートリッジを取り付けてください。

1 **操作パネルの ⏻ ボタンを押して、プリンタの電源を入れます。**

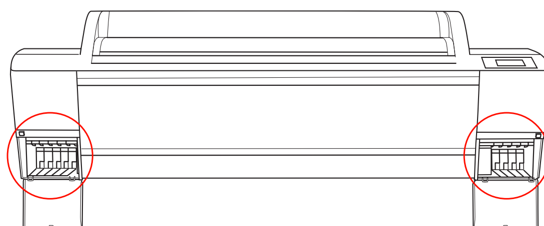


2 **インクカバーが開いたら、手で下まで開きます。**

ランプが点滅し、その後消灯したらインクカバーのロックが解除され、カバーが 5mm ほど開きます。

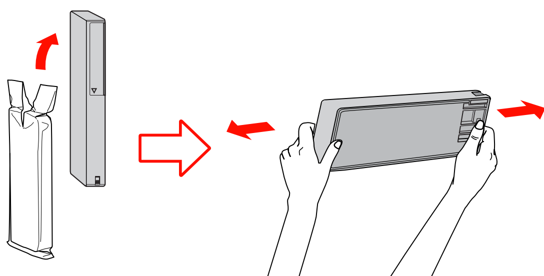


3 **インクカートリッジとカートリッジスロットを確認します。**



スロット番号	インクの色
#1	ビビッドライトマゼンタ
#2	ライトグレー
#3	マットブラック
#4	グレー
#5	ライトシアン
#6	シアン
#7	ビビッドマゼンタ
#8	フォトブラック
#9	イエロー

4 **インクカートリッジを袋から取り出し、図のように持って 5 秒ほど振ります。**

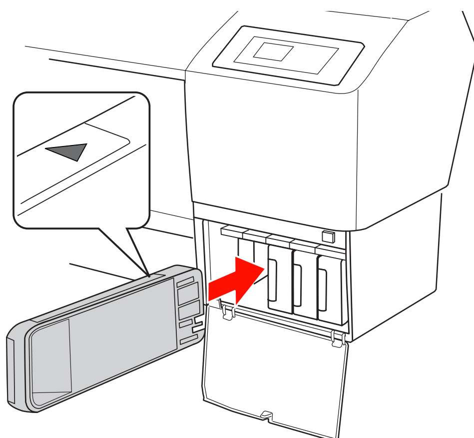


!重要

インクカートリッジに付いている緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。

5 **インクカートリッジの▲マークを上にして、カチッと音がするまで差し込みます。**

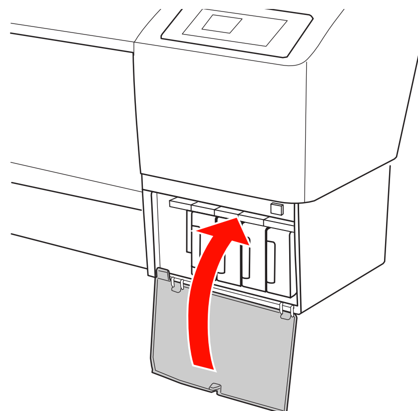
インクカートリッジの色と本体ラベルの色を合わせてください。



!重要

9 種類すべてのインクカートリッジをセットしてください。ひとつでもセットされていないと初期充てんされません。

6 **インクカバーを閉じます。**



インクの充てんが開始されます。インクの充てんには約 10 分かかります。

!重要

インク充てん中は次のことにご注意ください。
①電源を切らないでください。
②電源コードをコンセントから抜かないでください。
③フロントカバーを開けないでください。
④用紙セットレバーを操作しないでください。
⑤インクカートリッジ収納ボックスのカバーを開けないでください。
⑥メンテナンスタンクを抜かないでください。

7 **インクの充てんが終了したことを確認します。**

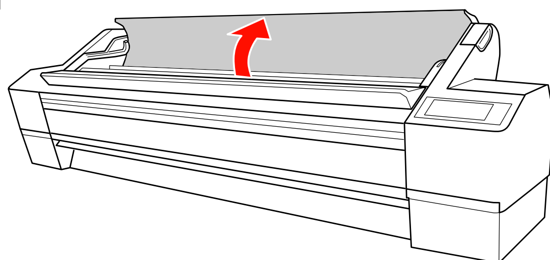
充てんが終了すると操作パネルのディスプレイに「用紙なし 用紙をセットしてください」と表示されます。

用紙のセットと印刷の確認

お試し印刷用ロール紙をプリンタにセットします。

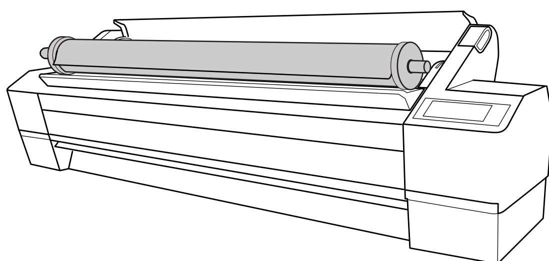
参考
- お試し印刷用ロール紙は、スピンドルにセットされた状態で同梱されています。
- お試し印刷用ロール紙以外のロール紙を使用するときは、以下を参照してください。
  → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」

1 **ロール紙カバーを開けます。**



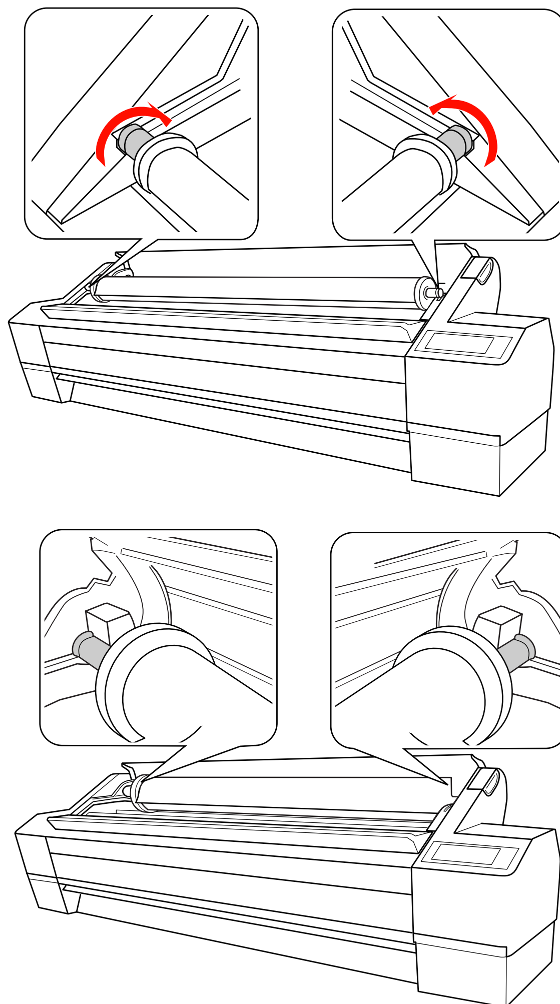
2 **固定用紙ストッパ（グレー）側を右側にしてロール紙を持ち上げてロール紙受けに置き、右に寄せます。**

⚠注意 ロール紙は重いので必ず 2 人で持ち上げてください。持ち上げるときは、両端の用紙ストッパを持ってください。



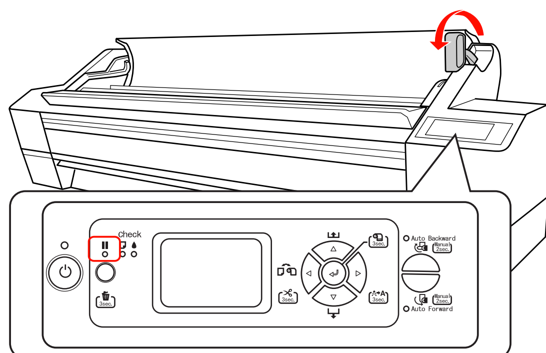
参考
固定用紙ストッパ（グレー）の説明は、以下を参照してください。
→ 本書 34 ページ「スピンドルの準備」

3 **両端のレールに沿わせながら、ロール紙をゆっくり奥まで転がして、スピンドル受けにセットします。**



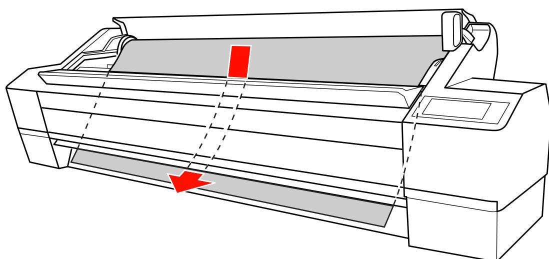
4 **ポーズランプが点滅していないことを確認してから、用紙セットレバーを手前に起こします。**

ディスプレイに「用紙をセットしてください」と表示されます。

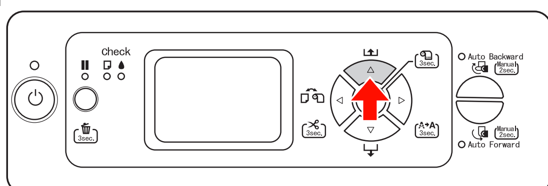


5 **ロール紙を給紙スロットに挿入して、フロントカバーの下方から引き出します。**

紙端が折れないよう、用紙のたわみを取るようにして挿入してください。



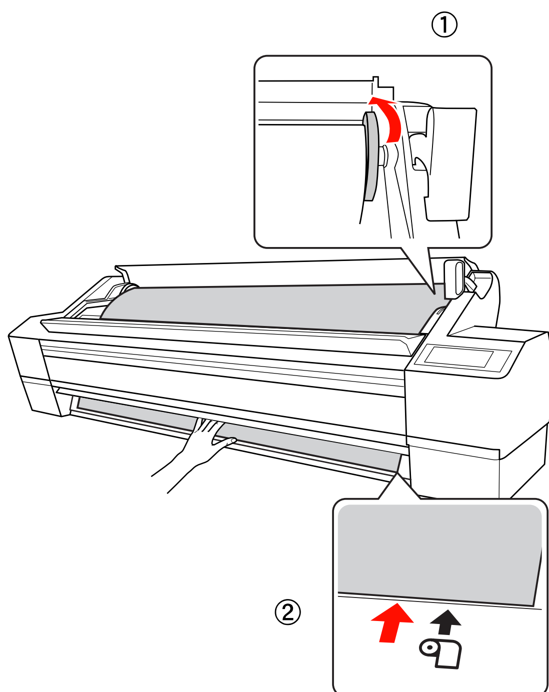
6 **△ ボタンを押して吸着力を強めます。**



7 **ロール紙の先端を用紙セット位置に合わせます。**

一旦ロール紙を用紙セット位置より下まで引き出し、スピンドルを回して少しずつ巻き戻してください。

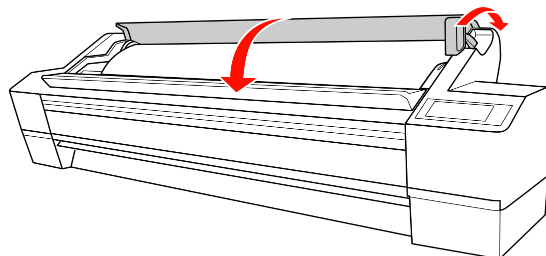
ロール紙を巻き戻しにくい場合は▽ボタン、用紙がたわむ場合は△ボタンで吸着力の強弱を調節してください。



！重要

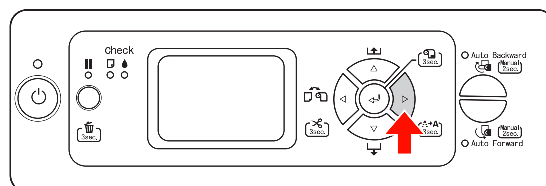
用紙が斜めにセットされると、正しく印刷されません。必ず用紙セット位置に合わせてまっすぐセットしてください。

8 **用紙セットレバーを奥に倒して、ロール紙カバーを閉じます。**

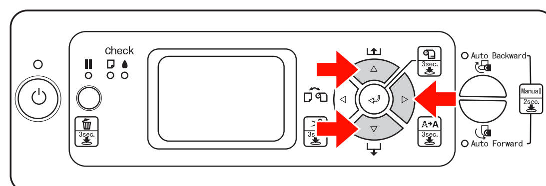


Ⅱ ボタンを押すか、そのまましばらく待ちます。

9 **ディスプレイに「以下の用紙を使いますか？」と表示されたときは、▷ボタンを押してセットした用紙の種類を選択します。**

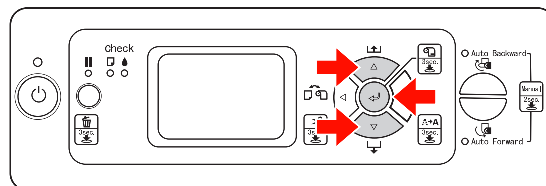


10 **△/▽ボタンを押して用紙種類を選択し、▷ボタンを押します。**

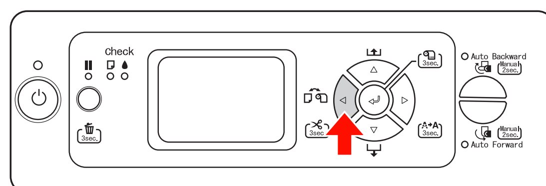


11 **△/▽ボタンを押してセットしている用紙を選択し、⏎ ボタンを押します。**

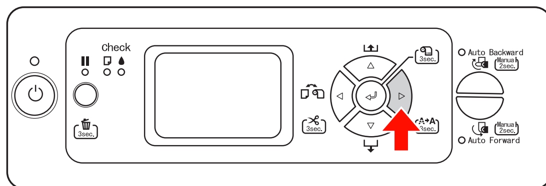
「印刷可能」と表示されます。



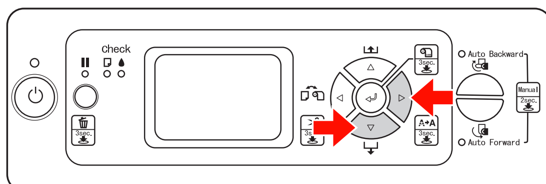
12 **◁ボタンを押してディスプレイに ✂ を表示させます。**



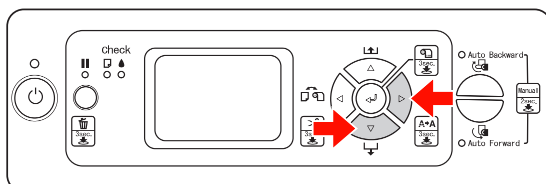
13 **▷ボタンを押してパネル設定モードに入ります。**



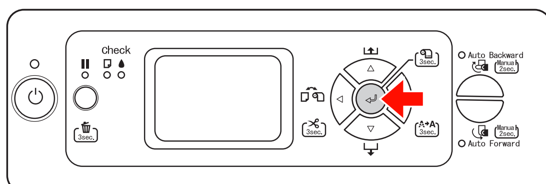
14 **▽ボタンを押して［テスト印刷］を選択し、▷ボタンを押します。**



15 **▽ボタンを押して［ステータスシート］を選択し、▷ボタンを押します。**



16 **↵ボタンを押してステータスシートを印刷します。**



以上で終了です。

ステータスシートが印刷されないときは、セットアップの手順を確認してください。

→ 本書 8 ページ「セットアップ」

コンピュータの接続

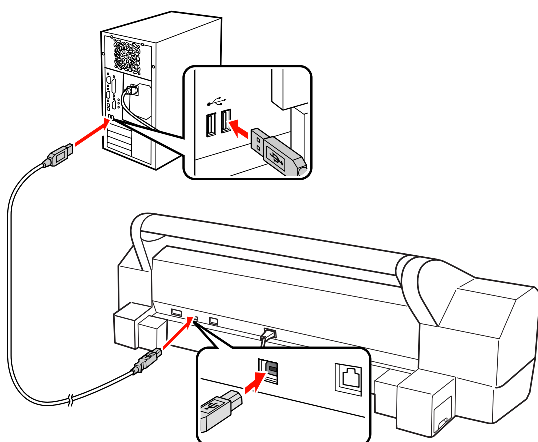
USB ケーブルまたはネットワークケーブルで本製品とコンピュータを接続します。ケーブルは本製品に同梱されていませんので、以下を参照して用意してください。

→ 本書 59 ページ「インターフェイスケーブル」

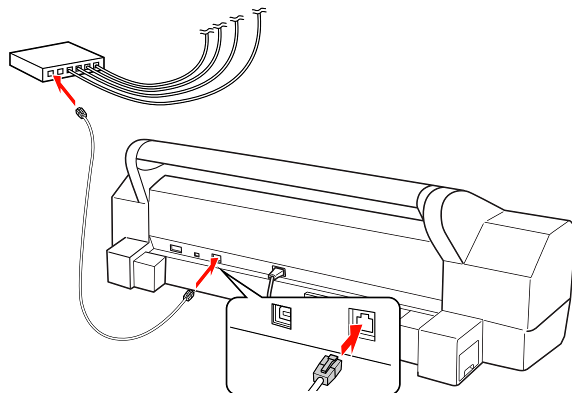
1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **コネクタの向きに注意して、プリンタとコンピュータにケーブルを接続します。**

< USB ケーブルの場合>



<ネットワーク接続の場合>



参考
USB とネットワークを同時に接続するときは、それぞれのコンピュータから個別にプリンタのソフトウエアをインストールします。プリンタには USB ケーブルとネットワークケーブルの両方を同時に接続できます。

以上で終了です。

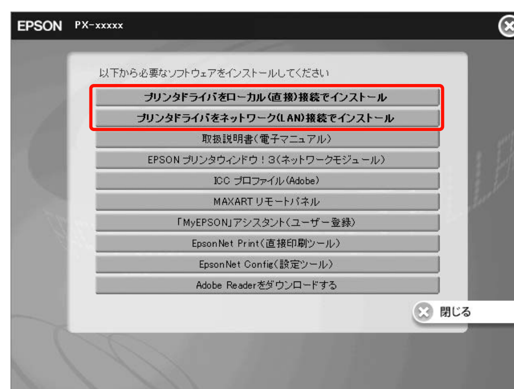
プリンタドライバおよびソフトウェアのインストール

!重要
管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。

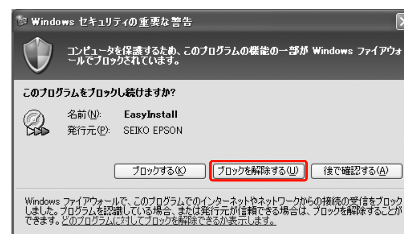
1 **コンピュータを起動してソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2 **次の画面が表示されたら、コンピュータとの接続形態に合わせてプリンタドライバをインストールします。**

プリンタをコンピュータに直接接続するときは［プリンタドライバをローカル（直接）接続でインストール］を、ネットワークケーブル接続のときは［プリンタドライバをネットワーク（LAN）接続でインストール］をクリックし、画面の指示に従ってインストール作業を進めます。



参考
以下の画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON」であることを確認して、［ブロックを解除する］をクリックしてください。



3 **その他必要なソフトウェアは画面のメニューから選択し、インストールします。**

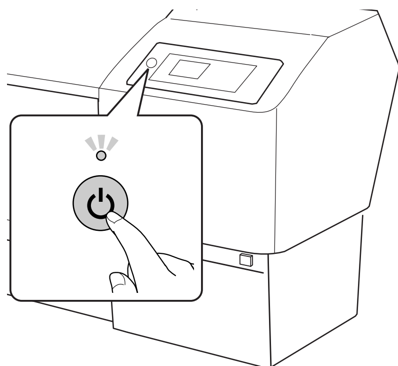
以上で終了です。

Mac OS X のプリンタ追加方法

！重要

- 管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。
- ネットワーク接続するときは、ネットワーク設定をしてください。
  → 取扱説明書 ネットワーク編（PDF マニュアル）

1 操作パネルの ⏻ ボタンを押して、プリンタの電源を入れます。



2 [アプリケーション] － [ユーティリティ] － [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします。

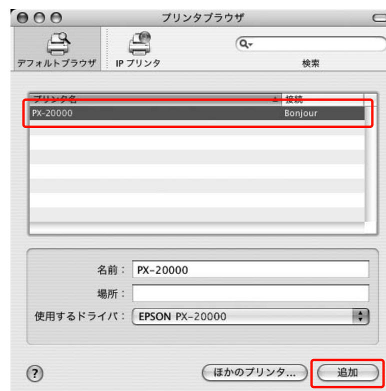


3 [追加] をクリックします。



使用可能なプリンタがないときは、追加を促す画面が表示されます。[追加] をクリックすると手順 4 の画面が表示されます。

4 本製品を選択し、[追加] をクリックします。



ネットワーク接続で、上記の一覧に本製品が表示されないときは、次の手順に進みます。

① [ほかのプリンタ] をクリックします。

② [EPSON TCP/IP] など接続方法を選択後、本製品を選択して、[追加] をクリックします。



5 リストの中に本製品が追加されたことを確認し、画面を閉じます。



以上で終了です。

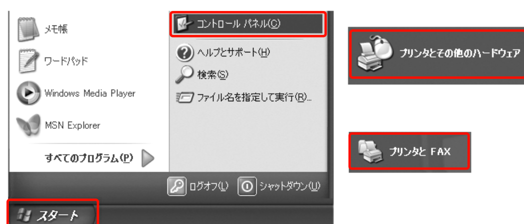
ギャップ調整

ギャップ調整はプリントヘッドのずれを修正する作業です。ギャップ調整は工場出荷時に行われていますが、輸送中の振動などにより、ずれが発生することがあります。より良好な印刷結果を得るためにギャップ調整をしてください。

Windows

1 **［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。**

Windows XP
［スタート］ － ［コントロールパネル］ － ［プリンタとその他のハードウェア］ － ［プリンタと FAX］の順にクリックします。

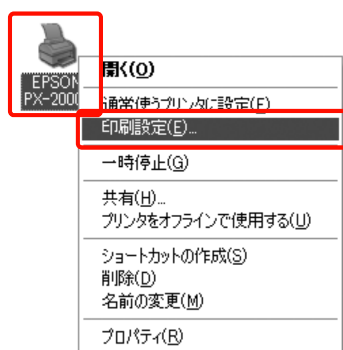


> **参考**
> Windows XP のコントロールパネルの表示を［クラシック表示］にしている場合は、［スタート］ － ［コントロールパネル］ － ［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista
［ ］ － ［コントロールパネル］ － ［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックします。

Windows 2000
［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］の順にクリックします。

2 **本製品のプリンタアイコンを右クリックして［印刷設定］をクリックします。**



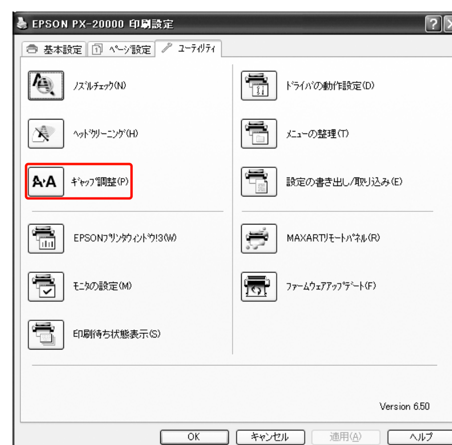
プリンタドライバの設定画面が表示されます。

3 **［ユーティリティ］をクリックします。**



4 **［ギャップ調整］をクリックします。**

以降は、画面の表示に従ってください。自動的にギャップを調整します。



以上で終了です。

Mac OS X

1 ［アプリケーション］－［EPSON Printer Utility2］の順にダブルクリックします。



2 プリンタリストが表示されたときは、本製品を選択して［OK］をクリックします。

3 ［ギャップ調整］をクリックします。

以降は、画面の表示に従ってください。自動的にギャップを調整します。



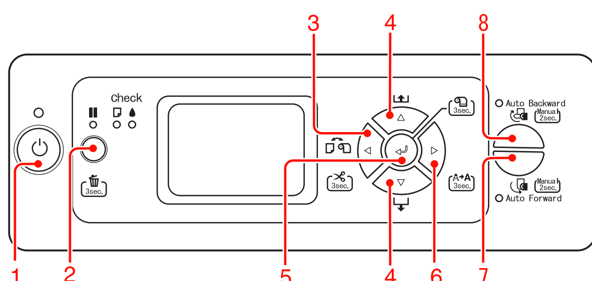
以上で終了です。

操作パネルの使い方

操作パネルの各部の名称と役割

操作パネルでインク残量やプリンタの状態を確認できます。

ボタン



1. 電源ボタン（ ⏻）
プリンタの電源を入 / 切します。

2. ポーズ / リセットボタン（⏸ / 🗑 ）
印刷可 / 不可状態を切り替えます。

- 3 秒以上押すと［リセット］ボタンとして機能します。印刷を中止し、稼働中のインターフェイスで受信した印刷データを消去（リセット）します。リセット後、印刷可能状態になるまで時間がかかることがあります。
- パネル設定モード中に押すと、パネル設定を終了し、印刷可能状態にします。

3. 用紙選択ボタン（ ◁ ）

- 用紙種類とロール紙選択時のカットを設定します。押すたびに、ディスプレイに表示されるアイコンが切り替わります。ただし、パネル設定モードの［用紙残量設定］で［ON］を設定しているときに用紙をセットすると、切り替えできません。

アイコン	説明	
	ロール紙 自動カット	ロール紙に印刷します。1 ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	ロール紙 カッターオフ	ロール紙に印刷します。カットせずに印刷します。市販のカッターなどを使って切り離してください。
	単票紙	単票紙に印刷します。

- 3 秒以上押すと、ロール紙のカットや紙送りをします。
- パネル設定モード中に押すと、現在の階層から上位階層（設定値→設定項目→設定メニュー→印刷可能）へ戻ります。
- プリンタドライバから印刷するときは、プリンタドライバの設定が優先します。

4. 用紙送りボタン（ △ / ▽ ）

- ロール紙を正方向（ ▽ ）または逆方向（ △ ）に送ります。3 秒以上押すと速く送ります。
  1 回の操作で用紙を 20cm まで送ることができます。
- ロール紙が検出され、用紙セットレバーが解除位置にある状態で操作すると、給紙経路にロール紙を吸着する力を 3 段階で調整できます。
  → 本書 35 ページ「プリンタへのセット」
- 単票紙がセットされているときに ▽ を押すと排紙します。
- パネル設定モード中に押すと、各階層（設定メニュー、設定項目、設定値）での次の選択肢（ ▽ ）または前の選択肢（ △ ）に切り替えます。

5. 実行ボタン（ ⏎ ）

- パネル設定モード中に設定値の階層で押すと、選択した設定値を有効にしてプリンタに登録したり、選択した機能を実行します。
- パネル設定モードの［用紙残量設定］で［ON（交換時印刷モード）］を設定しているときに 3 秒以上押すと、ロール紙の先端にバーコードを印刷し、用紙セットレバーを解除します。

6. Menu ボタン（ ▷ ）

- メニュー移行可能状態（印刷可能状態または用紙なし状態）で押すと、パネル設定モードになります。
  → 本書 21 ページ「設定メニュー」
- 印刷中に押すと、パネル設定モードの［プリンタステータス］メニューになります。
  → 本書 28 ページ「［プリンタステータス］メニュー」
- パネル設定モード中に押すと、現在の階層から下位階層（設定メニュー→設定項目→設定値）へ進みます。
- 3 秒以上押すとプリントヘッド（全色）のクリーニングを行います。

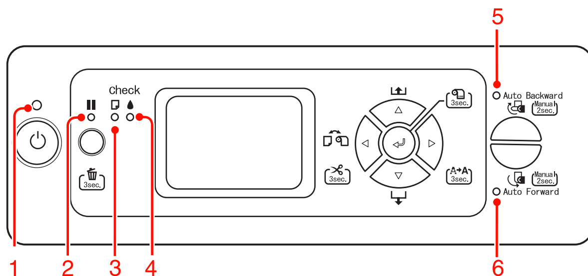
7. Auto Forward

- センサの検知エリアにロール紙が送り出されたときに、自動で印刷面を外側にしてロール紙を巻き取ります。
- ランプ点灯時に 2 秒以上押すと、自動巻き取り装置の巻取りと、本体側の紙送りが同時に行われます。
  ランプ消灯時に 2 秒以上押すと自動巻き取り装置の巻取りのみが行われます。

8. Auto Backward

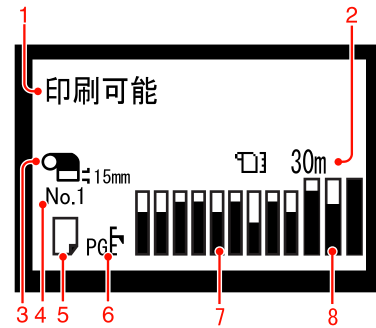
- センサの検知エリアにロール紙が送り出されたときに、自動で印刷面を内側にしてロール紙を巻き取ります。
- ランプ点灯時に2秒以上押すと、自動巻き取り装置の巻取りと、本体側の紙送りが同時に行われます。
ランプ消灯時に 2 秒以上押すと自動巻き取り装置の巻取りのみが行われます。

ランプ



1	電源ランプ	点灯	プリンタの電源が入っています。
		点滅	データ受信中 / プリンタの電源オフ処理中です。
		消灯	プリンタの電源が切れています。
2	ポーズランプ	点灯	パネル設定モード中 / ポーズ中 / エラー発生など
		消灯	印刷可能
3	用紙チェックランプ	点灯	用紙なしエラー / 用紙セットレバー解除中 / 用紙設定違いなど
		点滅	用紙詰まりエラー / 用紙斜行エラーなど
		消灯	印刷可能
4	インクエンドランプ	点灯	インクエンド / カートリッジ未装着 / カートリッジ違いなど
		点滅	インク残量少
		消灯	印刷可能
5	Auto Backward	点灯	Auto Backward 機能有効
		点滅	巻き取りエラー
		消灯	Auto Backward 機能無効
6	Auto Forward	点灯	Auto Forward 機能有効
		点滅	巻き取りエラー
		消灯	Auto Forward 機能無効

ディスプレイ



1. メッセージ
プリンタの状態や、操作･エラーメッセージを表示します。
→ 本書 86 ページ「ディスプレイにエラーメッセージが表示される」
→ 本書 26 ページ「設定メニューの説明」
また、メッセージ 2 行目に以下の情報を表示することがあります（表示可能なときのみ）。

2. ロール紙残量
ロール紙の残量を表示します。
［用紙設定］メニューの［ロール紙残量］で以下の操作を行うと、（ ）マークとロール紙残量を表示します。

- ［用紙残量設定］で［ON］を設定
- ［ロール紙長さ］で、プリンタにセットされているロール紙の長さを設定
- ［ロール紙長さ警告］で、ディスプレイに警告を表示するタイミング（ロール紙残量）を設定

［用紙残量設定］で［OFF］を選択すると、ロール紙残量は表示されません。

3.［ロール紙余白］の設定値
（ ）マークの横に［ロール紙余白］で設定した値を表示します。

- 15mm：［先端 & 後端 15mm］に設定
- 35/15mm：［先端 35/ 後端 15mm］に設定
- 3mm：［四辺 3mm］に設定
- 15mm：［四辺 15mm］に設定

［ロール紙余白］で［デフォルト］を選択すると、何も表示されません。
→ 本書 23 ページ「設定メニュー一覧」

4. ［ユーザー用紙設定］の登録番号
［ユーザー用紙設定］の［用紙番号］で「1」～「10」のいずれかを選択したときに、選択した番号を表示します。
→ 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「プリンタでのユーザ用紙設定」

5. 用紙種類とロール紙カット設定
用紙種類とロール紙カットの設定を表示します。
［用紙選択］ボタン（◁）で設定した、用紙種類とロール紙選択時のカットの設定を以下のアイコンで表示します。
プリンタドライバから印刷するときは、プリンタドライバの設定が優先します。

アイコン	説明
	ロール紙に印刷します。1 ページ印刷するごとに自動カットします。
	ロール紙に印刷します。自動カットしません。
	単票紙に印刷します。

6. ［プラテンギャップ］の設定
［プラテンギャップ］の設定を表示します。
［ユーザー用紙設定］で選択した登録番号が表示されているときは、［プラテンギャップ］の設定は表示されません。
→ 本書 23 ページ「設定メニュー一覧」

アイコン	説明
表示なし	［標準］を選択
PGE	［狭くする］を選択
PGE	［広くする］を選択
PGE	［より広くする］を選択
PGE	［最大］を選択

7. 各色インク残量の目安
１から９までのアイコンで各色のインク残量を表示します。

- インクカートリッジ

番号	インクの色
1	ビビッドライトマゼンタ（VLM）
2	ライトグレー（LGY）
3	マットブラック（MB）
4	グレー（GY）
5	ライトシアン（LC）
6	シアン（C）
7	ビビッドマゼンタ（VM）
8	フォトブラック（BK）
9	イエロー（Y）

- インク残量

アイコン			インクカートリッジ残量
			十分なインク残量があります。
			新しいインクカートリッジを準備することをお勧めします。
Y			新しいインクカートリッジを準備してください。（点滅表示） アイコンはイエローの例です。
Y			インクが少ないため、印刷できない状態です。新しいインクカートリッジに交換してください。 アイコンはイエローの例です。
			カートリッジを認識しません。

8. メンテナンスタンクの空き容量の目安
右側３つのアイコンで左、中央、右のメンテナンスタンク空き容量を表示します。

アイコン			メンテナンスタンクの空き容量
			十分な空き容量があります。
			新しいメンテナンスタンクを準備することをお勧めします。
			新しいメンテナンスタンクを準備してください。（点滅表示）
			メンテナンスタンクの空き容量がなくなりました。新しいメンテナンスタンクに交換してください。

設定メニュー

通常の印刷に必要なプリンタの設定は、プリンタドライバまたはアプリケーションソフトで行いますが、プラテンギャップやユーザー用紙などの設定は操作パネル（パネル設定モード）で行います。また、プリンタに関する情報の表示や、ノズルチェックパターン印刷などの機能を実行できます。

設定メニューの使い方

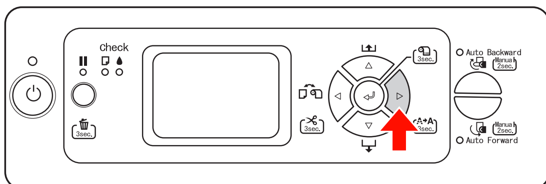
参考
Ⅱ ボタンを押すと、パネル設定モードから印刷可能状態に戻ります。
各階層で ◁ ボタンを押すと、1 つ上の階層に戻ります。

操作方法の概略は、次の通りです。

1. 設定メニューを選択します

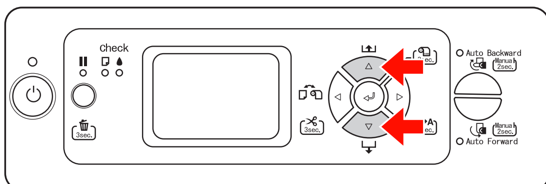
例）［プリンタ設定］メニューを選択します。

1 ▷ボタンを押してパネル設定モードに入ります。

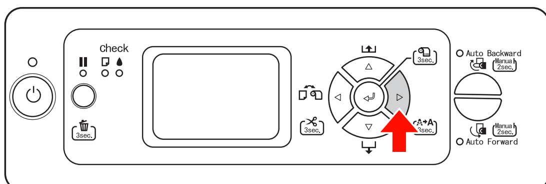


各メニューが表示されます。

2 △/▽ボタンを数回押して［プリンタ設定］を選択します。



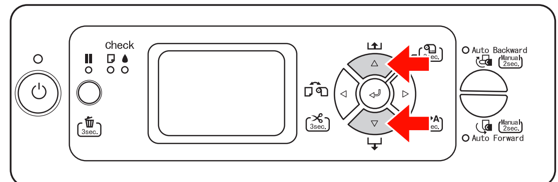
3 ▷ボタンを押して［プリンタ設定］メニューに入ります。



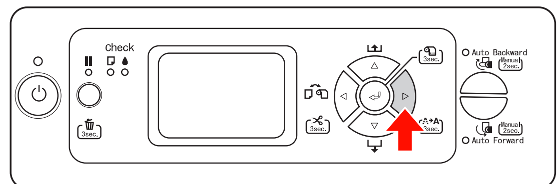
2. この後の操作は、設定項目によって異なります。

A. 設定値を選択する項目の場合
例）［プリンタ設定］メニューの［プラテンギャップ］の場合

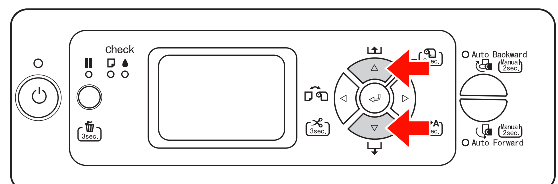
1 ［プリンタ設定］メニューで△/▽ボタンを数回押して［プラテンギャップ］を選択します。



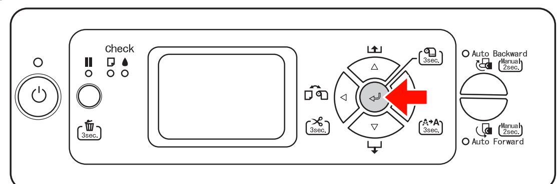
2 ▷ボタンを押して［プラテンギャップ］項目に入ります。



3 △/▽ボタンを数回押して［プラテンギャップ］の設定値を選択します。
現在の設定値には（＊）が表示されます。



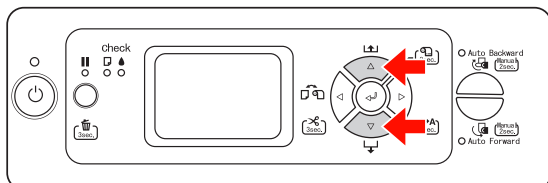
4 ⏎ ボタンを押して設定値を決定します。



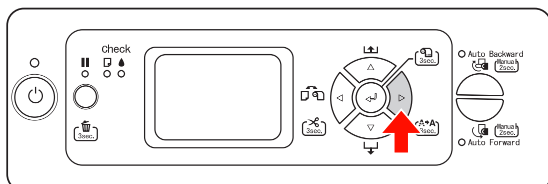
5 ◁ボタンを押して 1 つ上の階層（設定項目の階層）へ戻るか、Ⅱ ボタンを押してパネル設定モードから抜けます。

B. 機能を実行する項目の場合
例）［テスト印刷］メニューの［ノズルチェック］の場合

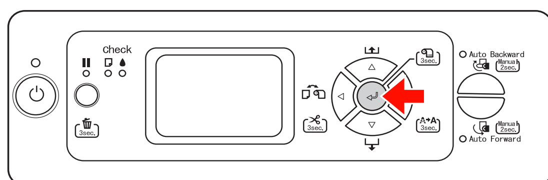
1 ［テスト印刷］メニューで△/▽ボタンを数回押して［ノズルチェック］を選択します。



2 ▷ボタンを押して［ノズルチェック］項目に入ります。

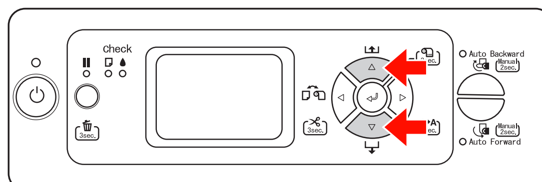


3 ⏎ボタンを押して［ノズルチェック］を実行します。

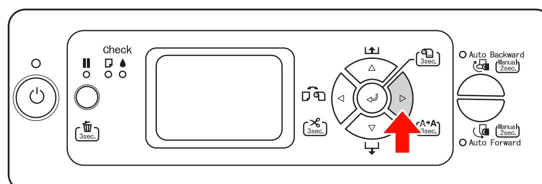


C. プリンタの各種情報を表示する項目の場合
例）［プリンタステータス］メニューの［インク残量］の場合

1 ［プリンタステータス］メニューで△/▽ボタンを数回押して［インク残量］を選択します。

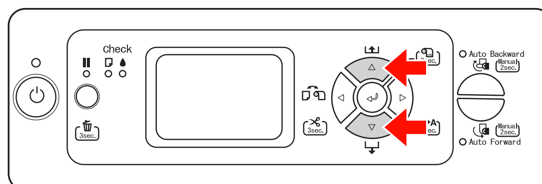


2 ▷ボタンを押して［インク残量］項目に入ります。



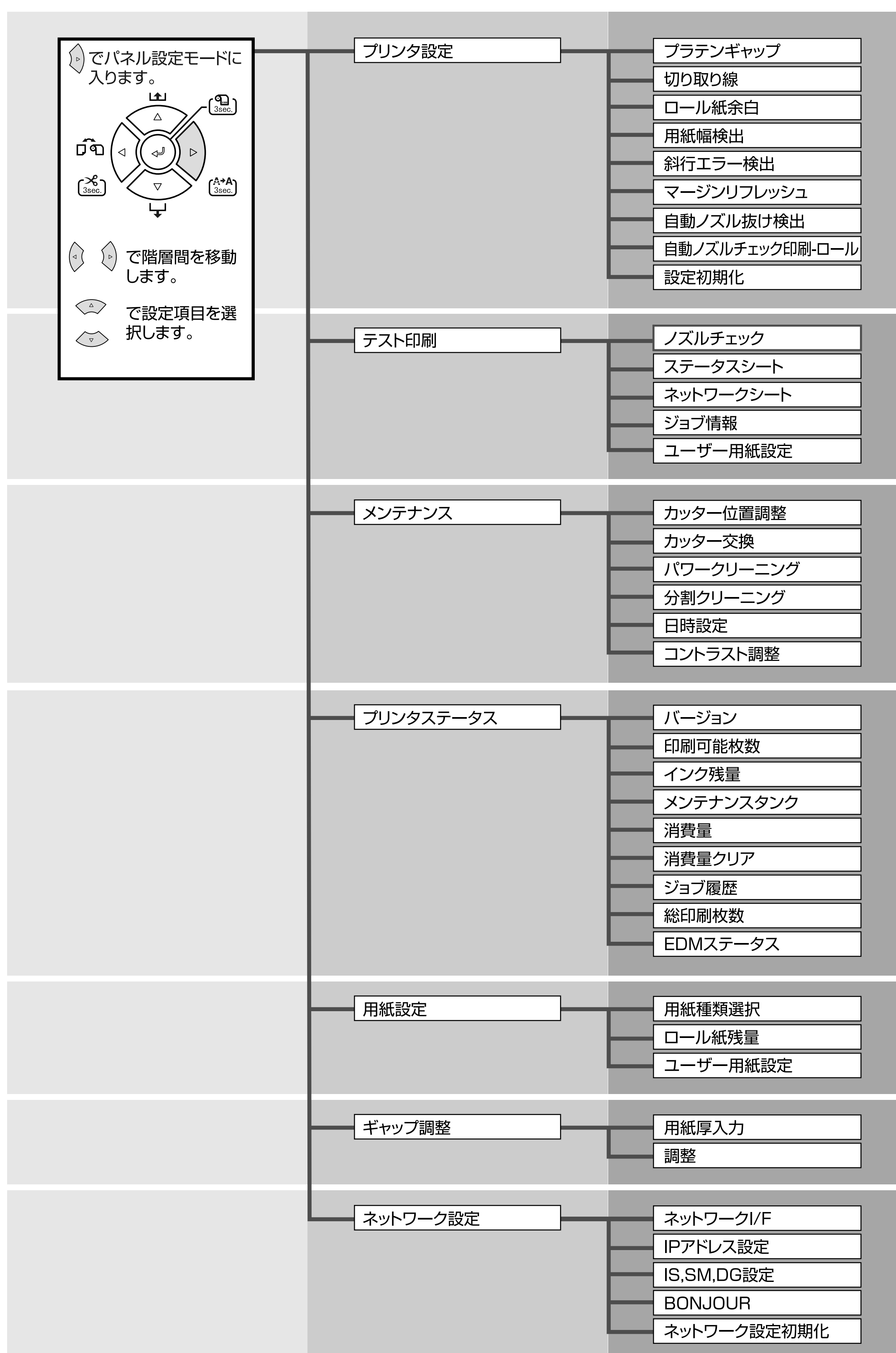
3 △/▽ボタンを押すと各色のインク残量が順に表示されます。

例：マットブラック　84%



4 ◁ボタンを押して1つ上の階層（設定項目の階層）へ戻るか、⏸ボタンを押してパネル設定モードから抜けます。

設定メニュー一覧


でパネル設定モードに入ります。
3sec.
3sec.
3sec.
で階層間を移動します。
で設定項目を選択します。
プリンタ設定
プラテンギャップ
切り取り線
ロール紙余白
用紙幅検出
斜行エラー検出
マージンリフレッシュ
自動ノズル抜け検出
自動ノズルチェック印刷-ロール
設定初期化
テスト印刷
ノズルチェック
ステータスシート
ネットワークシート
ジョブ情報
ユーザー用紙設定
メンテナンス
カッター位置調整
カッター交換
パワークリーニング
分割クリーニング
日時設定
コントラスト調整
プリンタステータス
バージョン
印刷可能枚数
インク残量
メンテナンスタンク
消費量
消費量クリア
ジョブ履歴
総印刷枚数
EDMステータス
用紙設定
用紙種類選択
ロール紙残量
ユーザー用紙設定
ギャップ調整
用紙厚入力
調整
ネットワーク設定
ネットワークI/F
IPアドレス設定
IS,SM,DG設定
BONJOUR
ネットワーク設定初期化

メニュー	設定項目	設定値
プリンタ設定 → 本書 26 ページ「[プリンタ設定] メニュー」	プラテンギャップ	狭くする、標準、広くする、より広くする、最大
	切り取り線	ON、OFF
	ロール紙余白	デフォルト、先端 & 後端 15mm、先端 35/ 後端 15mm、四辺 15mm、四辺 3mm
	用紙幅検出	ON、OFF
	斜行エラー検出	ON、OFF
	マージンリフレッシュ	ON、OFF
	自動ノズル抜け検出	ON（定期）、ON（ジョブ毎）、OFF
	自動ノズルチェック印刷	OFF、ON（1 ページ毎）、ON（10 ページ毎）
	設定初期化	実行
テスト印刷 → 本書 27 ページ「[テスト印刷] メニュー」	ノズルチェック	印刷
	ステータスシート	印刷
	ネットワークシート	印刷
	ジョブ情報	印刷
	ユーザー用紙設定	印刷
メンテナンス → 本書 27 ページ「[メンテナンス] メニュー」	カッター位置調整	実行
	カッター交換	実行
	パワークリーニング	実行
	分割クリーニング	C/VM、BK、MB/Y、LGY/GY、VLM/LC
	日時設定	YY/MM/DD HH:MM
	コントラスト調整	-20 ～ 0 ～ +20
プリンタステータス → 本書 28 ページ「[プリンタステータス] メニュー」	バージョン	F0xxxx-xx xx IBCC
	印刷可能枚数	（インク色）nnnnnnn 枚
	インク残量	（インク色）nn%
	メンテナンスタンク	左 nn%、背面中央 nn%、右 nn%
	消費量	インク xxxxx.xml、用紙 xxxxx.xcm
	消費量クリア	インク 実行、用紙 実行
	ジョブ履歴	No. 0 ～ No. 9、インク xxxxx.xml、用紙 xxx.xcm2
	総印刷枚数	nnnnnn 枚
	EDM ステータス	未開始、有効、無効
		最終送信時刻 YY/MM/DD HH:MM GMT、（未送信）
用紙設定 → 本書 29 ページ「[用紙設定] メニュー」	用紙種類選択	フォトペーパー、ファインアートペーパー、マットペーパー、普通紙、その他、ユーザー用紙、非選択
	ロール紙残量	用紙残量設定、ロール紙長さ、ロール紙長さ警告
	ユーザー用紙設定	用紙番号 1 ～ 10
ギャップ調整 → 本書 31 ページ「[ギャップ調整] メニュー」	用紙厚入力	用紙種類選択、用紙厚選択
	調整	自動、手動

ネットワーク設定メニュー → 本書 31 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」	ネットワーク I/F	する、しない
	IP アドレス設定	自動、パネル
	IP, SM, DG 設定	IP アドレス 000.000.000.000 - 192.168.192.168 - 255.255.255.255 サブネットマスク 000.000.000.000 - 255.255.255.000 - 255.255.255.255 デフォルトゲートウェイ 000.000.000.000 - 255.255.255.255
	BONJOUR	ON、OFF
	ネットワーク設定初期化	実行

設定メニューの説明

[プリンタ設定] メニュー

設定項目	設定値	説明
プラテンギャップ	狭くする 標準 広くする より広くする 最大	プラテンギャップ（プリントヘッドと用紙の間隔）を選択します。 • [標準]：通常はこのまま使用します。 • [標準] 以外を選択すると、操作パネルのディスプレイに以下のアイコンが表示されます。 [狭くする]：<PGE> [広くする]：<PGE > [より広くする]：< PGE > [最大]：< PGE >
切り取り線	ON OFF	ロール紙に切り取り線を印刷するか選択できます。ON を選択すると切り取り線を印刷します。 コンピュータで指定したロール幅がプリンタにセットされているロール紙幅より小さいときに縦罫線を印刷することがあります。 この機能は、ロール紙使用時のみ設定できます。
ロール紙余白設定	デフォルト 先端＆後端 15mm 先端 35/ 後端 15mm 四辺 15 mm 四辺 3 mm	ロール紙の余白を選択できます。 • [デフォルト]： エプソンプロフェッショナルフォトペーパー＜厚手光沢＞、＜厚手半光沢＞、＜厚手絹目＞では、先端余白 =20mm, 後端余白 =15mm になります。MC マット合成紙 2 ＜のり付き＞の先端の余白は 100 mm、後端の余白は 15 mm になります。 • [先端＆後端 15mm]： 先端と後端の余白を 15 mm、左右の余白を 3 mm にします。 • [先端 35/ 後端 15mm]： 先端の余白を 35mm と後端の余白を 15 mm、左右の余白を 3 mm にします。 • [四辺 15 mm]： 四辺の余白を 15 mm にします。 • [四辺 3 mm]： 四辺の余白を 3mm にします。 余白が変わっても印刷されるエリアは変わりません。
用紙幅検出	ON OFF	用紙幅を検出するかどうかを選択します。 • [ON]：用紙幅と用紙先端を検出します。 • [OFF]：用紙幅と用紙先端を検出しません。セットした用紙より大きな画像を印刷すると用紙外に印刷されます。用紙外への印刷はプリンタ内部を汚すため、通常は [ON] で使用することをお勧めします。また、用紙サイズの上側の余白が大きくなることがあります。
斜行エラー検出	ON OFF	[ON]： 用紙が斜めに給紙されたときにディスプレイにエラーを表示して印刷を中止します。 [OFF]： 用紙が斜めに給紙され、印刷領域外に印刷してもエラーを表示しません。印刷をそのまま続行します。
マージンリフレッシュ	ON OFF	[ON] を選択すると、フチなし印刷後に残る先端部分の印字汚れの範囲を自動的に切り取ります。
自動ノズル抜け検出	ON（定期） ON（ジョブ毎） OFF	自動的にノズルチェックして、抜けがあるときは自動的にクリーニングします。 [ON（定期)]： プリンタ内で判断されるタイミングで自動的にノズルチェックを実行します。 [ON（ジョブ毎)]： ジョブ毎にノズルチェックを実行します。 [OFF]： 自動的にノズルチェックしません。

設定項目	設定値	説明
自動ノズルチェック印刷 - ロール	OFF	［ON（1 ページ毎）］を選択すると 1 ページ毎に、［ON（10 ページ毎）］を選択すると 10 ページ毎に、ロール紙の先端にノズルチェックパターンを印刷します。 この機能は、ロール紙使用時のみ設定できます。
	ON（1 ページ毎）	
	ON（10 ページ毎）	
設定初期値	実行	プリンタ設定メニュー内の設定値を初期値に戻します。

［テスト印刷］メニュー

設定項目	設定値	内容
ノズルチェック	印刷	ノズルチェックパターンを印刷します。また、ファームウェアバージョン、インク使用量、メンテナンスタンクの空き容量も印刷します。 ➔ 本書 71 ページ「ノズルチェック」
ステータスシート	印刷	現在のプリンタの設定や状態を印刷します。
ネットワークシート	印刷	現在のネットワーク設定を印刷します。
ジョブ情報	印刷	プリンタ内に保存されている印刷ジョブ（最大 10 ジョブ）に関する情報を印刷します。
ユーザ用紙設定	印刷	［ユーザー用紙設定］メニューに登録されている情報を印刷します。

［メンテナンス］メニュー

パワークリーニングなどのメンテナンスをします。

設定方法	設定値	内容
カッター位置調整	実行	カッター位置の微調整ができます。実行するとカッター位置調整パターンを印刷しますので、カッター位置番号を選択して微調整します。
カッター交換	実行	カッター交換の手順を操作パネルのディスプレイで確認できます。
パワークリーニング	実行	ヘッドクリーニングを数回繰り返してもノズルが詰まっているときに、より強力なクリーニングを行います。
分割クリーニング	C/VM	クリーニングするノズルを選択できます。
	BK	
	MB/Y	
	LGY/GY	
	VLM/LC	
日時設定	YY/MM/DD HH:MM （設定時の日時を表示）	内蔵時計の年 / 月 / 日 時 : 分を設定します。
コントラスト調整	0	操作パネルのディスプレイのコントラストを調整します。
	-20 ～ +20（dec）	

［プリンタステータス］メニュー

プリンタの状態を表示します。

設定項目	表示	内容
バージョン	F0XXXX-XX.XX.IBCC	プリンタのファームウェアバージョンを表示します。
印刷可能枚数	（インクの色）xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量を基に、このインクの色であと何枚印刷できるかを表示します。
インク残量	（インクの色）nn%	各インクの残量を表示します。
メンテナンスタンク	左側 nn%	メンテナンスタンクの空き容量を表示します。
	背面中央 nn%	
	右側 nn%	
消費量	インク xxxxx.x ml	インクの使用量（クリーニング実行時のインク使用量を含む）をミリリットル（ml）で表示します。 用紙の使用量をセンチメートル（cm）で表示します。
	用紙 XXXXX.X cm	
消費量クリア	インク　実行	［消費量］のカウンタをリセットできます。
	用紙　実行	
ジョブ履歴	No.0 ～ No.9 インク　xxxxx.x ml 用紙　xxxx.x cm2	プリンタ内に保存されている印刷ジョブが消費したインク量（ミリリットル）と用紙面積（縦 × 横平方センチメートル）を表示します。表示できるのは最大 10 ジョブで、最新ジョブ番号は No. 0 です。
総印刷枚数	nnnnnn 枚	総印刷枚数（6 桁まで）を表示します。
EDM ステータス	未開始、有効、無効	EDM が有効か無効かを確認できます。もし、EDM が有効な場合、最終送信時刻を確認できます。
	最終送信時刻 YY/MM/DD HH:MM GMT、（未送信）	

参考

- インクチェックランプが点滅または点灯したら、新しいインクカートリッジに交換してください。正しく交換すると、カウンタは自動的にリセットされます。
  → 本書 61 ページ「インクカートリッジの交換」
- ディスプレイに「カートリッジ空き容量なし」と表示されたら、新しいメンテナンスタンクに交換してください。正しく交換すると、カウンタは自動的にリセットされます。
  → 本書 66 ページ「メンテナンスタンクの交換」

[用紙設定]メニュー

エプソン製以外の用紙を使用するときは、用紙の特性に合わせた設定が必要です。

設定項目	設定値	内容
用紙種類選択	フォトペーパー	プリンタに給紙している用紙の種類を選択できます。
	ファインアートペーパー	
	マットペーパー	
	普通紙	
	その他	
	ユーザー用紙	
	非選択	
ロール紙残量 [ロール紙残量]は、用紙が給紙されている状態では表示されません。	用紙残量設定	ロール紙残量の設定ができます。用紙が給紙されていない状態でのみ設定できます。 [OFF]: ロール紙残量の機能を無効にします。操作パネルのディスプレイにロール紙残量を表示しません。 [ON(ジョブ毎印刷モード)]: 操作パネルのディスプレイにロール紙残量を表示します。印刷終了時に[用紙種類]、[ロール紙長さ]、[ロール紙長さ警告]の設定値をバーコードとして印刷します。 [ON(交換時印刷モード)]: 操作パネルのディスプレイにロール紙残量を表示します。[ON(交換時印刷モード)]に設定すると用紙セットレバーがロックされます。⏎ を3秒以上押すと[用紙種類]、[ロール紙長さ]、[ロール紙長さ警告]の設定値をバーコードとして印刷し、ロックを解除します。 ロール紙を交換したときは、バーコードの値を読み取って[用紙種類]、[ロール紙長さ]、[ロール紙長さ警告]を設定します。
	ロール紙長さ	操作パネルのディスプレイにロール紙の残量やロール紙の残量が少ないときの警告を表示できます。 ロール紙の残量や、残量がどのくらいになったら警告を表示するかの値を設定できます。ロール紙の残量は 5.0 ～ 99.5m、警告を表示する値は 1 ～ 15 m で入力できます。
	ロール紙長さ警告	
用紙番号選択(1-10)	用紙 No.1 ～ 10	任意の用紙に合わせた設定値(用紙種類、プラテンギャップ、用紙厚、カット方法、用紙送り補正、乾燥時間、吸着力)を登録する際に番号(1 ～ 10)を選択したり、印刷時に登録番号で設定値を呼び出して印刷します。 ここで選択した登録番号は、プリンタ使用時に操作パネルのディスプレイの下段に表示されます。 → 本書 29 ページ「ユーザー用紙設定」

ユーザー用紙設定

エプソン製以外の専用紙を使用するとき設定します。

用紙番号選択の 1 から 10 を選択して実行してから、以下の項目を設定してください。

[ユーザー用紙設定]の詳細は、以下を参照してください。

→ 取扱説明書 2 詳細編(PDF マニュアル)「エプソン製以外の用紙への印刷」

設定項目	設定値	内容
用紙種類選択	フォトペーパー	使用する用紙の種類を選択します。
	ファインアートペーパー	
	マットペーパー	
	普通紙	
	その他	

設定項目	設定値	内容
プラテンギャップ	狭くする	用紙の厚さに合わせて、プラテンギャップ（プリントヘッドと用紙の間隔）を調整します。 [標準]：通常はこのまま使用します。 [狭くする]：[標準] 薄い紙を使用するときに選択します。 [広くする]、[より広くする]：印刷結果が擦れて汚れるようなときに選択します。 [最大]：厚い紙に印刷するときに選択します。
	標準	
	広くする	
	より広くする	
	最大	
用紙厚検出パターン	印刷	セットした用紙の厚みを検出するためのパターンを印刷します。
カット方法	標準	カット方法を選択できます。
	薄紙	
	厚紙＆カット高速	
	厚紙＆カット低速	
用紙送り補正	0.00%	印刷領域の用紙送り値を補正できます。補正値は -0.70 ～ +0.70% の範囲で設定できます。 設定値が大きすぎると白い筋が表示されることがあります。 設定値が小さすぎると黒い筋が表示されることがあります。
	-0.70% to +0.70%	
乾燥時間	0.0 秒	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定します。インク濃度や用紙によっては、インクが乾燥しにくい場合があります。このような場合には乾燥時間を長めに設定してください。
	0.0 ～ 10.0 秒	
吸着力	標準	印刷された用紙を送るための吸着力を設定できます。
	-1 ～ -4	

[ギャップ調整] メニュー

プリントヘッドのギャップ調整を行います。ギャップ調整の詳細は以下を参照してください。

→ 本書 76 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

設定方法	設定値	内容
用紙厚入力	用紙種類選択	使用する用紙の厚さを設定できます。エプソン製の専用紙を使用している場合は、[用紙種類選択] から選択します。 エプソン製以外の用紙を使用している場合は、[用紙厚選択] を選択して厚みを 0.1 ～ 1.5mm の範囲で選択します。
	用紙厚選択	
調整	自動	[自動] では、パターンを印刷した後、プリンタのセンサでパターンの状態を読み取って、調整値を自動更新します。 [手動] では、印刷された調整パターンを確認し、調整値を入力することで補正値を更新します。
	手動	

[ネットワーク設定] メニュー

ネットワークに接続する場合に設定します。

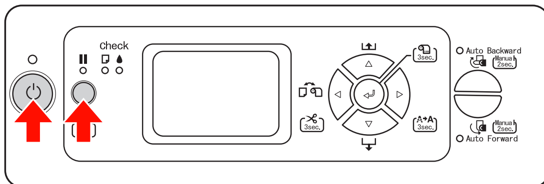
設定項目	設定値	内容
ネットワーク I/F	しない	ネットワーク接続の有効 / 無効を設定します。[する] にすると、以下の設定項目が表示されます。各項目を設定した後、[ネットワーク設定] メニューで ◁ ボタンを押して上の階層に戻ると、ネットワークが再起動され、約 15 秒後にネットワーク接続が有効になります。再起動中は設定メニューの [ネットワーク] は表示されません。
	する	
IP アドレス設定	自動	IP アドレスの設定方法を選択します。[パネル] を選択すると、[IP,SM,GM 設定] が表示されます。
	パネル	
IP,SM,GM 設定	システム管理者にお尋ねください。	
BONJOUR	ON	Bonjour 接続の有効 / 無効を設定します。
	OFF	
ネットワーク初期化	実行	設定値を初期値に戻します。

メンテナンスモード

表示言語や単位を変えたり、設定値を購入時の状態に戻したりすることができます。

1 ⏻ ボタンを押してプリンタの電源を切ります。

2 ⏸ ボタンと ⏻ ボタンを同時に押して、プリンタの電源を入れます。



ディスプレイにメンテナンスモードの初期メニューが表示されます。
メンテナンスモードの設定方法は、設定メニューと同じです。
→ 本書 21 ページ「設定メニューの使い方」

3 メンテナンスモードを終了するには、⏻ ボタンを押してプリンタの電源を切ります。

メンテナンスモードのメニュー一覧

設置項目	設定値	説明
表示言語	日本語	操作パネルのディスプレイに表示する言語を選択します。
	英語	
	フランス語	
	ドイツ語	
	イタリア語	
	ポルトガル語	
	スペイン語	
	オランダ語	
単位設定	メートル	操作パネルのディスプレイやパターン印刷時に使用する長さの単位を選択します。
	フィート / インチ	
カット圧調整	0 ～ 150%	カット圧を選択できます。
SS クリーニング	実行	超音波クリーニングを実行できます。
電源オン時ロール紙送り	ON	カッター設定を OFF の状態で電源をオンにしたときに用紙送りしないように設定できます。用紙を節約できます。
	OFF	
パネル設定初期化	実行	操作パネルで設定可能なすべての設定値を購入時の値に戻します。
CUSTOM	0 ～ 255	カスタムの設定を保存できます。

用紙のセット

使用可能な用紙

高品質な印刷結果を得るために、エプソン製専用紙の使用をお勧めします。用紙の詳細は以下を参照してください。

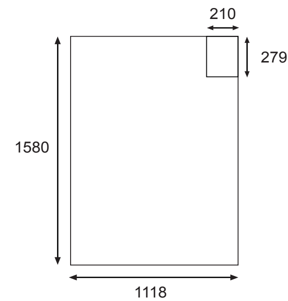
→ 用紙ガイド（冊子）

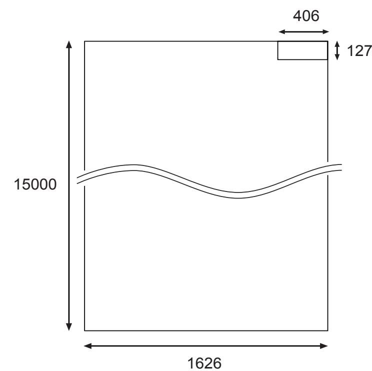
参考

- しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのある用紙は使用しないでください。
- 用紙は印刷直前にセットしてください。また、印刷作業が終了したら本体から取り外し、用紙の取扱説明書に従って保管してください。
- エプソン製以外の用紙に印刷するときの設定や印刷手順は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。用紙を大量に購入する際は、本製品でその用紙に印刷したときの仕上がり具合をあらかじめ確認しておくことをお勧めします。
→ 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「エプソン製以外の用紙への印刷」

用紙のサイズ

単票紙	用紙幅：210 ～ 1118mm 用紙長さ：279 ～ 1580mm
ロール紙	用紙幅：406 ～ 1626mm 用紙長さ：127 ～ 15000mm





単位：mm

用紙の厚さ

単票紙	0.08 ～ 1.5mm （用紙長さ 279mm 以上 728mm まで）
	0.08 ～ 0.5mm （用紙長さ 728mm を超え 1580mm まで）
ロール紙	0.08 ～ 0.5mm

ロール紙のセット

ロール紙をセットするときは、あらかじめ使用するロール紙に合わせてスピンドルを準備し、ロール紙をスピンドルに取り付けてからプリンタにセットします。



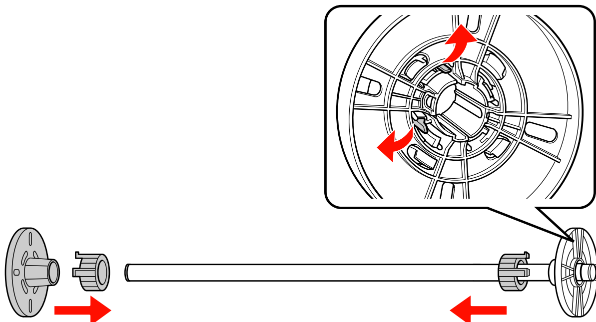
ロール紙は重いため、必ず 2 人以上で作業してください。

スピンドルの準備

本製品で使用するスピンドルは 2 インチ /3 インチ紙管兼用デュアルテンションスピンドルです。

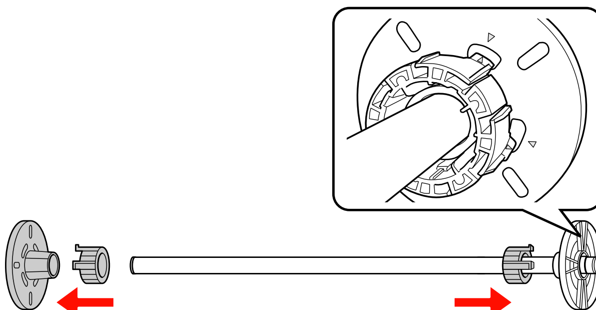
紙管サイズに合わせてアタッチメントを取り付け（または取り外し）てください。

2 インチ紙管使用時：アタッチメントの取り外し
左右両方の用紙ストッパからアタッチメントを取り外します。用紙ストッパ側のフック（右側 2 箇所、左側 2 箇所）を外側に開いて、アタッチメントを用紙ストッパから引き抜きます。



参考
取り外したアタッチメントは 3 インチ紙管使用時に必要ですので、なくさないように保管してください。

3 インチ紙管使用時：アタッチメントの取り付け
アタッチメントを左右の用紙ストッパに取り付けます。アタッチメントの△を用紙ストッパの△と合わせて取り付け穴に差し込みます。

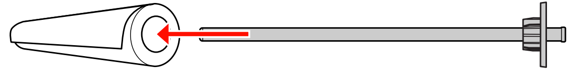


スピンドルへの取り付け

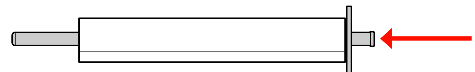
スピンドルにロール紙を取り付けます。

1 **ロール紙を机の上など平らな場所に置き、固定用紙ストッパ（グレー）方向から見て左巻きになるようにロール紙をセットします。**

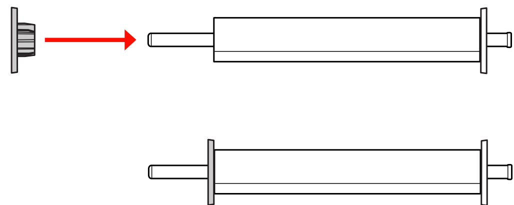
ロール紙の側面がそろって巻かれていないときは、端をそろえてからセットしてください。



2 **固定用紙ストッパ（グレー）の右端にロール紙の芯が突き当たるまで押し込みます。**

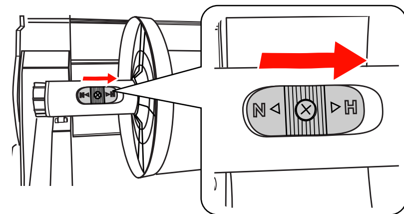


3 **可動用紙ストッパ（黒）を押し込みます。**



4 **必要に応じてスピンドルのテンションを切り替えます。**

N：ノーマルテンション
H：ハイテンション



！重要
セットするロール紙に対応したテンションに切り替えてください。どちらのテンションに切り替えるかについては「用紙ガイド」（冊子）またはロール紙の取扱説明書を参照してください。誤ったテンションで使用すると印刷品質に影響したり、プリンタが故障する原因になります。
→ 用紙ガイド（冊子）

参考

- エプソン純正専用紙以外のロール紙で、布や100g/ ㎡未満の薄紙を使用するときは、テンションをハイテンションに設定することをお勧めします。そのとき、用紙送りの量が通常より少なくなるため、［ユーザー用紙設定］で［用紙送り補正］をプラスに設定してください。
  標準のテンションのまま使用すると、連続印刷時に用紙にしわが発生することがあります。詳細はロール紙の取扱説明書を参照してください。
- 普通紙ロールを使用中に用紙シワが発生するときは、ハイテンションに設定してください。ハイテンション設定すると用紙シワの発生を抑えることができます。

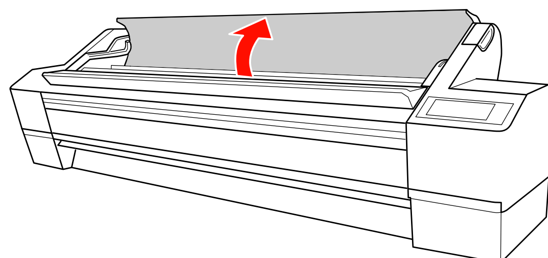
プリンタへのセット

スピンドルに取り付けたロール紙をプリンタにセットします。

参考

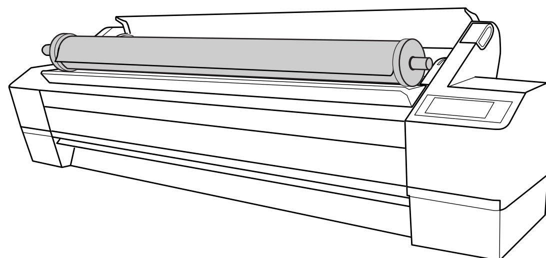
- ［ロール紙残量］の設定ができます。
  操作パネルで［ロール紙残量］を［ON］にすると、ロール紙を取り外すとき、用紙先端に用紙情報がバーコード印刷され、次に同じ用紙を使用するときの用紙設定が円滑にできます。
  → 本書 29 ページ「［用紙設定］メニュー」
- ロール紙は印刷する直前にセットすることをお勧めします。ロール紙をセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。

1 **ロール紙カバーを開けます。**

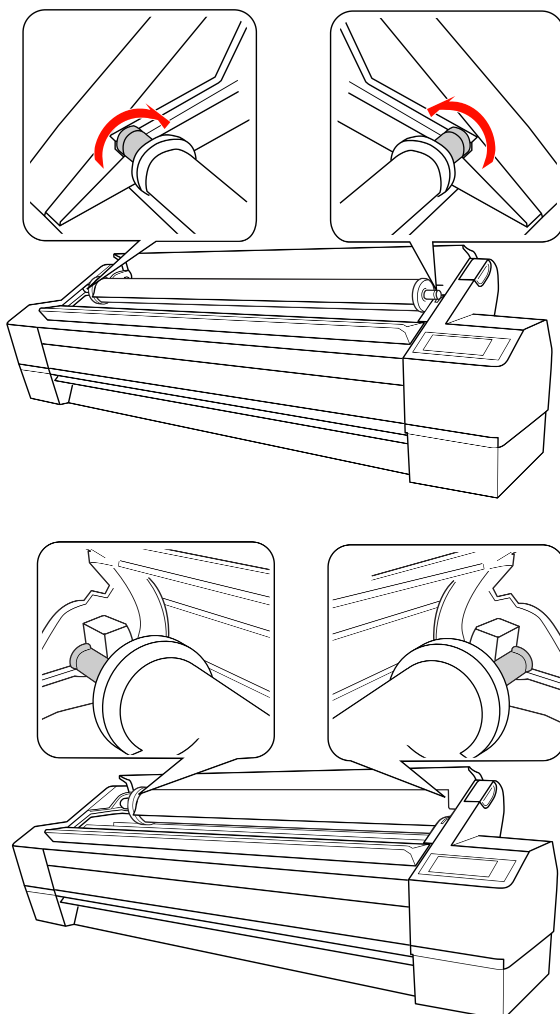


2 **固定用紙ストッパ（グレー）側を右側にしてロール紙を持ち上げてロール紙受けに置き、右に寄せます。**

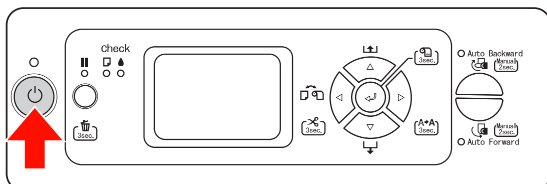
⚠注意	ロール紙は重いので必ず2人で持ち上げてください。持ち上げるときは、両端の用紙ストッパを持ってください。



3 両端のレールに沿わせながら、ロール紙をゆっくり奥まで転がして、スピンドル受けにセットします。



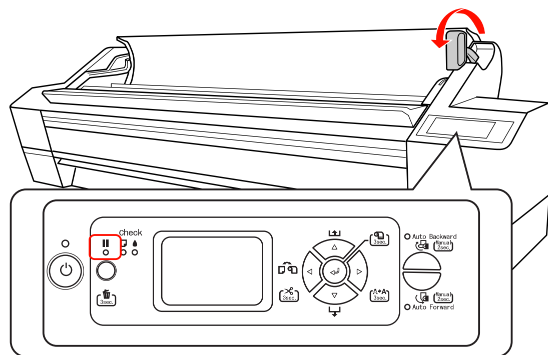
4 ⏻ ボタンを押してプリンタの電源を入れます。



5 ポーズランプが点滅していないことを確認してから、用紙セットレバーを手前に起こします。

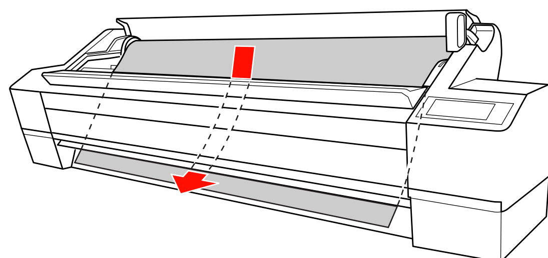
[用紙残量設定] が [ON（交換時印刷モード）] になっているときは、用紙セットレバーがロックされていることがあります。この場合は ⏎ ボタンを 3 秒以上押してバーコードを印刷するとロックを解除できます。

ディスプレイに「用紙をセットしてください」と表示されます。

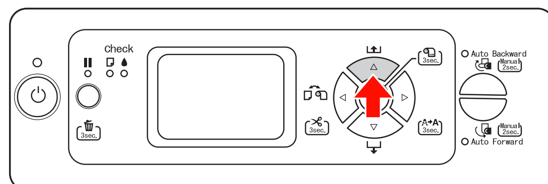


6 ロール紙を給紙スロットに挿入して、フロントカバーの下方から引き出します。

紙端が折れないよう、用紙のたわみを取るようにして挿入してください。

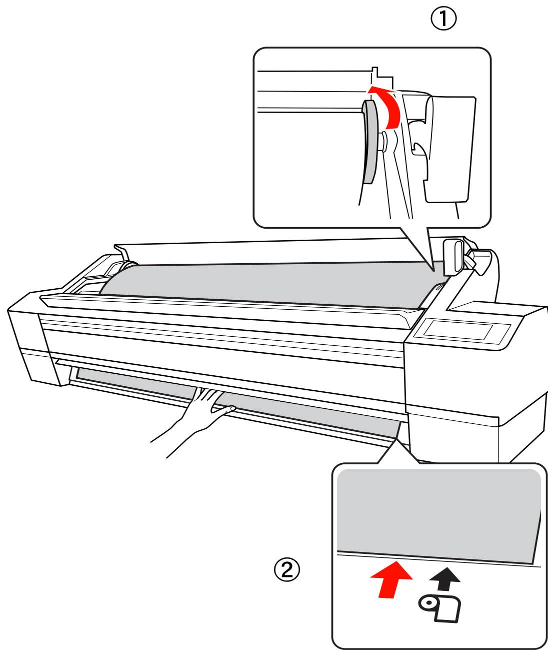


7 △ボタンを押して吸着力を強めます。



8 ロール紙の先端を用紙セット位置に合わせます。

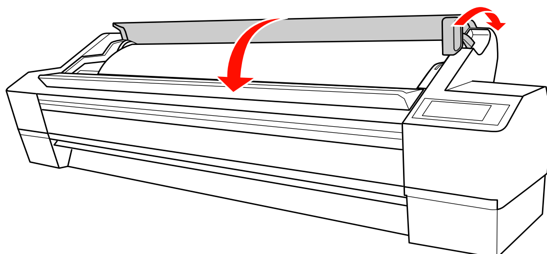
一旦ロール紙を用紙セット位置より下まで引き出し、スピンドルを回して少しずつ巻き戻してください。ロール紙を巻き戻しにくい場合は▽ボタン、用紙がたわむ場合は△ボタンで吸着力の強弱を調節してください。



!重要

- 用紙が斜めにセットされると、正しく印刷されません。必ず用紙セット位置に合わせてまっすぐセットしてください。用紙の先端が斜めにカットされているときは、まっすぐにカットし直してください。
  → 本書 38 ページ「ロール紙のカット」
- ロール紙の先端が用紙セット位置より長すぎたり短すぎたりすると、用紙を巻き上げきれずにエラーになります。ロール紙先端のセット位置から 2cm 以内に用紙をセットしてください。
- ロール紙の右端は単票紙の用紙セット位置には合わせないでください。用紙が斜めにセットされることがあります。

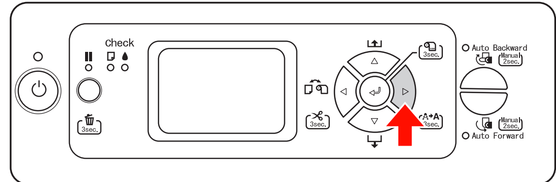
9 用紙セットレバーを奥に倒して、ロール紙カバーを閉じます。



II ボタンを押すか、そのまましばらく待ちます。

10 ディスプレイに「以下の用紙を使いますか？」と表示されたときは、▷ボタンを押してセットした用紙の種類や用紙残量を選択し、↲ ボタンで確定します。

ディスプレイには、前回の設定内容が表示されます。変更する必要がないときは、◁ ボタンを押すと確定します。



11 ロール紙の先端に汚れや折れなどがあるときは、◁ ボタンで［ロール紙自動カット］（ ）を選択し、◁ ボタンを約 3 秒押して先端部を切り揃えます。

12 自動巻き取り装置を使うときは、巻き取り方向を選択できます。

→ 本書 44 ページ「自動巻き取り装置」

ロール紙のカット

印刷後ロール紙をカットする方法は２種類あります。

カット方法	処理
自動カット	1 ページ印刷するごとに自動的にカットします。
手動カット	手動で操作してカットするか、市販のカッターなどを使って切り離します。自動巻き取り装置を使用するときは、こちらを選択します。

！重要

MC/PM クロスロール<防炎>は、内蔵カッターではカットできません。また、他のロール紙でも種類によっては内蔵カッターでカットできないものがあります。市販のカッターなどでカットしてください。

参考

- カットするまでに時間がかかることがあります。操作パネルのディスプレイに待ち時間の目安が表示されます。
- コンピュータから印刷する場合は、操作パネルで［ロール紙カッターオフ］に設定していても、コンピュータ（プリンタドライバ）の「オートカット」の設定が優先されます。

印刷前の設定

印刷前にカット方法を設定します。

操作パネルから印刷する場合（ステータスシートなど）

操作パネルの◁ボタンを押してカット方法を設定します。

アイコン	説明
(ロール紙自動カットアイコン)	ロール紙自動カット
(ロール紙アイコン)	ロール紙カッターオフ

コンピュータから印刷する場合

プリンタドライバの［用紙設定］画面で、［オートカット］を設定します。

印刷後のカット

自動でカットする

1 ページ印刷するごとに自動的にカットされます。

手動でカットする

次の手順で、任意の場所をカットします。

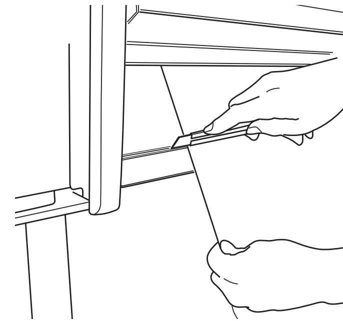
1 **印刷後、▽ボタンを押してカットする位置までロール紙を送ります。**

2 **◁ボタンを 3 秒以上押します。**

内蔵のカッターでカットされます。

参考

内蔵カッターではカットできないロール紙をセットしているときは、◁ボタンを３秒以上押すと用紙を手で切れる位置まで排出します。フロントカバー下の溝を目安にして、市販のカッターなどでカットしてください。カット後、❚❚ ボタンを押し、操作パネルの表示を印刷可能状態に戻してください。



ロール紙の取り外し

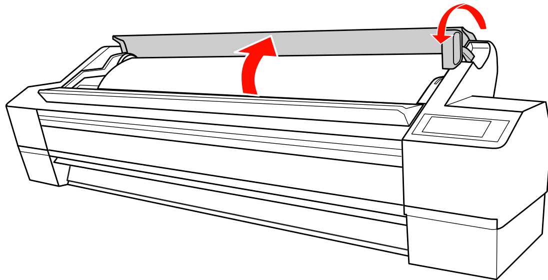
参考

- ［用紙残量設定］で［ON（交換時印刷モード）］を設定しているときは、用紙セットレバーがロックされています。⏎ ボタンを 3 秒以上押すと、用紙先端にバーコードが印刷され、ロックが解除されます。
- 印刷後、ロール紙はプリンタから取り外すことをお勧めします。ロール紙をセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。

1 ⏻ ボタンを押してプリンタの電源を入れます。

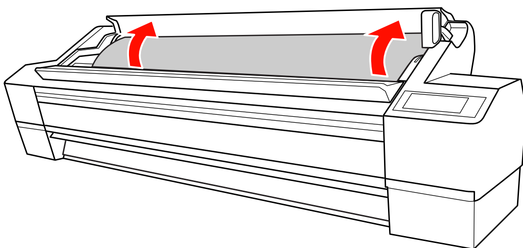
2 ロール紙カバーを開けます。ポーズランプが点滅していないことを確認してから用紙セットレバーを手前に起こします。

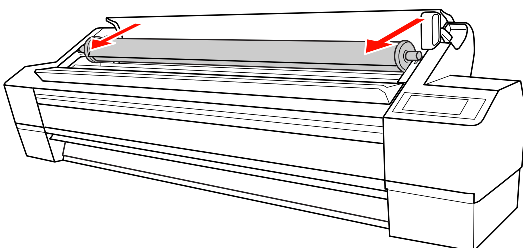
ディスプレイに「用紙をセットしてください」と表示されます。



3 ロール紙を巻き戻してから、レール上を転がし、一旦ロール紙受けに置きます。その後2人でロール紙を持ち上げ、水平な場所に置きます。

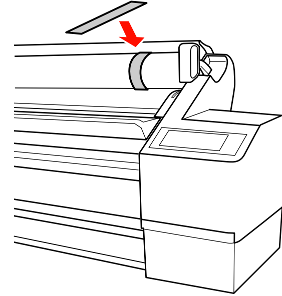
⚠注意 ロール紙を持ち上げるときは、必ず 2 人で両端の用紙ストッパを持ってください。





参考

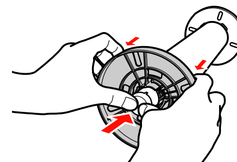
ロール紙を使用しないときにオプションの固定ベルトを巻いておくと、巻ほぐれによる事故を防止できます。

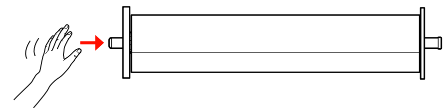


4 可動用紙ストッパを図のように押さえ、スピンドルから取り外します。

ロール紙の種類によっては、スピンドルを軽くたたいて可動用紙ストッパを外します。

ロール紙の芯だけが残ったような状態で取り外すときは、芯を押さえてスピンドルを押します。





！重要

ロール紙を取り外す際に、スピンドルの左端（可動用紙ストッパ側）を床に強く突き当てないでください。スピンドル左端部が破壊するおそれがあります。

5 スピンドルからロール紙を取り外します。

取り外したロール紙はきちんと巻き直してから購入時に梱包されていた個装袋に包み、個装箱に入れ保管してください。

スピンドルは、可動用紙ストッパを取り付けてプリンタに戻して（セットして）ください。

単票紙のセット

単票紙のセット方法は用紙の厚さと長さによって手順が異なります。

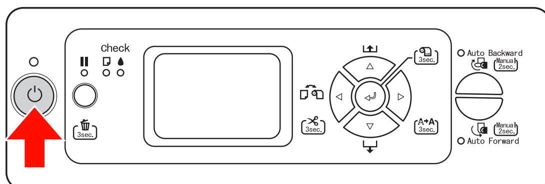
用紙厚さ	用紙長さ	参照ページ
0.5mm 未満	A3 ノビ（483mm）より長い	本書 40 ページ「長さが A3 ノビ（483mm）より大きい単票紙のセット」
	A3 ノビ（483mm）以下	本書 41 ページ「長さが A3 ノビ（483mm）までの 単票紙のセット」
0.5mm 以上 1.5mm まで（厚紙）	すべて	本書 42 ページ「厚紙のセット」

参考

- 用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。波打ったり、たわんだりしている用紙をセットすると、プリンタが用紙サイズを正しく認識できなくなったり正常に印刷できなくなってしまいます。
  また、開封後の用紙は個装袋に戻して水平な状態で保管し、印刷の直前に袋から取り出して使うことをお勧めします。
- ロール紙がセットされているときは、ロール紙を巻き戻してから単票紙をセットしてください。
- エプソン純正専用紙以外の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取り扱い説明書を参照するか、用紙の購入先にお問い合わせください。

長さが A3 ノビ（483mm）より大きい単票紙のセット

1 ボタンを押してプリンタの電源を入れます。

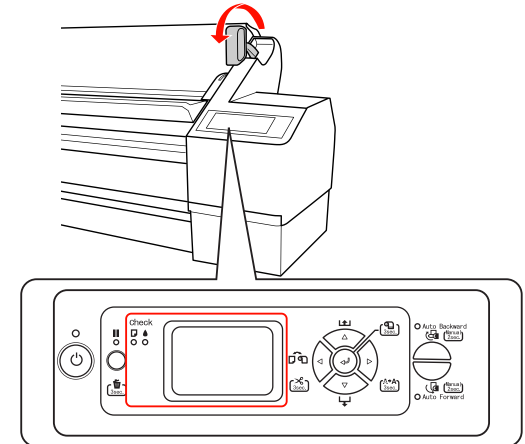


2 ◁ ボタンを押して （単票紙）を選択します。

3 ロール紙カバーが閉じていることを確認します。

4 用紙チェックランプが点灯し、ディスプレイに「用紙をセットしてください」と表示されていることを確認して、用紙セットレバーを手前に起こします。

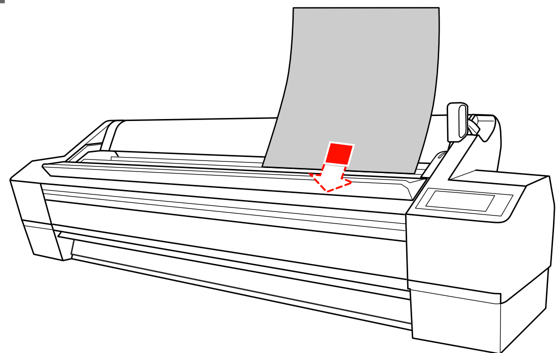
［用紙残量設定］が［ON（交換時印刷モード）］になっているときは、用紙セットレバーがロックされていることがあります。この場合は ⏎ ボタンを 3 秒以上押してバーコードを印刷するとロックを解除できます。



重要

電源ランプまたはポーズランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

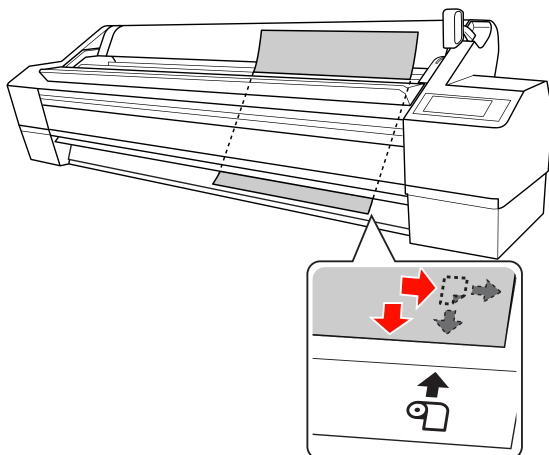
5 用紙を給紙スロットにセットします。



重要

単票紙は縦長にセットしてください。

6 用紙の先端と右端をセット位置に合わせます。

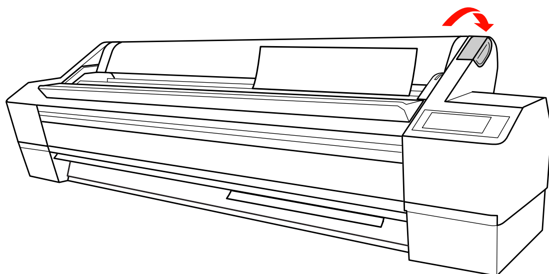


参考

- 縦と横のセット位置に正しく合わせてセットしてください。用紙の先端がセット位置より長すぎたり短すぎたりするとエラーになります。
- 用紙の先端がフロントカバーの下方から出てこないときは、フロントカバーを開けて用紙を下向きに送り出してください。

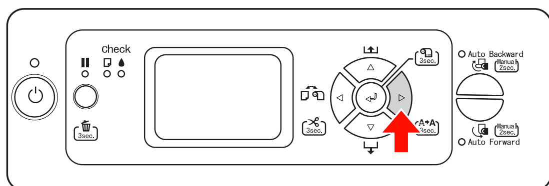
7 用紙セットレバーを奥に倒します。

Ⅱ ボタンを押すか、そのまましばらく待ちます。



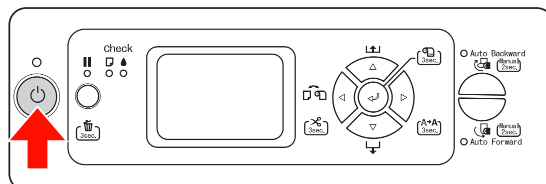
8 ディスプレイに「以下の用紙を使いますか？」と表示されたときは、▷ボタンを押してセットした用紙の種類を選択し、⏎ ボタンで確定します。

ディスプレイには、前回の設定内容が表示されます。変更する必要がないときは、◁ ボタンを押すと確定します。

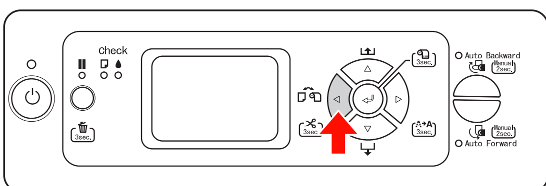


長さが A3 ノビ（483mm）までの単票紙のセット

1 ⏻ ボタンを押してプリンタの電源を入れます。



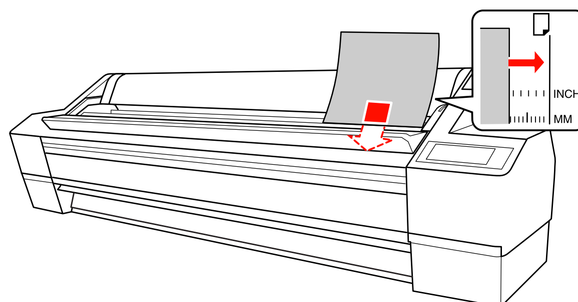
2 ◁ ボタンを押して ▯（単票紙）を選択します。



3 ロール紙カバーが閉じていることを確認します。

4 用紙を給紙スロットにセットします。

用紙の右端をセット位置に合わせ、先端が突き当たるまで差し込んでください。
ディスプレイに「Ⅱ ボタンを押してください」と表示されます。



！重要

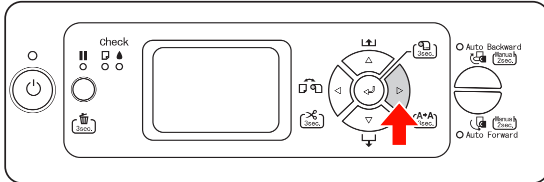
単票紙は縦長にセットしてください。

5 Ⅱ ボタンを押します。

用紙が印刷開始位置まで移動します。

6 **ディスプレイに「以下の用紙を使いますか？」と表示されたときは、▷ボタンを押してセットした用紙の種類を選択し、⏎ ボタンで確定します。**

ディスプレイには、前回の設定内容が表示されます。変更する必要がないときは、◁ ボタンを押すと確定します。



厚紙のセット

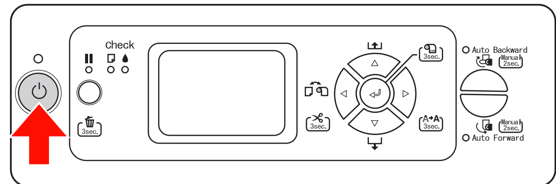
ここでは、厚紙（0.5～1.5mm）のセット方法を説明します。

セット可能な用紙長（プリンタにセットしたときの縦の長さ）は、最大 728mm です。

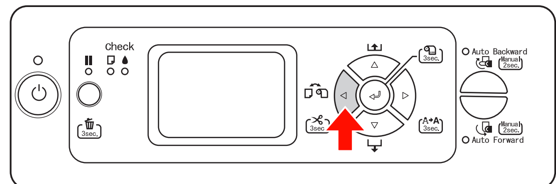
！重 要

用紙長 728mm を超える厚紙（厚さ 0.5 ～ 1.5mm）は使用しないでください。正常に排紙されません。

1 **⏻ ボタンを押してプリンタの電源を入れます。**



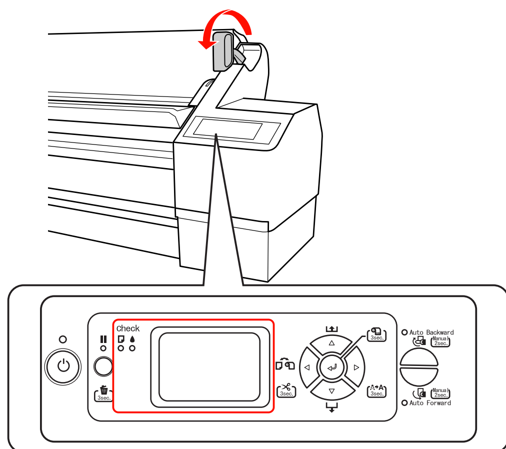
2 **◁ ボタンを押して ▢（単票紙）を選択します。**



3 **ロール紙カバーが閉じていることを確認します。**

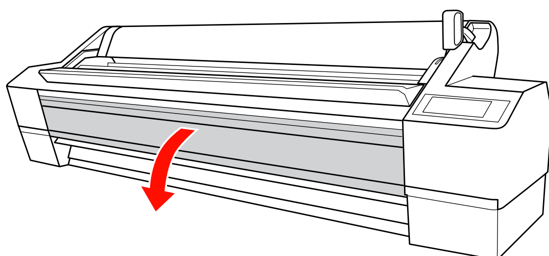
4 **用紙チェックランプが点灯し、ディスプレイに「用紙をセットしてください」と表示されていることを確認して、用紙セットレバーを手前に起こします。**

［用紙残量設定］が［ON（交換時印刷モード）］になっているときは、用紙セットレバーがロックされていることがあります。この場合は ⏎ ボタンを 3 秒以上押してバーコードを印刷するとロックを解除できます。



!重要
電源ランプまたはポーズランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

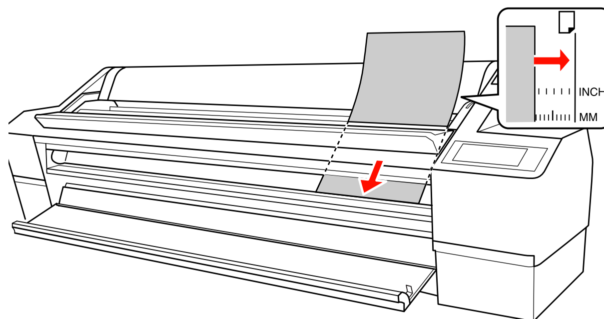
5 **フロントカバーを開けます。**



!重要
プリントヘッド周辺のケーブル類には触らないでください。故障の原因となります。
→ 本書 68 ページ「カッターの交換」手順 7
→ 本書 3 ページ「本製品内部への接触に関するご注意」

6 **用紙を給紙スロットにセットします。**

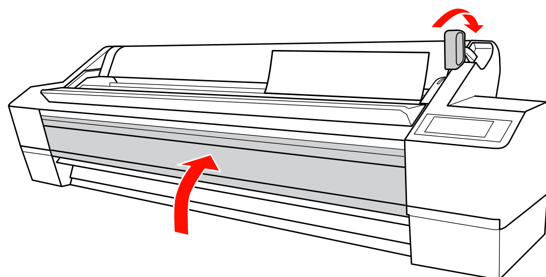
用紙の右端を用紙セット位置に合わせ、フロントカバーの付け根のストッパに突き当たるまで差し込んでください。



!重要
単票紙は縦長にセットしてください。

7 **用紙セットレバーを奥に倒してから、フロントカバーを閉じます。**

ディスプレイに「⏸ ボタンを押してください」と表示されます。

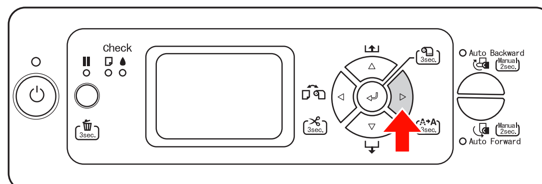


8 **⏸ ボタンを押します。**

用紙が印刷開始位置まで移動します。

9 **ディスプレイに「以下の用紙を使いますか？」と表示されたときは、▷ボタンを押してセットした用紙の種類を選択し、⏎ ボタンで確定します。**

ディスプレイには、前回の設定内容が表示されます。変更する必要がないときは、◁ ボタンを押すと確定します。



排紙方法

ここでは、印刷が終了した用紙の排紙方法を説明します。

参考
自動巻き取り装置を使用する場合は、以下を参照してください。
本書 44 ページ「自動巻き取り装置」

排紙バスケットを使用する場合は、以下を参照してください。
本書 49 ページ「排紙バスケットの使い方」

ロール紙の場合

以下を参照して、ロール紙をカットしてください。
本書 38 ページ「ロール紙のカット」

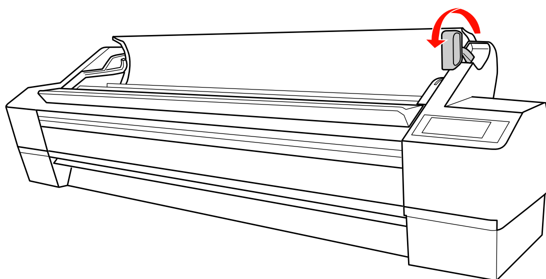
単票紙の場合

1 **ディスプレイに「用紙をセットしてください」と表示されていることを確認します。**

「印刷可能」と表示されているときは、▽ボタンを3秒以上押し続けて排紙できる位置まで用紙を送ります。

重要
電源ランプまたはポーズランプが点滅しているときは、ボタンを操作しないでください。

2 **用紙セットレバーを手前に起こして、用紙を抜き取ります。**

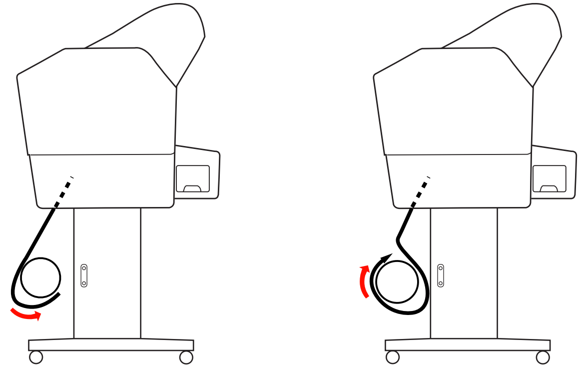


重要
送り出された用紙が下に落ちることがあります。落下の際に、用紙端に傷が付かないように受け取ってください。

自動巻き取り装置

自動巻き取り装置を使用すると、印刷中に排紙される用紙を自動的に巻き取ることができます。汚れや折れなどを防止でき、保管や運搬にも便利です。

巻き取る方向は、2 種類あります。

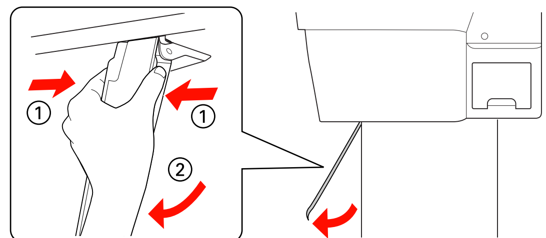


警告	巻き取り紙管は正しく、しっかり固定してください。落下によって、けがをするおそれがあります。

ロール紙の先端部が垂直にカットされていることを確認してください。先端部が波打っていたり、でこぼこにカットされていると、正しく巻き取れません。
本書 38 ページ「ロール紙のカット」

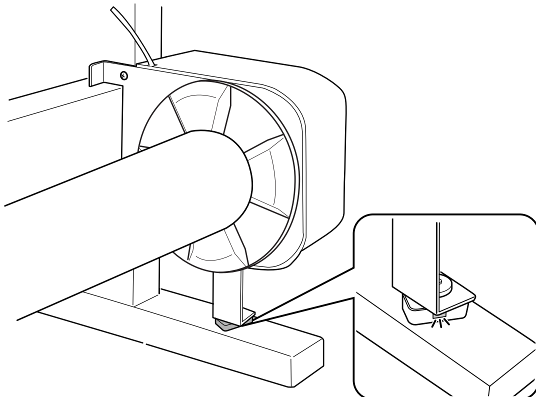
Forward での巻き取り

1 **排紙サポートを手前の方向に固定します。**



2 **センサランプのオレンジ色のLEDが点灯していることを確認します。**

LEDは下部が緑色のLED上部がオレンジ色のLEDに分かれています。緑色の LED はコネクタが接続され電源がオンになっていることを示します。
オレンジ色の LED が消灯しているときはセンサユニットの発光部と受光部の間に障害物があるか、発光部と受光部の位置が合っていない可能性があります。
発光部と受光部が一致するように調整し、ダイヤル状のロックを回して固定します。



3 **◁ ボタンを押して［ ］を選択します。**

自動巻き取り装置は［ ］が選択されている場合のみロール紙を巻き取ります。

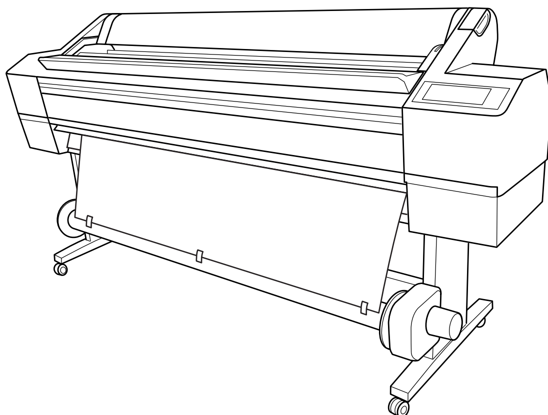
4 **ロール紙の先端を用紙セット位置に合せます。**

バーコード印刷がされているロール紙ではここでバーコードの情報を読み取ります。

その後 ▽ ボタンを押してロール紙を送ります。

用紙のセット位置の説明は、以下を参照してください。
→ 本書 35 ページ「プリンタへのセット」手順 8

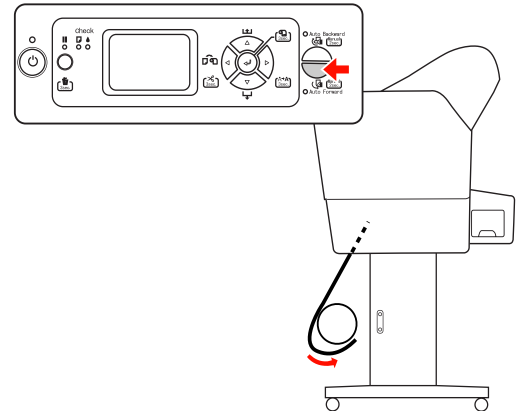
5 **ロール紙の先端部を巻き取り、紙管に市販のテープなどで 3 カ所を止めます。**



6 **▽ ボタンを押して、ロール紙をたるませます。**

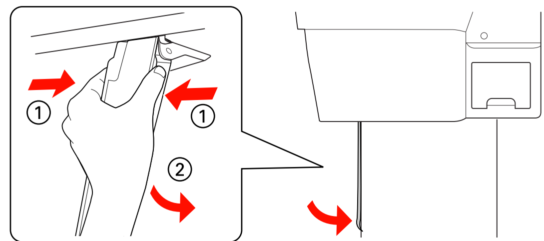
7 **［Auto Forward］ボタンを押し続け、巻き取り紙管に一回転分以上、ロール紙を巻き取ります。**

巻き付け後に、ロール紙と巻き取り紙管の間に十分なたるみがあるようにしてください。



Backward での巻き取り

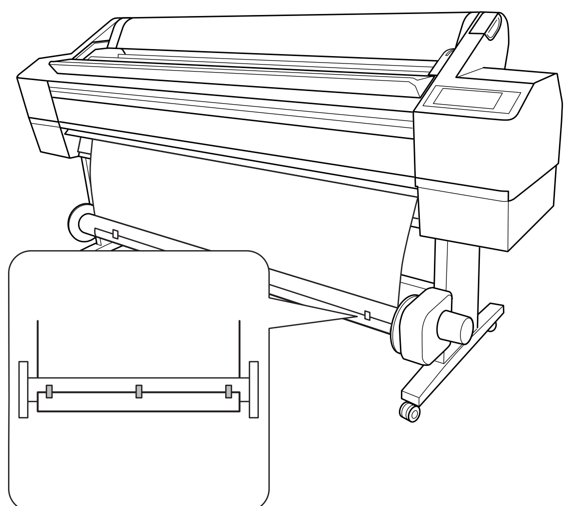
1 **排紙サポートを垂直の位置にします。**



2 **ロール紙を引き出します。**

→ 本書 44 ページ「Forward での巻き取り」手順 3 ～ 5

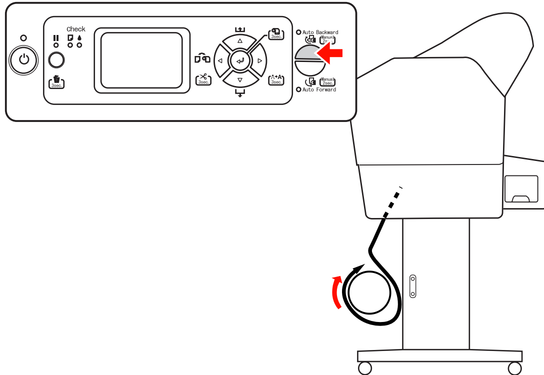
3 **ロール紙の先端部を巻き取り紙管の裏側から引き出し、市販のテープなどで 3 箇所を止めます。**



4 ▽ボタンを押してロール紙をたるませます。

5 [Auto Backward] ボタンを押し続け、巻き取り紙管に一回転分以上、ロール紙を巻き取ります。

巻き付け後に、ロール紙と巻き取り紙管の間に十分なたるみがあるようにしてください。



排紙バスケットについて

- 自動巻き取り装置を使用するときは、排紙バスケットの布を巻き取り、左右のフックを元の位置に戻しておいてください。
- 排紙バスケットを使用するときは、自動巻き取り装置の両側のフランジを取り外して、可動ユニットを外側にしてください。

動作確認

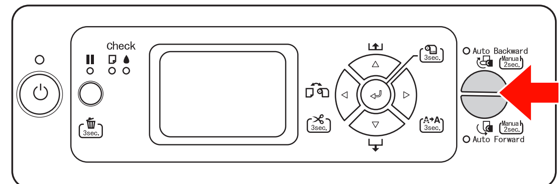
セットしたロール紙が正しく巻き取られるか確認します。

⚠警告	• 動作中は自動巻き取り装置に触れないでください。手や髪の毛などが巻き込まれてけがをするおそれがあります。 • 動作中は、センサの検知エリアに入らないでください。巻き取り動作が開始するため、用紙を無理に巻き取ろうとして正常な印刷ができなくなります。

1 印刷終了時に、[オートカット] を [カットなし] に設定します。

- 操作パネルから印刷する場合（ステータスシート、ノズルチェックやギャップ調整のパターンなど）
  操作パネルの◁ボタンを押して、[ロール紙カッターオフ]（ ）を選択します。
- プリンタドライバから印刷する場合
  プリンタドライバの [用紙設定] 画面で、[オートカット] を [カットなし] に設定します。

2 [Auto Forward] ボタンまたは
[Auto Backward] ボタンを押します。



3 印刷を実行します。

印刷が始まり、手順 2 で設定した巻き取り方向に従って用紙を巻き取ります。

巻き取り後の紙管の取り外し

巻き取り後の紙管は以下の手順で取り外してください。

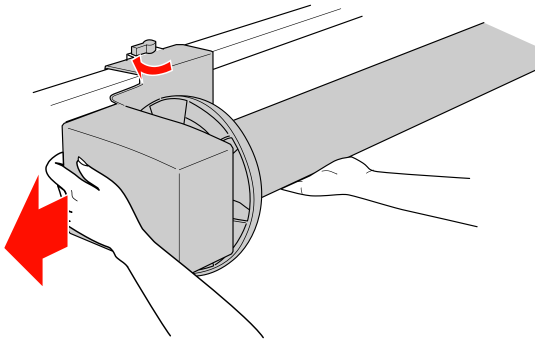
1 **ロール紙を切り離します。**

- ◁ボタンを押して［ロール紙自動カット］を選択します。
- ◁ボタンを3秒以上押すと、ロール紙がカットされます。

内蔵カッターでカットできないロール紙は、市販のハサミやカッターなどで切り離してください。

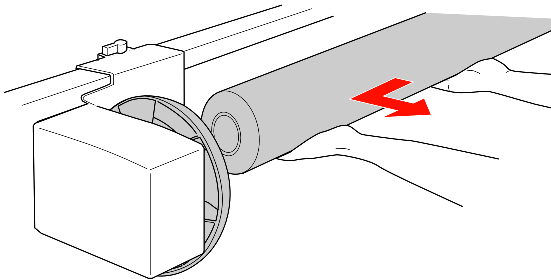
2 **可動ユニットのロックを解除し、可動ユニットを巻き取り紙管から取り外します。**

巻き取り紙管を落とさないように片手で支えてください。



3 **巻き取り紙管を自動巻き取り装置から取り外します。**

> **!重要**
> ロール紙が巻かれた紙管は 2 人で両端を持って取り外してください。



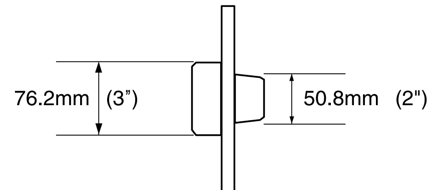
使用済みロール紙の紙管を代用する方法

使用済みロール紙の紙管を使用できます。

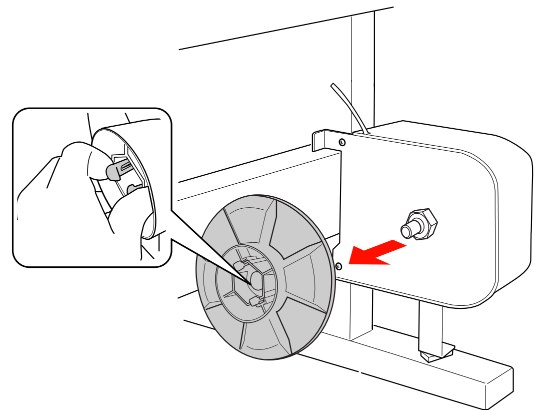
> **!重要**
> 変形していたり表面に損傷部のある紙管は、巻き取り紙管として使用できません。

2インチ巻き取り紙管を取り付ける場合は、駆動ユニットと可動ユニットのフランジを裏返します。

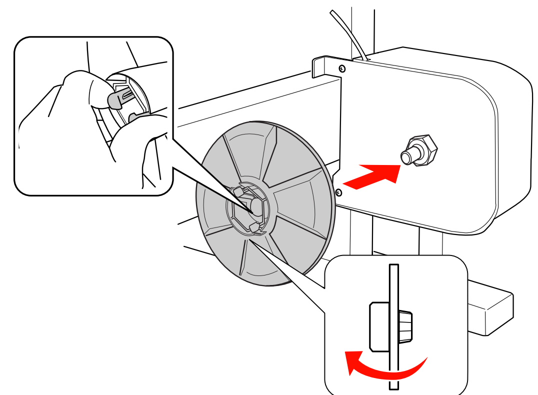
> **参考**
> フランジの外径は図の通りです。



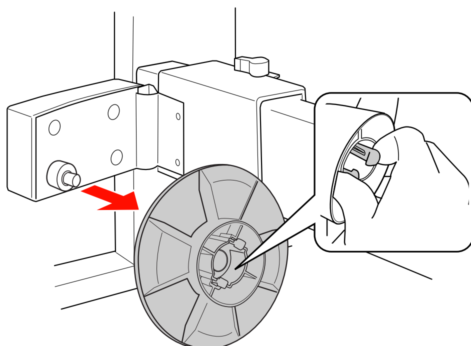
1 **駆動ユニット用フランジのつまみをつまんで取り外します。**



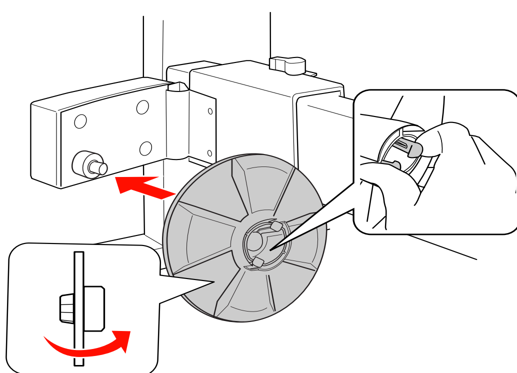
2 **フランジを裏返して、つまみをつまんだままフランジを軸に差し込みます。**



3 **稼動ユニット用フランジのつまみをつまんで取り外します。**



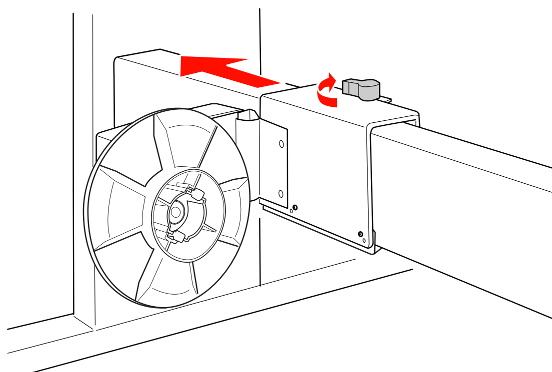
4 **フランジを裏返して、つまみをつまんだままフランジを軸に差し込みます。**



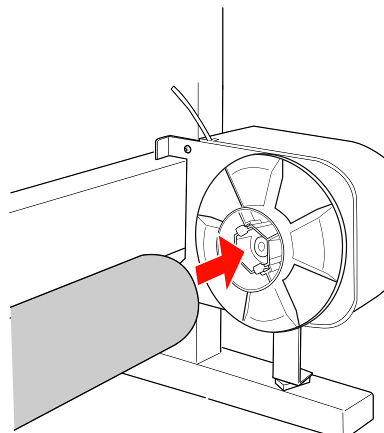
巻き取り紙管の取り付け

巻き取り紙管の取り付け方法は、2 インチ紙管も 3 インチ紙管も同じです。

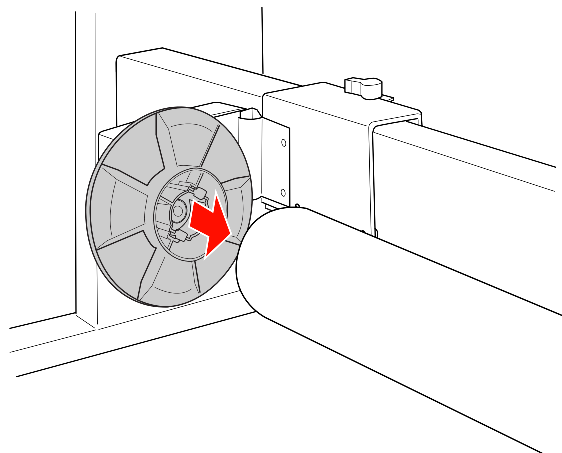
1 **可動ユニットを左端に移動します。**



2 **巻き取り紙管を駆動ユニットのフランジに差し込みます。**

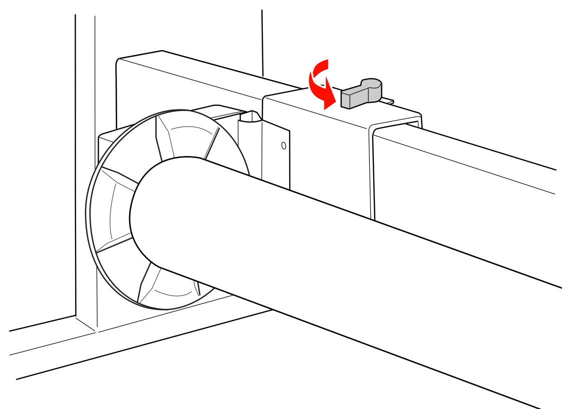


3 **可動ユニット側のフランジを差し込み、巻き取り紙管の側面に合わせます。**



4 **可動ユニットのロックを固定します。**

紙管がぐらつかず、きちんと固定されていることを確認します。



排紙バスケットの使い方

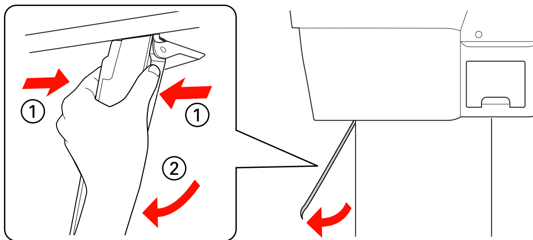
オプションの排紙バスケットを使うと、排紙するときに、印刷された用紙の汚れや折れなどを防止できます。

長さ 914mm 未満かつ用紙厚 0.5mm 未満の用紙に使用できます。

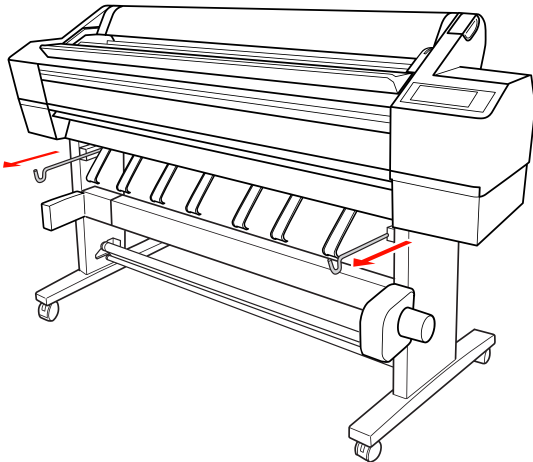
!重要

受け取る用紙は、1 回 1 枚にしてください。複数枚ためると、排紙サポートとバスケットのすき間が狭くなり、正常に排紙できなくなるおそれがあります。

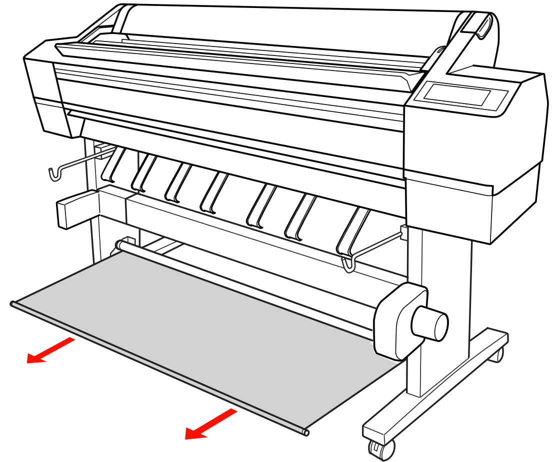
1 排紙サポートを手前の方向に固定します。



2 左右のフックを前方いっぱいに引き出します。



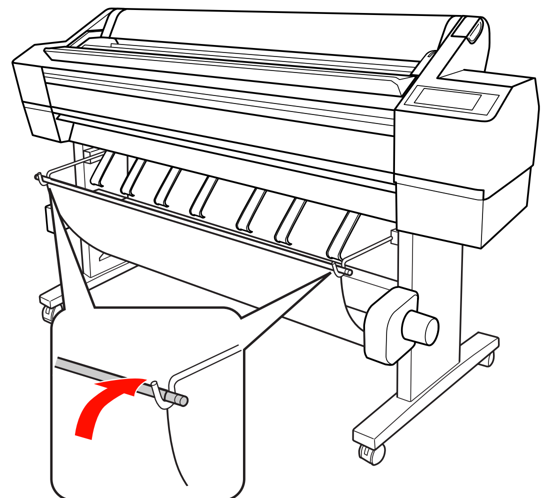
3 布先端のシャフトを持ち、止まるところまで静かに水平に引き出します。



参考

布を引き出すときに数箇所止まる箇所がありますが、布が完全にロックされるまで引き出してください。

4 フックが確実に引き出されていることを確認し、フック先端の半円状のくぼみにシャフトの左右の端を掛けます。

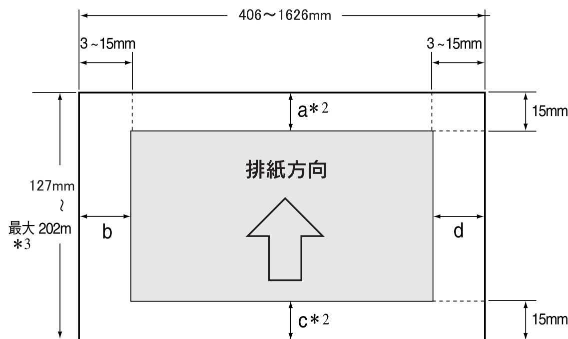


印刷可能領域

ロール紙

ロール紙の余白は、パネル設定モードの［ロール紙余白］の設定値によって異なります。

→ 本書 26 ページ「［プリンタ設定］メニュー」



「ロール紙余白」の設定値	設定内容
デフォルト（初期値）	a=c=15mm*1
	b=d=3mm
先端＆後端 15mm	a=c=15mm
	b=d=3mm
先端 35/ 後端 15mm	a=35mm
	c=15mm
	b=d=3mm
四辺 3mm	a,b,c,d =3mm
四辺 15mm	a,b,c,d =15mm

左右フチなし印刷を行うと、左右余白は 0mm になります。また、四辺フチなし印刷を行うと四辺の余白が0mmになります。

*1 初期値を選択すると、エプソンプロフェッショナルフォトペーパー<厚手光沢>、<厚手半光沢>、<厚手絹目>では a=20mm、c=15mm になります。また、MC マット合成紙<のり付>では a=100mm、c=15mm になります。

*2 プリンタドライバの［給紙方法］で［ロール紙　長尺モード］の設定をしたときは、用紙上下の余白が 0mm になります。

*3 プリンタドライバで設定可能な用紙長の最大値は、以下の通りです。
Windows　：15000mm（590.6inch）
Mac OS X：15240mm（600inch）
それ以上の長さの用紙に印刷するときは、［ロール紙 長尺モード］を選択してください（長尺モードに対応したアプリケーションソフトを使用したときに有効）。

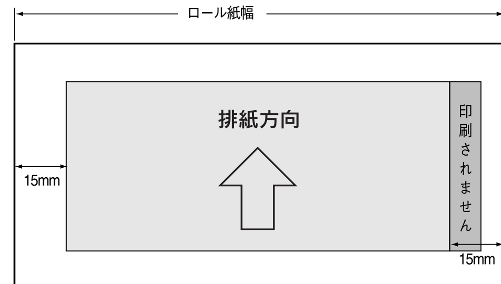
！重要

- ロール紙の最終端が芯から外れるときに印刷が乱れます。最終端には印刷領域がかからないように注意してください。
- 余白が変わっても印刷されるエリアは変わりません。

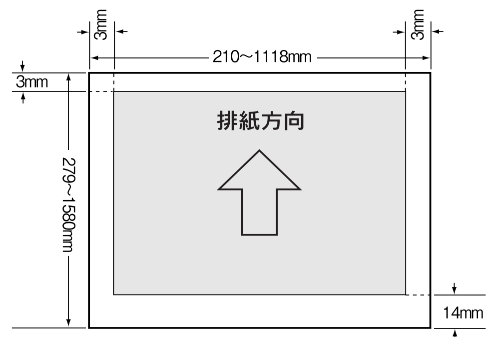
参考

以下の場合は、印刷領域からはみ出た用紙右端のデータが印刷されません。

- 左右の余白が 15mm の設定で、用紙幅いっぱいに印刷したり自動回転して印刷した場合
- 24 インチ幅のロール紙に、A1 サイズで印刷したり A2 横サイズで印刷した場合



単票紙



左右フチなし印刷すると、左右余白は 0mm になります。

基本的な印刷方法

印刷方法

印刷は接続したコンピュータから用紙サイズや給紙方法などを設定して実行します。

印刷の手順（Windows）

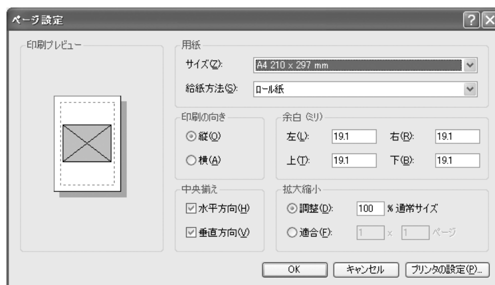
用紙設定

1 **アプリケーションソフトを起動します。**

2 **［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［プリンタ設定］などの用紙設定関連コマンド）を選択します。**

3 **［ページ設定］画面で用紙サイズなど必要な項目を設定します。**

< 例 > ［ペイントの場合］



参考

アプリケーションソフトによっては、独自の［ページ設定］画面が表示されることがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

4 **［OK］をクリックして、［設定］画面を閉じます。**

この後に印刷データを作成します。

印刷設定と印刷の開始

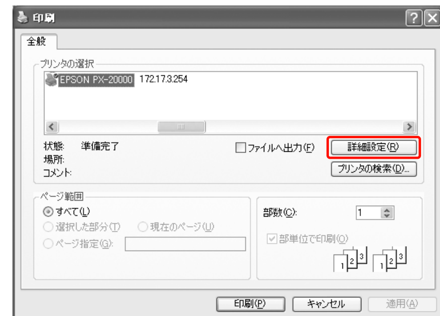
1 **プリンタを印刷可能な状態にします。**

電源を入れて、印刷する用紙をセットします。

→ 本書 33 ページ「用紙のセット」

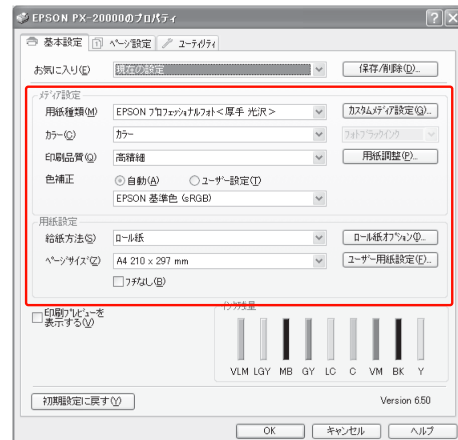
2 **印刷データを作成したら［ファイル］メニューから［印刷］（または［プリント］）を選択します。**

3 **本製品の名称を選択し、［詳細設定］（または［プロパティ］など）をクリックして設定画面を表示します。**



4 **［基本設定］タブをクリックして、セットした用紙に合わせて用紙種類や印刷品質、給紙方法、用紙サイズなどを設定します。**

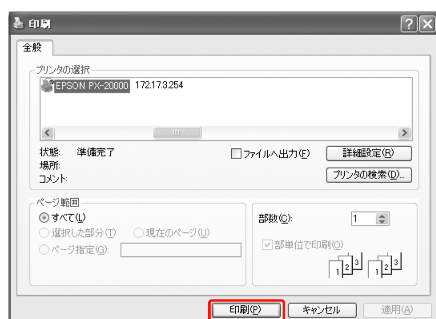
［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせてください。



5 必要に応じて［ページ設定］タブをクリックして各項目を設定します。



6 設定が完了したら、［OK］をクリックして画面を閉じ、［印刷］をクリックして印刷を実行します。



画面上にプログレスメータが表示され、印刷が始まります。

印刷の手順（Mac OS X）

用紙設定

1 アプリケーションソフトを起動します。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［プリンタ設定］などの用紙設定関連コマンド）を選択します。

3 各項目を設定します。

［用紙サイズ］にはプリンタで使用できる用紙のリストが表示されます。お使いの用紙のサイズと目的に合わせて選択してください。

→ 本書 53 ページ「用紙サイズの選択肢」



4 ［OK］をクリックして、設定画面を閉じます。

この後に印刷データを作成します。

用紙サイズの選択肢

	［用紙サイズ］*XXXX は用紙サイズ	説明
ロール紙	XXXX（ロール紙（長尺））	長尺印刷アプリケーションを使用する場合に選択します。上下には余白ができません。左右に 3mm の余白ができます。
	XXXX（ロール紙（フチなし、自動拡大））	ロール紙にフチなし印刷する場合に選択します。自動拡大でのフチなし印刷は、プリンタドライバが印刷データを用紙サイズより左右に約 3mm ずつ拡大し、はみ出させて印刷します。はみ出し量は［はみ出し量設定］の画面で変更できます。上下方向にも左右と同じ比率で拡大します。印刷データを自動的に拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。ただし、はみ出した部分は印刷されません。
	XXXX（ロール紙（フチなし、原寸維持））	ロール紙にフチなし印刷する場合に選択します。プリンタドライバは、印刷データの大きさを上下左右とも維持したまま印刷します。あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙サイズより上下左右方向が各5mmずつ大きくなるように印刷データを作成することで、フチなし印刷を実現します。
	XXXX（ロール紙（フチなし、長尺））	長尺印刷アプリケーションを使用してフチなし印刷する場合に選択します。プリンタドライバは、印刷領域を用紙幅に対して左右を約 3mm ずつ広げて印刷します。印刷データの大きさを拡大しないため、上下方向は作成した大きさのまま印刷します。ただし、あらかじめ用紙サイズより左右に 3mm ずつはみ出した原稿を作成する必要があります。上下にも余白はできません。
単票紙	XXXX（単票紙（フチなし、自動拡大））	単票紙に左右フチなし印刷する場合に選択します。自動拡大でのフチなし印刷は、プリンタドライバが印刷データを用紙サイズより左右に 3mm ずつ拡大し、はみ出させて印刷します。はみ出し量は［はみ出し量設定］の画面で変更できます。上下方向にも左右と同じ比率で拡大します。印刷データを自動的に拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。ただし、左右にはみ出した部分は印刷されず、また上 3mm、下 14mm の余白ができます。
	XXXX（単票紙（フチなし、原寸維持））	単票紙に左右フチなし印刷する場合に選択します。原寸維持は、印刷データの大きさを維持したまま印刷することでフチなし印刷します。あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙サイズより左右方向が各 5mm ずつ大きくなるように印刷データを作成してください。 上下方向は作成された印刷データのまま印刷しますが、それぞれ上 3mm、下 14mm の余白ができます。

印刷設定と印刷の開始

1 **プリンタを印刷可能な状態にします。**

電源を入れて、印刷する用紙をセットします。

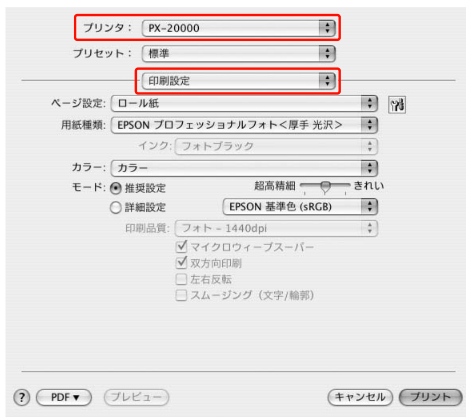
→ 本書 33 ページ「用紙のセット」

2 **印刷データを作成したら［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**

プリンタ名が表示されないときは、「プリンタの追加」を行ってください。

→ 本書 15 ページ「Mac OS X のプリンタ追加方法」

3 **プリンタ名が表示されていることを確認し、［印刷設定］を選択します。**

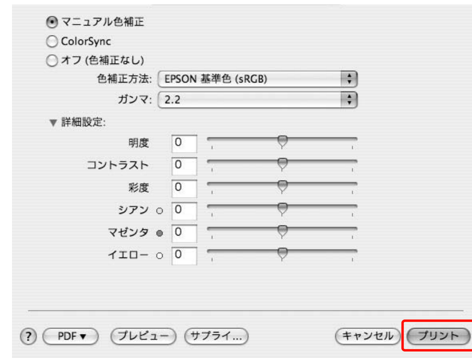


4 **各項目を設定します。**

セットした用紙に合わせて［用紙種類］を選択します。通常は［印刷設定］の各項目を設定するだけで正常に印刷できます。



5 **必要に応じてその他の項目を設定してから、［プリント］をクリックして印刷を実行します。**



印刷状態の確認

<Windows の場合 >

印刷を実行すると進行状況（コンピュータの処理状況）を表示するプログレスメータが表示されます。



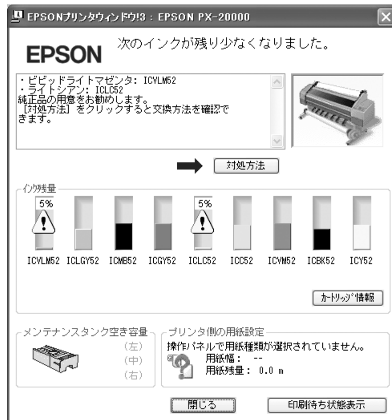
<Mac OS X の場合 >

印刷を実行すると、［Dock］内に［プリンタ］アイコンが表示されます。［プリンタ］アイコンをクリックすると詳細な進行状況が表示されます。



印刷中に問題が起こったときは

<Windows の場合 >
問題が発生したり、インクカートリッジ交換が必要になるとエラーメッセージが表示されます。
［対処方法］をクリックすると、対処方法が表示されます。



<Mac OS X の場合 >
印刷中にエラーが発生するとエラーメッセージが表示されます。対処方法がわからないときは印刷を中止して、EPSON プリンタウィンドウを起動して確認してください。



印刷の中止方法

印刷を中止するには、状況に応じて以下の方法があります。

データ転送中

コンピュータでの中止	プリンタでの中止	操作
○	－	コンピュータから中止したいデータを選択して中止します。

データ転送中 / 印刷中

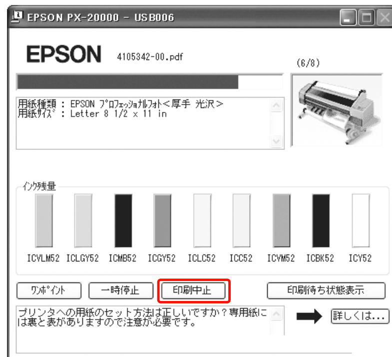
○	○	コンピュータとプリンタの両方で中止の操作をします。 • コンピュータから中止の操作をしても、プリンタで中止の操作を行わないと、プリンタに蓄積されているデータが印刷され続けることがあります。 • プリンタで中止の操作をしても、コンピュータから中止の操作を行わないと、プリンタをリセット後にコンピュータに蓄積されているデータが再送信され、印刷され続けることがあります。 • プリンタで中止したときは、ほかの印刷データもすべて削除されます。

印刷中

－	○	プリンタで中止の操作をします。 • コンピュータからは中止できません。 • ほかの印刷データもすべて削除されます。

コンピュータで中止（Windows）

プログレスメータが表示されているとき
［印刷中止］をクリックします。

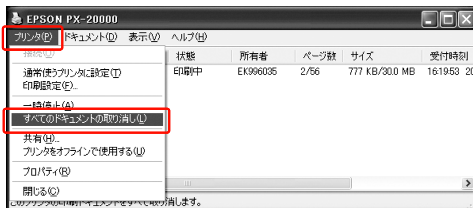


プログレスメータが表示されていないとき

1 **タスクバーのプリンタアイコンをダブルクリックします。**

2 **中止したい印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。**

すべての印刷データを削除するときは、［プリンタ］メニューの［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックしてください。



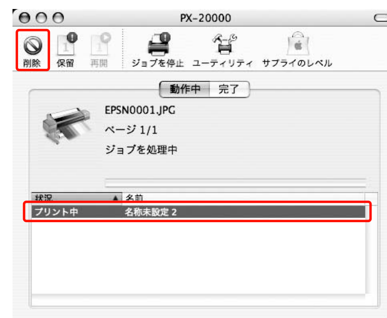
プリンタへのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。プリンタ側で印刷を中止してください。

コンピュータで中止（Mac OS X）

1 **［Dock］内の［プリンタ］アイコンをクリックします。**



2 **中止したい印刷データをクリックして、［削除］をクリックします。**



参考

- 印刷待ちのデータを削除したいときも、手順は同じです。
- すでにプリンタ側に送られてしまった印刷データは削除できません。送信済みの印刷データはプリンタで印刷を中止してください。

プリンタ本体で中止

⏸ ボタンを 3 秒以上押してプリンタをリセットします。

印刷途中であっても、プリンタをリセットします。リセット後、印刷可能状態になるまで時間がかかることがあります。

参考

上記の操作では、コンピュータの印刷待ちデータを削除することはできません。印刷待ちデータを削除するときは前項の「コンピュータで中止する」を参照してください。

ブラックインク種類の使い分け

本製品にはフォトブラック、マットブラックの 2 種類のブラックインクがセットされています。
フォトブラックは光沢系用紙において粒状感を軽減し、なめらかな仕上がりを実現します。マットブラックはマット系用紙で高濃度の発色が得られます。
これらのブラックインクは、印刷用紙に応じて自動的に切り替えて使用されます。

使用する用紙とブラックインク種類の組み合せは以下のページを参照してください。

→ 用紙ガイド（冊子）

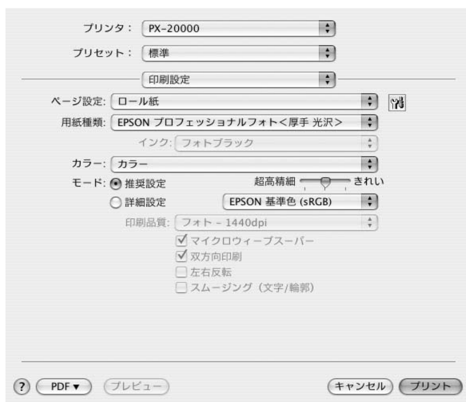
どちらのブラックインクも使用できる用紙の場合は、以下の手順で種類を選択してください。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）または［印刷設定］画面（Mac OS X）を表示します。**

Windows

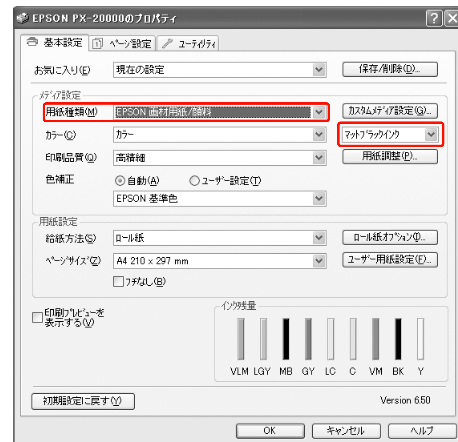


Mac OS X



2 **［用紙種類］から印刷する用紙を選択します。**

選択した用紙に応じて、使用するブラックインクが表示されます。



3 **その他の設定を確認して印刷を実行します。**

消耗品とオプション

消耗品の紹介

以下の消耗品を用意しています（2007 年 5 月現在）。

エプソン製の専用紙

エプソン製の専用紙に関する情報は、以下を参照してください。

→ 用紙ガイド（冊子）

また、最新の情報は、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）を参照してください。

インクカートリッジ

インクの色	型番
ビビッドライトマゼンタ	ICVLM52
ライトグレー	ICLGY52
マットブラック	ICMB52
グレー	ICGY52
ライトシアン	ICLC52
シアン	ICC52
ビビッドマゼンタ	ICVM52
フォトブラック	ICBK52
イエロー	ICY52

本製品に添付のプリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

交換方法は以下を参照してください。

→ 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換手段」

オプションの紹介

本製品をより幅広くお使いいただくために、以下のオプション（別売品）を用意しています（2007 年 5 月現在）。

メンテナンスタンク

名称	型番
メンテナンスタンク	PXMT2

交換方法は以下を参照してください。

→ 本書 66 ページ「メンテナンスタンクの交換」

カッター替え刃

名称	型番
カッター替え刃	PM90SPB

交換方法は、以下を参照してください。

→ 本書 68 ページ「カッターの交換」

ロール紙固定ベルト

名称	型番
ロール紙固定ベルト	ROLLH

排紙バスケット

名称	型番
排紙バスケット	PX20HBKT

取り付けと使い方は、以下を参照してください。

→ 本書 49 ページ「排紙バスケットの使い方」

デュアルテンションスピンドル

名称	型番
デュアルテンションスピンドル	PX20DSD

インターフェイスケーブル

USB ケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータとプリンタを接続するときは、オプションの USB ケーブルを使用してください。

名称	型番
EPSON USB ケーブル	USBCB2

→ 本書 14 ページ「コンピュータの接続」

参考

USB ハブ（複数の USB 機器を接続するための中継機）を使用するときは、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがあります。そのときはコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

ネットワークケーブル

本製品を Ethernet でネットワーク環境に接続するときは、市販の LAN ケーブルを使用してください。

- シールドツイストペアケーブル
  1000Base-T の場合カテゴリ 5e 以上、
  100Base-TX の場合カテゴリ 5 以上

→ 本書 14 ページ「コンピュータの接続」

メンテナンス

日常の管理

設置に適した環境

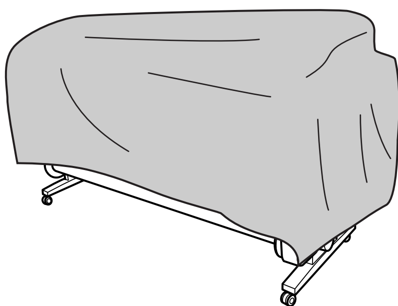
本製品は以下の条件を満たす場所に設置してください。

- プリンタの質量（約 150.5kg）に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- プリンタの操作やメンテナンスに支障のないよう、周囲に十分なスペースを確保できる場所
  → 本書 106 ページ「設置スペース」
- 温度 10 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80％の場所

ただし、上記の条件を満たしていても、使用する用紙の条件を満たしていないと、正しく印刷できないことがあります。必ず用紙の条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、用紙の取扱説明書を参照してください。
冬に乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直射日光があたる場所で使用するときは、乾燥しないように注意し、条件範囲内の湿度を保つようにしてください。

印刷時以外のご注意

プリンタのノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりしてしまいます。使用時以外は、ロール紙カバーやフロントカバーは閉じてください。また、長期間使用しないときは、ホコリが入らないよう、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。



用紙の取り扱いと保管

取り扱い上のご注意

用紙を取り扱う際は以下の点に注意して、各用紙の取扱説明書の指示に従ってください。

- エプソン製の専用紙は一般室温環境下（温度15～25℃、湿度 40 ～ 60％）で使用してください。
- 用紙を折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- 用紙の印刷面には触れないでください。手に付いた水分や油が印刷品質に影響します。
- ロール紙は、用紙の端を持って取り扱ってください。また綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- 単票紙は、温度や湿度などの環境の変化により、波打ったり、たわんでしまうことがあります。用紙を傷付けたり汚したりしないように、手で平らな状態に修正してからセットしてください。
- 個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、なくさないでください。

印刷後のご注意

印刷後は、以下の点に注意してください。

- 印刷物を擦ったり引っかいたりしないように注意してください。擦ったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあります。
- 印刷物の表面には触らないでください。インクが剥がれることがあります。
- 印刷後の用紙は、重なったり折れ曲がったりしないようにして、乾燥させてください。重なった状態にしておくと、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡は乾燥させればなくなりますが、重なっている状態で放置すると、乾燥させても跡が消えなくなります。
- 乾燥していない状態でアルバムなどに保存すると、にじみが発生することがあります。印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。
- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐために用紙の取扱説明書の指示に従って展示 / 保存してください。適切な展示 / 保存をすることによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

参考

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製の専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。

- 各エプソン製の専用紙の詳しい印刷後の取り扱い方法は、専用紙の取扱説明書を参照してください。
- 写真やポスターなどの印刷物は照明（光源 *）の違いなどによって、色の見え方が異なります。本製品の印刷物も光源の種類によって色が異なって見える場合があります。
  * 光源には太陽光、蛍光灯、白熱灯などの種類があります。

保管時のご注意

用紙を保管する際は以下の点に注意して、各用紙の取扱説明書の指示に従ってください。

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後の単票紙は、個装袋に戻して個装箱に入れて水平な状態で保管してください。
- 使用しないロール紙は、スピンドルから取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間プリンタにセットしたまま放置すると、用紙品質が低下するおそれがあります。
- 用紙を濡らさないでください。
- 印刷した用紙を保存するときは、色合いを保つために、高温、多湿、直射日光を避けて、暗所に保存することをお勧めします。

インクカートリッジの交換

参考

電源が切れている状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われず、インクチェックランプが点灯する前にインクが使用できない状態になったり、正常に印刷できなくなったりします。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。

インクの交換が必要になった / インクが残り少なくなったときは

インクチェックランプの点滅は、インクが残り少ないことを示しています。また、EPSON プリンタウィンドウがインストールされていると、インクの交換が必要になったときや残り少なくなったときは、コンピュータの画面にメッセージが表示されます。インク交換のメッセージが表示されるまで印刷できますが、インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジを交換することをお勧めします。9 種類のインクカートリッジのうちひとつでもインクが使用できないと印刷できません。印刷の途中でインクが使用できなくなったときは、そのインクカートリッジを交換すると印刷が続行されます。

Windows



Mac OS X



* 画面上の［対処方法］をクリックすると交換手順が表示されます。

インク残量を確認したいときは

プリンタのディスプレイで確認

プリンタのディスプレイにはインク残量の目安が表示されます。

→ 本書 19 ページ「ディスプレイ」

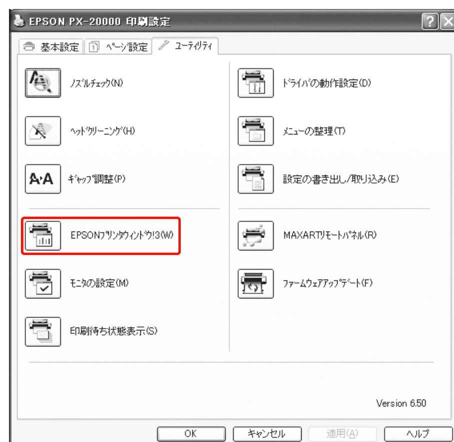
正確なインク残量は［プリンタステータス］メニューで確認できます。大量に印刷する際、インク残量を確認して残量が少ないときは新しいインクカートリッジを準備することをお勧めします。

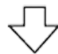
→ 本書 21 ページ「設定メニューの使い方」
→ 本書 28 ページ「［プリンタステータス］メニュー」

コンピュータの画面で確認

コンピュータの画面で、EPSON プリンタウィンドウを使うと、インク残量が表示されます。

Windows の場合
プリンタドライバの設定画面を開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。



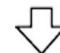




> **参考**
> ［モニタの設定］画面で［呼び出しアイコン］を設定すると、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューからプリンタ名をクリックしても、EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動できます。
> → 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「［モニタの設定］画面の表示方法」
>
> 
>

Mac OS X の場合
［EPSON Printer Utility2］画面を開いて［EPSON プリンタウィンドウ］をクリックします。







インクカートリッジの種類

本製品では、以下のインクカートリッジを使用してください。

スロット番号	インクの色	型番
#1	ビビッドライトマゼンタ	ICVLM52
#2	ライトグレー	ICLGY52
#3	マットブラック	ICMB52
#4	グレー	ICGY52
#5	ライトシアン	ICLC52
#6	シアン	ICC52
#7	ビビッドマゼンタ	ICVM52
#8	フォトブラック	ICBK52
#9	イエロー	ICY52

！重要
本製品のプリンタドライバは、本製品に対応した純正インクカートリッジを前提に色調整されていますので、本製品に対応した純正品以外を使うと印刷品質が低下したり、プリントヘッドの目詰まりやインク漏れなどの故障の原因となる可能性があります。また、インク残量を検出できないこともあります。

取り扱い上のご注意

- ディスプレイに「インク残量が少なくなりました」と表示されたときは、印刷途中でインクが無くなることがありますので、早期の交換をお勧めします。
- 良好な品質の印刷結果を得るために、インクカートリッジは、開封後 6ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている有効期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものを使用すると印刷品質に影響を与えることがあります。
- インクカートリッジは、プリンタと同じ環境下で保管してください。
- インクカートリッジのインク供給孔には触らないでください。インク供給部からインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、途中で抜いても再使用可能です。
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶しています。このため、インクを補充しても IC チップ内の残量値が書き換わることはなく、使用できるインク量は変わりません。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクは印刷時だけでなくプリントヘッドのクリーニング操作時などでも消費されます。

交換時のご注意

- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は結露する可能性があります。4 時間以上室温に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、セット前に水平方向に（5 秒ほど）よく振ってください。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全スロットにセットしてください。全スロットにセットしていないと印刷できません。
- インクカートリッジの交換は、プリンタの電源が入っている状態で行ってください。電源が切れている状態で交換すると、インク残量が正しく検出されないため正常に印刷できなくなります。
- インクカートリッジ交換中にプリンタの電源を切らないでください。インクの充てんが不十分になったり、プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなったりするおそれがあります。
- インクが残った状態で取り外したカートリッジに交換するときは、新品のインクカートリッジも用意してください。プリンタにインクを充てんする（インクが消費されます）際に、充てんに必要な容量のインクが残っていないと、新品のインクカートリッジに交換する必要があります。
- 短期間に、インクカートリッジの交換やクリーニングを繰り返すと、メンテナンスタンク内のインク蒸発が少ないためメンテナンスタンクのインクがすぐにいっぱいになる可能性があります。メンテナンスタンクの空き容量が少ない場合は、メンテナンスタンクの予備を用意しておいてください。
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。

保管時のご注意

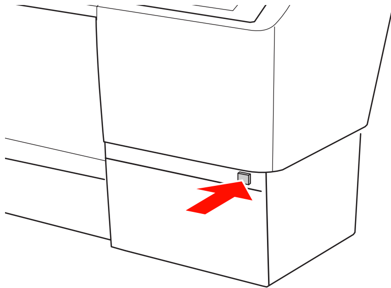
- プリンタと同じ環境下（温度10～35℃/湿度20～80%）で保管してください。
- インクエンド検出前に取り外したインクカートリッジは、インクカートリッジの個装箱に印刷されている有効期限内であれば、再び交換して使用できます。
- インクカートリッジは、インクの供給孔部にホコリが付かないように注意して保管してください。袋などに入れる必要はありません。また、供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないように注意してください。

インクカートリッジの交換手段

1 **プリンタの電源が入っていることを確認します。**

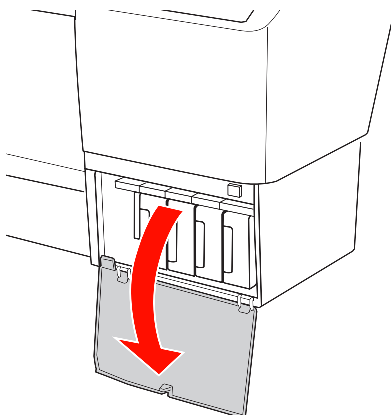
2 **［インクカバーオープン］ボタンを押します。**

ランプが点滅し、その後消灯したらインクカバーのロックが解除され、カバーが5 mm ほど開きます。



左側の［インクカバーオープン］ボタンはカバー上部左側にあります。

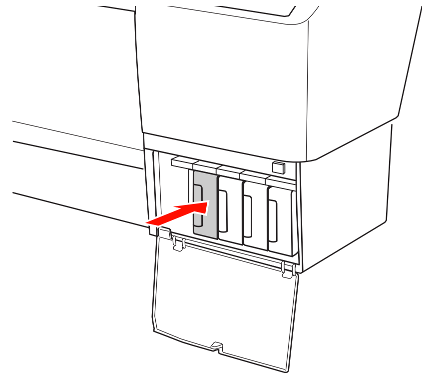
3 **インクカバーを開きます。**



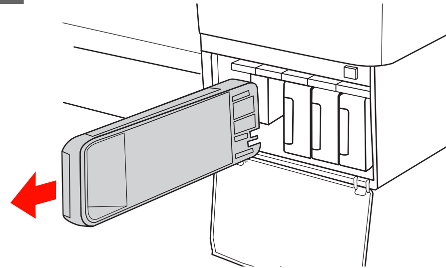
> **参考**
> インクカバーはロックが開放されるまで、無理に開かないでください。

4 **交換するインクカートリッジを奥の方向に押します。**

カチッと音がしてインクカートリッジが少し飛び出します。

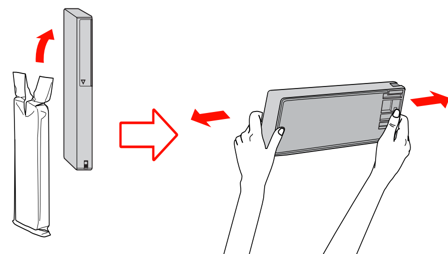


5 **インクカートリッジを引き抜きます。**



> **重要**
> インク供給部からインクが漏れることがあります。手や服を汚さないように注意してください。

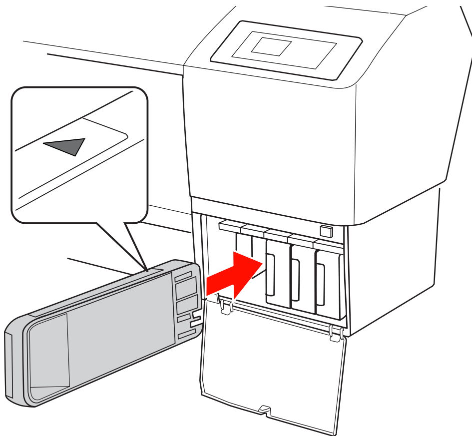
6 **インクカートリッジを袋から取り出し、図のように持って 5 秒ほど振ります。**



> **重要**
> - インクカートリッジの緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
> - プリンタカバー内両側の黒い部品には触らないでください。

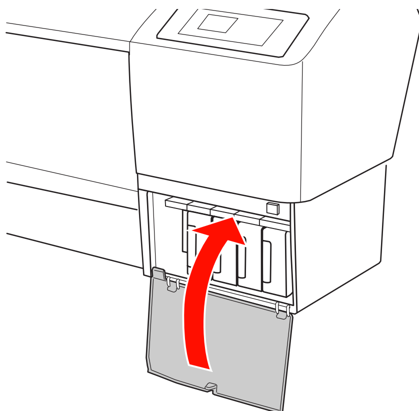
7 **インクカートリッジの▲マークを上にして、カチッと音がするまで差し込みます。**

インクカートリッジの色とインクカバー裏面のラベルの色を合わせてください。



!重要
インクカートリッジは 9 種類すべてをセットしてください。ひとつでもセットされていないと印刷できません。

8 **インクカバーを閉じます。**



インクカートリッジ回収のお願い

ベルマーク運動

弊社は、プリンタの使用済みインクカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。
学校単位で使用済みインクカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。
詳細はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/toner/）を参照してください。

インク回収ポストの設置

インクカートリッジの回収ポストをエプソン製品取り扱い店に設置しています（http://www.epson.jp）。

メンテナンスタンクの交換

メンテナンスタンクは、印刷時以外に、ヘッドクリーニング時に消費されるインクを吸収するためのものです。メンテナンスタンクは、プリンタの右側、左側、背面中央の３箇所に装着されています。プリンタのディスプレイに「メンテナンスタンク空き容量が少なくなりました」または「タンク空き容量不足」と表示されたら、新しいメンテナンスタンクを準備してください。「タンク空き容量なし」と表示されたらメンテナンスタンクを交換してください。

メンテナンスタンクの空き容量を確認したいときは

プリンタのディスプレイで確認

プリンタのディスプレイには、メンテナンスタンクの空き容量の目安が表示されます。
→ 本書 19 ページ「ディスプレイ」

正確な空き容量は［プリンタステータス］メニューで確認できます。大量に印刷するときは空き容量を確認して、容量が少ない場合は新しいメンテナンスタンクを準備することをお勧めします。
→ 本書 21 ページ「設定メニューの使い方」
→ 本書 28 ページ「［プリンタステータス］メニュー」

コンピュータの画面で確認

コンピュータの画面で、EPSON プリンタウィンドウを使うと、メンテナンスタンクの空き容量が表示されます。表示手順は「インク残量の確認」と同じです。
→ 本書 62 ページ「コンピュータの画面で確認」



メンテナンスタンクの交換手段

本製品で使用できるメンテナンスタンクの当社純正品は以下の通りです。

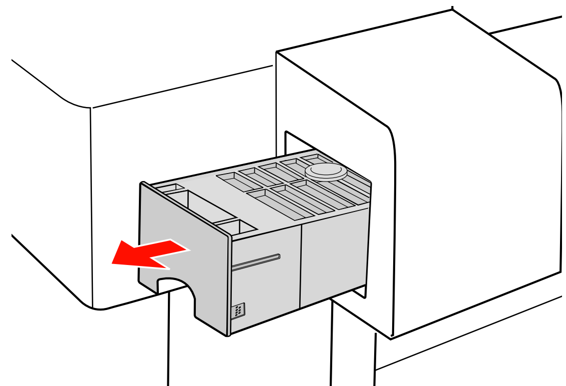
名称	型番
メンテナンスタンク	PXMT2

！重要
印刷中にメンテナンスタンクの交換はしないでください。

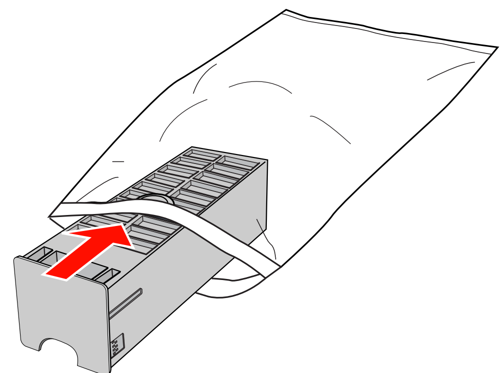
1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **新しいメンテナンスタンクを袋から取り出します。**

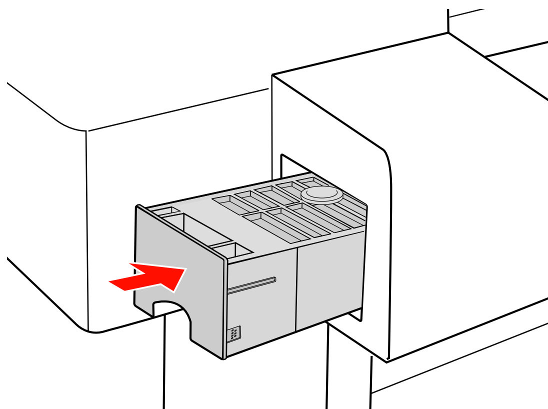
3 **メンテナンスタンクを傾けないようにして、プリンタ本体から引き出します。**



4 **新しいメンテナンスタンクに添付されている透明袋に、使用済みメンテナンスタンクを入れます。**



5 **新しいメンテナンスカタンクをセットします。**



!重要
緑色の基盤部分には触れないでください。

メンテナンスタンクのリサイクルについて

弊社では環境保全活動の一環として、使用済みメンテナンスタンクのリサイクル、再資源化を行っています。「使用済みカートリッジ回収ポスト」を回収協力販売店に設置し、集まった使用済みメンテナンスタンクを定期的に回収しています。ぜひ回収ポストに入れてくださいますようご協力をお願いいたします。

使用済みメンテナンスタンクを回収ポストに入れる際は、メンテナンスタンクに添付されている透明袋に入れてください。

カッターの交換

用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したりしたら、カッターを交換してください。本製品で使用できるカッターの当社純正品は、以下の通りです。

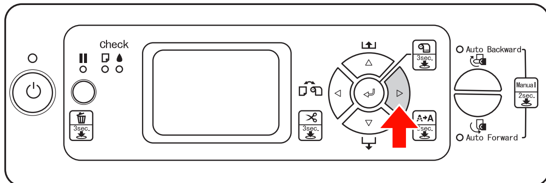
名称	型番
カッター替え刃	PM90SPB

!重要

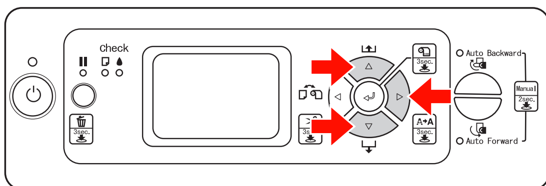
- カッター交換作業は短時間で行ってください。プリントヘッドをカッター交換位置で放置すると、目詰まりする原因になります。
- カッター刃を傷付けないようにしてください。落下したり硬い物に当てたりすると刃が欠けることがあります。

1 プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

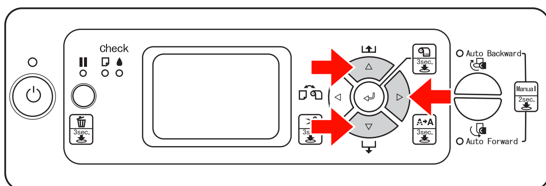
2 操作パネルの▷ボタンを押し、[パネル設定]モードに入ります。



3 △/▽ボタンを[メンテナンス]を選択し、▷ボタンを押します。

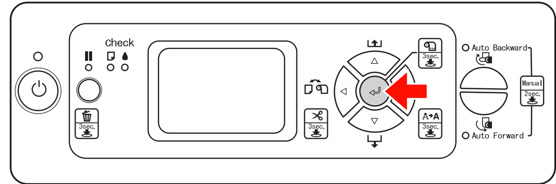


4 △/▽ボタンを[カッター交換]を選択し、▷ボタンを押します。

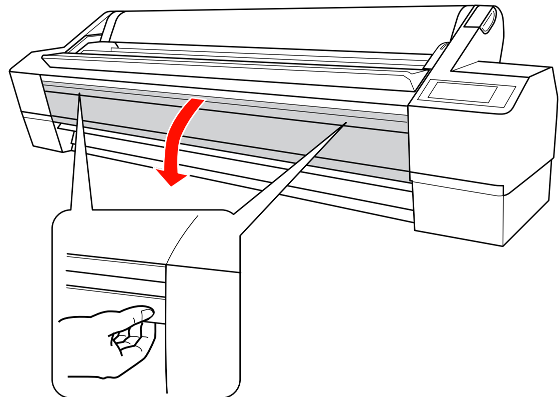


5 ⏎ボタンを押します。

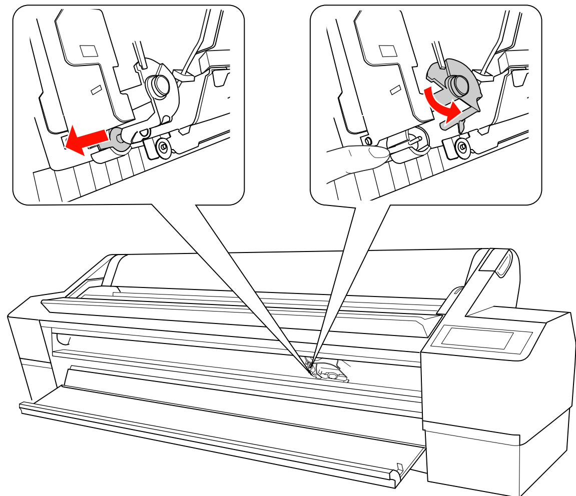
プリントヘッドがカッター交換位置まで移動します。ディスプレイに「フロントカバーを開けてカッター交換ラベルを見てください」と表示されます。



6 フロントカバーを開けます。

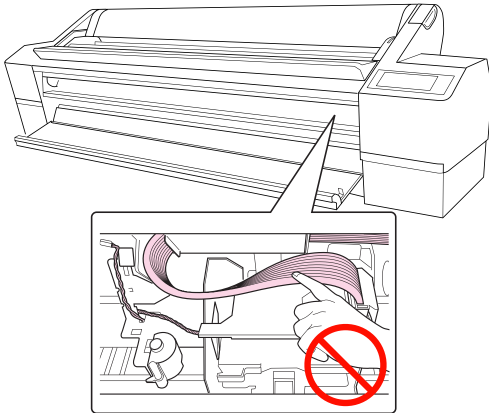


7 カッター押さえのツマミを軽く押しながら、カッター押さえのレバーを図の方向に回転させます。



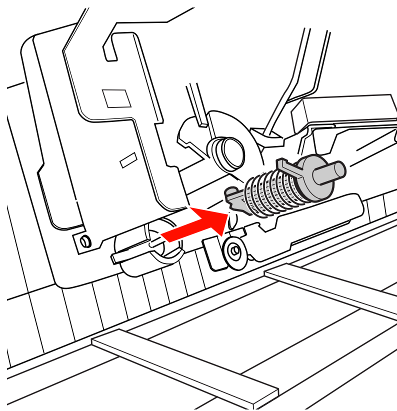
!重要

- カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離したりするとカッターが飛び出すおそれがあります。また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがあります。
- フロントカバー内両側の黒い部品には触らないでください。
- プリントヘッド周辺のケーブル類には触らないでください。故障の原因となります。



8 カッターを取り出します。

⚠注意 カッターの刃でけがをしないように十分に注意してください。また、子供の手に触れないようにしてください。

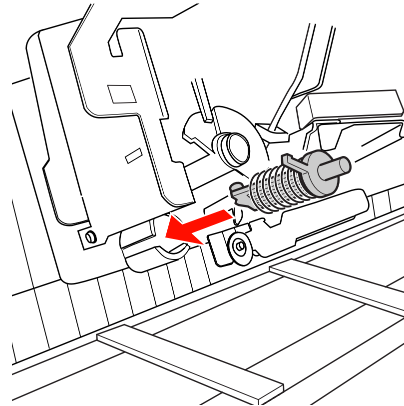


参考

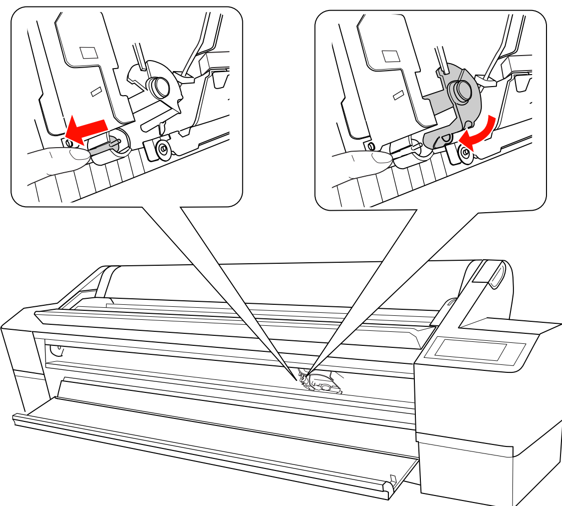
使用済みのカッターは、袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

9 新しいカッターを箱から取り出し、図のようにカッターを差し込みます。

ガイドに沿って奥まで差し込んでください。
また、カッターホルダに組み込まれているバネを飛ばさないように取り付けてください。



10 カッター押さえのツマミを軽く押しながら、カッター押さえのレバーを元の位置に戻します。



11 フロントカバーを閉じます。

プリントヘッドが右端に移動します。

参考

ご使用の環境によって、カッター交換中にプリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりしてしまうことがあります。より良い印刷品質を得るために、カッター交換後は、ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりしていないか確認することをお勧めします。

→ 本書 71 ページ「ノズルチェック」

プリントヘッドの調整

印刷物に白い線が入る、印刷が汚いなど、印刷状態がおかしいときは、プリントヘッドの調整が必要です。本製品には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷結果を得るために、以下のようなメンテナンス機能があります。

手動で行うクリーニング機能
印刷の状況に応じて、手動でクリーニングを行います。

調整項目	ドライバユーティリティから実行	MAXART リモートパネルから実行	プリンタから実行	内容
ノズルチェック	○	○	○	ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認します。
ヘッドクリーニング	○	○	○	プリントヘッドの表面を清掃する機能です。
パワークリーニング	−	○	○	ヘッドクリーニングを数回繰り返してもノズルが詰まっているときに、より強力なクリーニングを行います。

自動的に行われるクリーニング機能（自動メンテナンス機能）

調整項目	内容
自動ノズル抜け検出機能	ノズルチェックを実行し、抜けがある場合は自動的にクリーニングを実行します。
セルフクリーニング	プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にすべてのインクを微量吐出してノズルの乾燥を防ぐ機能です。電源を入れたときや印刷を開始するときなどに行われます。
キャッピング	プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。

プリントヘッドの位置調整機能

調整項目	ドライバユーティリティから実行	MAXART リモートパネルから実行	プリンタから実行	内容
ギャップ調整	○	○	○	印刷した画像が荒れている、ぼやけた印象になるときは、ギャップ調整でプリントヘッドの位置を調整します。

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド*1のノズル*2が目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンがかすれたり、すき間が空いたりしたら、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを解消してください。

パネル設定の［自動ノズル抜け検出］を有効にしておくと、ノズルチェックパターンを印刷することなく、プリントヘッドの目詰まりの状態をプリンタが判断し、自動的にクリーニングします。

*1 プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。
*2 ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。外部からは見えない位置にある。

ノズルチェックを行うには、2 つの方法があります。

- コンピュータから行う
- プリンタの操作パネルから行う

> **参考**
> インクチェックランプの点灯中は実行できません。

コンピュータから行う

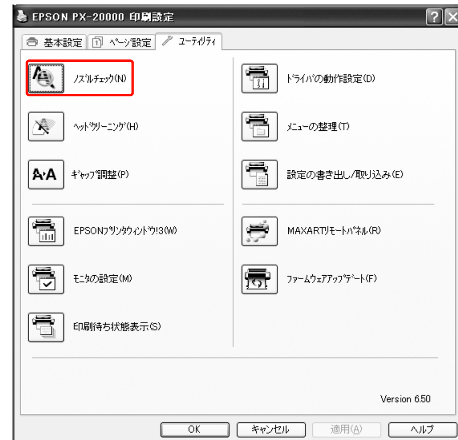
ここでは Windows を例に説明します。
Mac OS X では、［EPSON Printer Utility2］を使用します。
→ 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「EPSON Printer Utility2 の起動方法」

1 **A4 サイズ以上の単票紙またはロール紙をセットします。**

使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

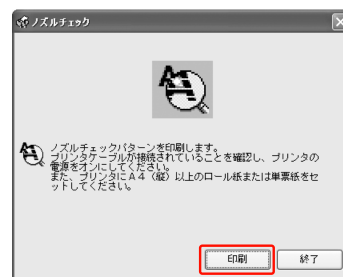
2 **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。**

3 **［ノズルチェック］をクリックします。**



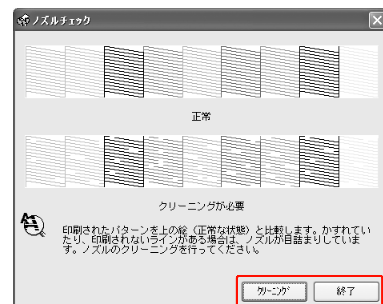
4 **［印刷］をクリックします。**

ノズルチェックパターンが印刷されます。



5 **印刷されたノズルチェックパターンを確認します。**

正常：［終了］をクリック
異常（線がかすれる、消える）：［クリーニング］をクリック



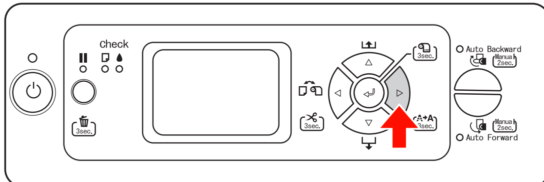
ノズルチェックパターン印刷直後に、印刷またはクリーニングを行うときは、ノズルチェックパターン印刷が完全に終了していることを確認してから実行してください。

プリンタの操作パネルから行う

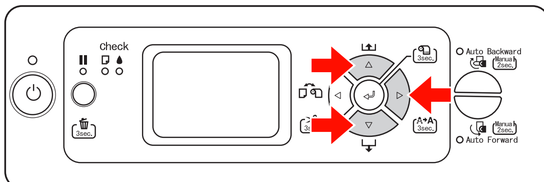
1 **A4 サイズ以上の単票紙またはロール紙をセットします。**

使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

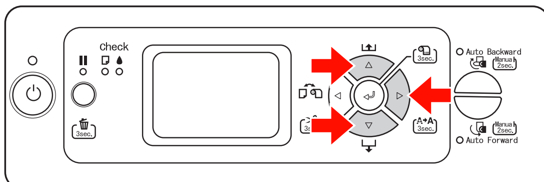
2 **▷ボタンを押してパネル設定モードに入ります。**



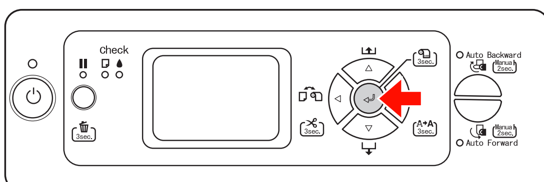
3 **△/▽ボタンを押して［テスト印刷］を選択し、▷ボタンを押します。**



4 **△/▽ボタンを押して［ノズルチェック］を選択し、▷ボタンを押します。**

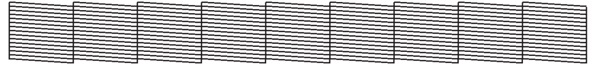


5 **⏎ボタンを押します。**



6 **印刷されたノズルチェックパターンを確認します。**

正常な例



ノズルチェックパターンが欠けていません。ノズルは目詰まりしていません。

異常な例



ノズルチェックパターンが欠けています。ノズルが目詰まりしています。「ヘッドクリーニング」を行ってください。

→ 本書 73 ページ「ヘッドクリーニング」

！重要

- 連続して数回クリーニングしても目詰まりが解消しないときは、パワークリーニングの実行をお勧めします。
  → 本書 74 ページ「パワークリーニング」
- パワークリーニングを行っても目詰まりが解消しないときは、プリンタの電源を切って一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。
  それでも改善されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口へご連絡ください。
- ディスプレイに「クリーニング失敗」というメッセージが表示されたら、以下を参照して対処してください。
  → 本書 86 ページ「ディスプレイにエラーメッセージが表示される」

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングは、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間が空くようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

ヘッドクリーニングを行うには、2 つの方法があります。

- コンピュータから行う
- プリンタの操作パネルから行う

!重要

- ヘッドクリーニングはすべてのインクカートリッジのインクを同時に使います。モノクロ印刷などでブラック系のインクのみを使用しているときも、ヘッドクリーニングではカラーインクを消費します。
- ヘッドクリーニングは、文字がかすれる、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は必要ありません。
- 用紙幅検出が［OFF］のとき、厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷で印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクチェックランプの点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください（クリーニングに必要なインクが残っていれば、操作パネルからヘッドクリーニングができることもあります）。
  → 本書 61 ページ「インクカートリッジの交換」

コンピュータから行う

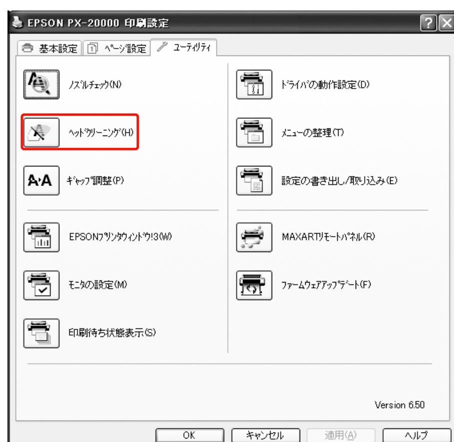
ここでは Windows を例に説明します。

Mac OS X では、［EPSON Printer Utility2］を使用します。

→ 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「EPSON Printer Utility2 の起動方法」

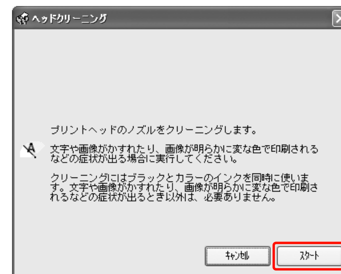
1 **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。**

2 **［ヘッドクリーニング］をクリックします。**



3 **［スタート］をクリックします。**

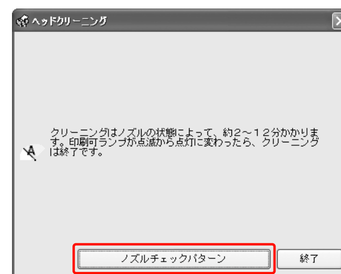
ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 2 ～ 12 分かかります。



4 **［ノズルチェックパターン］をクリックします。**

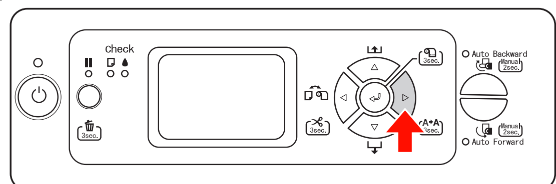
印刷されたノズルチェックパターンを確認してください。

→ 本書 71 ページ「ノズルチェック」



プリンタの操作パネルから行う

1 **印刷可能な状態で▷ボタンを3秒以上押します。**



電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニング（約 2 分）が始まります。電源ランプが点灯に戻れば、クリーニングは終了です。

2 **印刷されたノズルチェックパターンを確認します。**

→ 本書 71 ページ「ノズルチェック」

!重要

- 連続して数回クリーニングしても目詰まりが解消しないときは、パワークリーニングの実行をお勧めします。
  → 本書 74 ページ「パワークリーニング」
- パワークリーニングを行っても目詰まりが解消しないときは、プリンタの電源を切って一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。
  それでも改善されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口へご連絡ください。
- ディスプレイに「クリーニング失敗」というメッセージが表示されたら、以下を参照して対処してください。
  → 本書 86 ページ「ディスプレイにエラーメッセージが表示される」

参考

操作パネルでクリーニングするノズルを選択すると、すべてのヘッドではなく 1 ～2色ずつ個別にクリーニングできます。
→ 本書 27 ページ「[メンテナンス] メニュー」

パワークリーニング

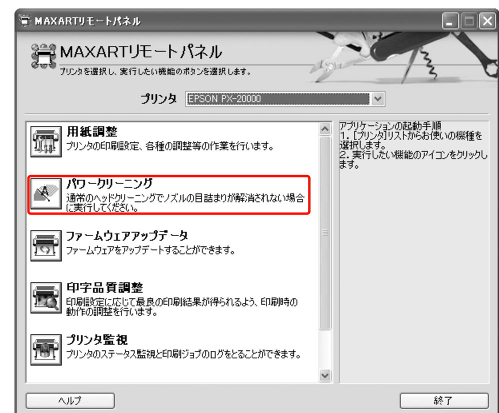
ヘッドクリーニングを数回繰り返しても目詰まりが解消しないときは、次の手順でパワークリーニングを行ってください。

パワークリーニングを行うには、2 つの方法があります。

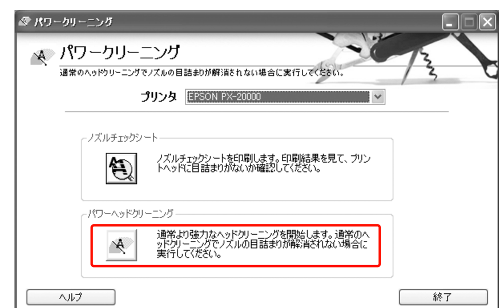
- コンピュータから行う
- プリンタの操作パネルから行う

コンピュータから行う

1 **MAXART リモートパネルの画面で、[パワークリーニング] をクリックします。**



2 **[プリンタ] でプリンタ名を選択し、[パワーヘッドクリーニング] をクリックします。**



以降は、プリンタのディスプレイに表示されるメッセージに従って操作します。

プリンタの操作パネルから行う

1. ▷ボタンを押してパネル設定モードに入ります。

2. △/▽ボタンを押して［メンテナンス］を選択し、▷ボタンを押します。

3. △/▽ボタンを押して［パワークリーニング］を選択し、▷ボタンを押します。

4. ⏎ボタンを押します。

   パワークリーニングが始まります。ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示されます。パワークリーニングは約 3 分かかります。

5. ノズルチェックパターンを印刷して、確認します。

   → 本書 71 ページ「ノズルチェック」

自動メンテナンス機能

本製品には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るために自動的にメンテナンスを実行する機能があります。

自動ノズル抜け検出機能

パネル設定の［自動ノズル抜け検出］を有効にしておくと、ノズルチェックパターンを印刷することなく、プリントヘッドの目詰まりの状態をプリンタが判断し、自動的にクリーニングします。

セルフクリーニング機能

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、プリンタの電源を入れたとき（ウォーミングアップ時）などに定期的に行われます。インクカートリッジすべてのインクを微量吸引して、ノズルの乾燥を防ぎます。
セルフクリーニング中に［ ⏻ ］ボタンを押しても、クリーニングが終了するまで電源は切れません。クリーニング中はプリンタの電源プラグを抜かないでください。

パネル設定の［自動ノズル抜け検出］が［OFF］のときはセルフクリーニングされません。

キャッピング機能

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、以下のときに実行されます。

- 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

正しくキャッピングされるために、以下の点に注意してください。

- プリントヘッドが右端に位置していないとき（キャッピングされていない）は、一度、プリンタの電源を入れ、再度切ってください。プリンタの［ ⏻ ］ボタンで電源を切ることによって、確実にキャッピングされます。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源を切ってしまったときは、再度電源を入れてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で電源を切ってください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落とさないでください。キャッピングされないことがあります。

プリントヘッドのギャップ調整

印刷された画像にズレがあるときはギャップ調整を行ってください。ギャップ調整とは、印刷時のプリントヘッドのズレを修正する機能です。

ギャップ調整を行うには、3 つの方法があります。

- コンピュータ（プリンタドライバ）から行う
- コンピュータ（MAXART リモートパネル）から行う
- プリンタの操作パネルから行う

ギャップ調整は、通常プリンタドライバから行ってください。それでも改善されない場合は、MAXART リモートパネルから行ってください。コンピュータやソフトウェアが手元にない場合は、プリンタの操作パネルから行ってください。

！重要

セットした用紙幅の分だけギャップ調整します。実際に印刷する用紙幅のエプソン製単票紙またはロール紙（普通紙を除く）のご使用をお勧めします。

コンピュータ（プリンタドライバ）から行う

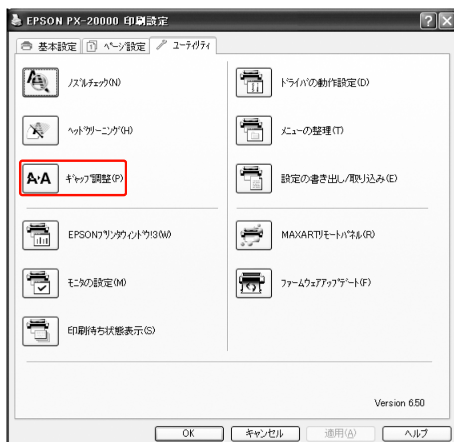
1 **A4 サイズ以上のエプソン製の単票紙またはロール紙をセットします。**

使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

2 **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を表示します。**

3 **［ギャップ調整］をクリックします。**

以降は、画面の表示に従ってください。

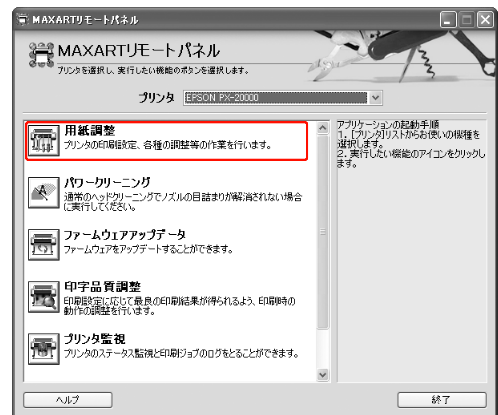


コンピュータ（MAXART リモートパネル）から行う

1 **A4 サイズ以上のエプソン製の単票紙またはロール紙をセットします。**

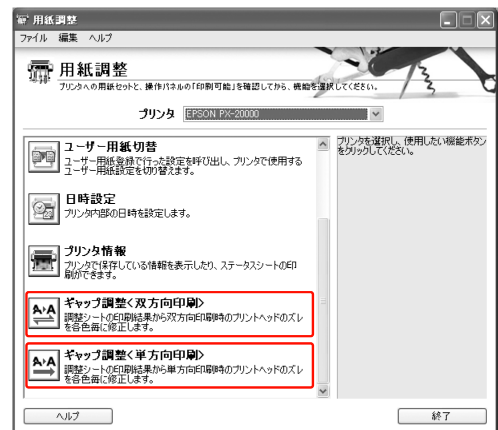
使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

2 **MAXART リモートパネルの画面で、［用紙調整］をクリックします。**



3 **［ギャップ調整＜双方向印刷＞］または［ギャップ調整＜単方向印刷＞］をクリックします。**

以降は、画面の表示に従ってください。



参考

［ギャップ調整＜双方向印刷＞］は印刷速度を優先するときに選択してください。［ギャップ調整＜単方向印刷＞］は印刷品質を優先するときに選択してください。

プリンタの操作パネルから行う

自動調整では、パターンを印刷した後、センサでパターンを読み取り、調整値を自動更新します。
手動調整では、印刷された調整パターンを確認し、調整値を入力することで補正値を更新します。

> **参考**
> 普通紙は自動調整できません。

［用紙種類選択］と［用紙厚選択］

プリンタにセットした用紙の種類と用紙厚を設定します。

1. **A4 サイズ以上のエプソン製の単票紙またはロール紙をセットします。**

   使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

2. **▷ボタンを押してパネル設定モードに入ります。**

3. **△/▽ボタンを押して［ギャップ調整］を選択し、▷ボタンを押します。**

4. **△/▽ボタンを押して［用紙厚入力］を選択し、▷ボタンを押します。**

5. **△/▽ボタンを押して［用紙種類選択］を選択し、▷ボタンを押します。**

6. **△/▽ボタンを押して用紙種類を選択し、▷ボタンを押して用紙を選択し、⏎ボタンを押します。**

7. **◁ボタンを 2 回押します。**

8. **△/▽ボタンを押して［用紙厚選択］を選択し、▷ボタンを押します。**

9. **△/▽ボタンを押して用紙厚を0.1～1.5 mmの範囲で設定し、⏎ボタンを押します。**

   用紙の厚みについては、以下をご覧ください。
   → 用紙ガイド（冊子）
   ギャップ調整の方法は、以下をご覧ください。
   → 本書 77 ページ「＜自動調整の場合＞」
   → 本書 78 ページ「＜手動調整の場合＞」

＜自動調整の場合＞

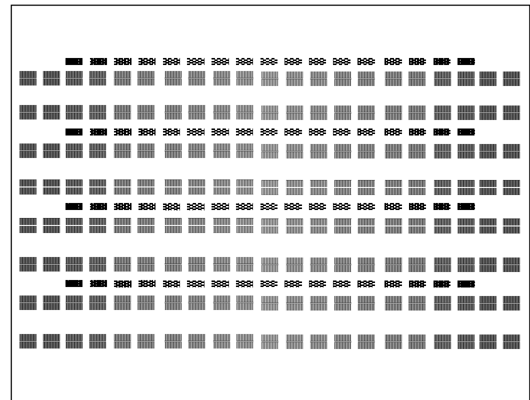
1. **△/▽ボタンを押して［ギャップ調整］を選択し、▷ボタンを押します。**

2. **△/▽ボタンを押して［調整］を選択し、▷ボタンを押します。**

3. **△/▽ボタンを押して［自動］を選択し、▷ボタンを押します。**

4. **△/▽ボタンを押して［Bi-D 2 色］を選択し、⏎ボタンを押して調整パターンを印刷します。**

   印刷される調整パターンをセンサで読み取り、最適な調整値をプリンタへ自動登録します。



調整の結果に満足できないときは、◁ボタンを押して 1 つ上の階層へ戻り、［Bi-D 全色］を選択します。［Bi-D 全色］での調整でも満足できないときは、［UNI-D］で調整をしてみてください。

各プリントヘッドを調整するには、［Bi-D #1］、［Bi-D #2］、［Bi-D #3］、［Bi-D #4］を選択します。［#1］～［#4］は、インクドットのサイズを示します。これは、印刷時のプリンタドライバの設定により異なりますので、次の参照先の表からプリンタドライバの印刷品質設定に合った番号を調整してください。
→ 本書 80 ページ「インクドットサイズ対応表」

＜手動調整の場合＞

プリントヘッドと用紙には、わずかな距離（プラテンギャップ）があるため、温度や湿度、プリントヘッドの移動による慣性力、プリントヘッドの移動方向の違い（右から左と左から右）などによって、各インクの着弾位置が合わなくなることがあります。その結果、粒状感が出たり、ピントがズレたような印刷結果になることがあります。
まずは UNI-D での調整をし、次に Bi-D2 色で調整します。さらに精度の高い調整をしたいときは、Bi-D 全色で調整してください。

説明	
UNI-D	ブラックを基準に、ブラック以外のすべてのインクを使って色ごとの印刷位置のズレを単方向印刷で調整します。
Bi-D 2 色	ライトシアンとビビッドライトマゼンタインクを使って双方向印刷時のズレを調整します。
Bi-D 全色	すべてのインクを使い、双方向印刷でギャップ調整します。

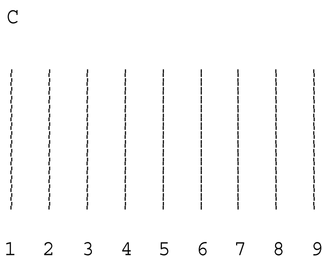
1 **△ /▽ ボタンを押して［調整］を選択し、▷ボタンを押します。**

2 **△ /▽ ボタンを押して［手動］を選択し、▷ボタンを押します。**

3 **△ /▽ ボタンを押して［UNI-D］を選択し、⏎ ボタンを押します。**

> **参考**
> A3 などの単票紙に印刷すると複数枚用紙が必要です。1 枚目の印刷が終了したら、用紙をセットし直してください。

4 **印刷されたギャップ調整パターンを確認し、もっとも線のズレが少ない番号を探します。**

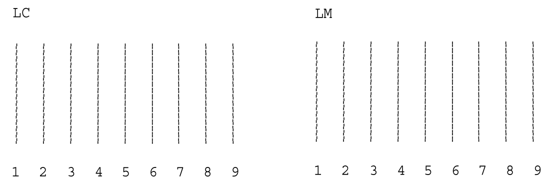


5 **操作パネルのディスプレイに［UNI-D #1C］と表示されたら、△ /▽ ボタンを押して番号を選択し、⏎ ボタンを押します。**

6 **＃ 1 から＃ 4 までのすべての色を設定します。**

7 **▷ボタンを押してから△ /▽ ボタンを押して［Bi-D 2 色］を選択し、⏎ ボタンを押します。**

8 **印刷されたギャップ調整パターンを確認し、もっとも線のズレが少ない番号を探します。**



9 **操作パネルのディスプレイに［Bi-D 2 色 #1LC］と表示されたら、△ /▽ ボタンを押して番号を選択し、⏎ ボタンを押します。**

10 **＃ 1 から＃ 4 まですべて設定します。**

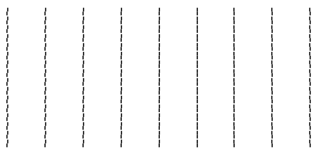
さらに精度の高い調整を行いたいときは、次項の「Bi-D 全色での調整」に進みます。
ギャップ調整を終了するときは、Ⅱ ボタンを押して、パネル設定モードから抜けます。

Bi-D 全色での調整

1 △ /▽ ボタンを押して［Bi-D 全色］を選択し、⏎ ボタンを押します。

> **参考**
> A3 などの単票紙に印刷すると複数枚用紙が必要です。1 枚目の印刷が終了したら、用紙をセットし直してください。

2 印刷されたギャップ調整パターンを確認し、下表の確認内容に合うものを探します。





色記号	確認内容
BK、MB、GY	最も線のズレが少ない番号
C、VM、Y、LC、VLM、LGY	最も四角と線のズレが少ない番号

3 操作パネルのディスプレイに［Bi-D 全色 #1Pk］と表示されたら、△ /▽ ボタンを押して番号を選択し、⏎ ボタンを押します。

4 ＃1から＃4までのすべての色について設定します。

インクドットサイズ対応表

ギャップ調整では、［#1］～［#4］のインクドットサイズを指定します。インクドットサイズは印刷時のプリンタドライバの設定により異なりますので、次の表からプリンタドライバの印刷品質設定に合った番号を調整してください。プリンタドライバの設定がわからない場合は、［#1］～［#4］のすべてを調整してください。

セットしている用紙種類	速い	きれい	高精細	超高精細	品質詳細設定				
					1	2	3	4	5
プロフェッショナルフォト＜厚手 光沢＞ プロフェッショナルフォト＜厚手 半光沢＞ プロフェッショナルフォト＜厚手 絹目＞ プロフェッショナルフォト＜薄手 光沢＞ プロフェッショナルフォト＜薄手 半光沢＞ PX/MC プレミアムマットボード紙 フォトマット紙 / 顔料	－	＃ 2	＃ 3	＃ 4	＃ 2	＃ 2	＃ 3	＃ 3	＃ 4
PX/MC プレミアムマット紙	－	＃ 2	＃ 3	＃ 4	＃ 1	＃ 2	＃ 3	＃ 3	＃ 4
写真用紙 写真用紙＜絹目調＞ Velvet Fine Art Paper 画材用紙 / 顔料 Textured Fine Art Paper UltraSmooth Fine Art Paper	－	－	＃ 3	＃ 4	－	－	＃ 3	＃ 3	＃ 4
MC マット合成紙 2 MC マット合成紙 2 ＜のり付き＞ MC/PM クロス＜防炎＞	＃ 1	＃ 2	－	－	＃ 1	＃ 2	＃ 2	－	－
MC 厚手マット紙	＃ 1	＃ 1	－	＃ 3	＃ 1	＃ 1	＃ 1	＃ 3	＃ 3
普通紙	＃ 1	＃ 1	－	－	＃ 1	＃ 1	＃ 1	＃ 1	－

排紙 / 給紙ローラのクリーニング

印刷後の用紙にローラの汚れが付いたときは、以下の手順に従って、普通紙を給排紙してローラの汚れをふき取ってください。

1 **プリンタの電源をオンにして、64　インチ幅のロール紙をセットします。**

→ 本書 34 ページ「ロール紙のセット」

2 **▽ ボタンを押します。**

紙送りされます。

手順 2 を 2 ～ 3 回繰り返し、用紙に汚れが付かなくなったら、ローラのクリーニングは終了です。
クリーニングが終了したら用紙をカットします。
→ 本書 38 ページ「ロール紙のカット」

プリンタのお手入れ

プリンタをいつでも良い状態で使用できるように、定期的（1ヵ月に 1 回程度）にプリンタのお手入れをしてください。

⚠注意	プリンタ内部に水滴や異物が入らないようにしてください。プリンタ内部が濡れたり異物が混入したりすると、印刷の品質が低下するだけでなく、電気回路がショートするおそれがあります。

プリンタ外部のクリーニング

1 **プリンタから用紙を取り除きます。**

2 **プリンタの電源を切り、ディスプレイの表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。**

3 **柔らかい布を使って、ホコリや汚れを注意深く払います。**

汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた柔らかい布で水気をふいてください。

> **！重 要**
> ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

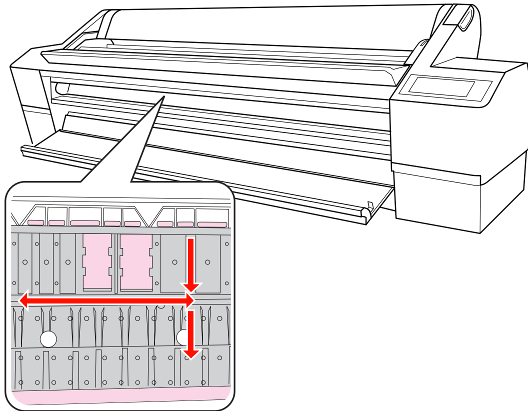
内部のクリーニング

1 **プリンタの電源を切り、ディスプレイの表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **電源プラグを抜いたあと 1 分程放置します。**

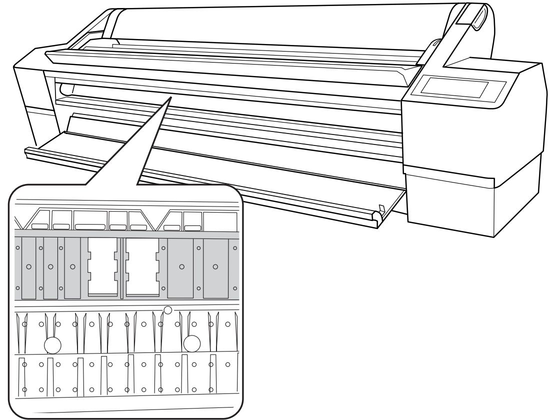
3 **フロントカバーを開け、柔らかい布（ウエスなど）を使って、ホコリや汚れをふき取ります。**

下図のグレーの部分を丁寧にふいてください。汚れを拡散させないために、下図の矢印の方向でふき取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。そして、最後に乾いた柔らかい布で水気をふいてください。

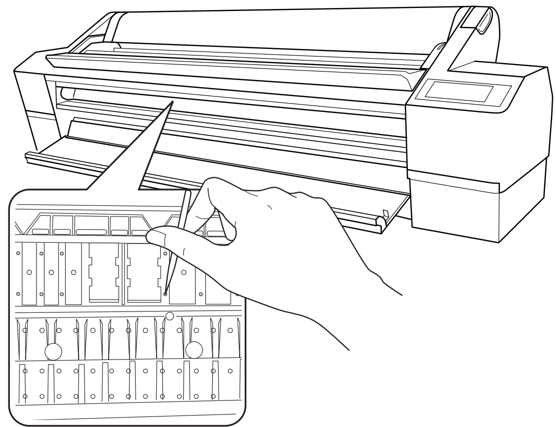


> **重要**
> - クリーニング時、上図のローラーとインク吸収部（図のピンク色の部分）には絶対に触らないでください。印刷汚れなどの原因になります。
> - プリンタ内部のインクチューブには触らないでください。
> - プリントヘッド周辺のケーブル類には触らないでください。故障の原因となります。
>   → 本書 68 ページ「カッターの交換」手順 7

4 **印刷時に用紙の裏が汚れるときは、樹脂部分（図のグレーの部分）を丁寧にふきます。**



5 **樹脂部分に紙粉（白い粉のようなもの）が詰まっているときは、つまようじなどの先の細い物で中に押し込みます。**



プリンタの保管

プリンタを保管するときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。

> **!重要**
> プリンタを傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

プリンタを長期間使用しないときは

- プリンタを長期間使用しないと、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。
  ヘッドの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷することをお勧めします。また、月に 1 回はプリンタの電源を入れて、数分（1 ～ 2 分）おいてください。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリンタ内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。プリンタを使用しないときも、インクカートリッジは全色取り付けた状態にしてください。
- プリンタを長期間使用しないときは、用紙を取り除いてください。用紙をプリンタにセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。

6ヵ月以上使わなかったときは

- パネル設定の［自動ノズル抜け検出］を有効にしておくと、プリントヘッドの目詰まりの状態をプリンタが判断し、自動的にクリーニングします。
- プリンタを長期間使用しなかったときは、必ずノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できないときは、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。
  ディスプレイにはクリーニング中のメッセージおよび進行状況が % で表示されます。
  → 本書 71 ページ「ノズルチェック」
  → 本書 73 ページ「ヘッドクリーニング」
  → 本書 74 ページ「パワークリーニング」
- プリンタを長期間使用しなかったときは、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ヘッドクリーニングを 3 回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されないときは、パワークリーニングを実行してください。
  → 本書 73 ページ「ヘッドクリーニング」
  → 本書 74 ページ「パワークリーニング」
- ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
- 上記の手順を実行しても正常に印刷できないときは、販売店またはエプソンの修理窓口にお問い合わせください。

プリントヘッドの保護について

本製品には、「キャッピング機能」があります。

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。

キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。プリントヘッドが右側にあれば、キャッピングされています。
→ 本書 75 ページ「キャッピング機能」

プリンタの移動・輸送

本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、しっかりと梱包してください。

！重要

- インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し印刷できなくなるおそれがあります。
- 必要な部分以外は触らないでください。故障の原因となります。
- フロントカバー内両側の黒い部品には触らないでください。
- プリントヘッド周辺のケーブル類には触らないでください。

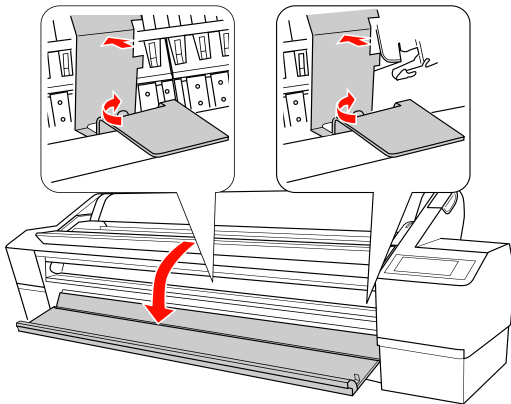
移動・輸送の準備

1 **プリンタの電源を入れて、用紙セットレバーを奥に倒します。**

2 **電源をオフにして、プリンタの電源が切れたことを確認してから電源コードなどのケーブル類をすべて取り外します。**

3 **スピンドルを取り外します。**

4 **フロントカバーを開け、プリントヘッド固定用の金属板を取り付けてネジで固定します。**



参考
金属板は、開梱時に保管しておいたものを使用してください。

5 **フロントカバーを閉じます。**

移動・輸送

本製品を輸送するときは、購入時と同じ状態に梱包してください。

！重要

- 移動や輸送は、水平な状態で行ってください。プリンタ本体を傾けたり立てかけたり、上下を逆にしないでください。プリンタ内部でインクが漏れるおそれがあります。また、移動、輸送後の正常な動作が保証できません。
- 輸送の際は、震動や衝撃からプリンタ本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包してください。

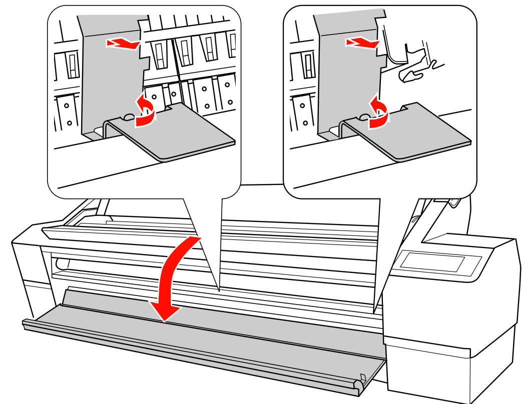
移動・輸送後の手順

移動、輸送後は以下の手順で本製品を使用可能な状態にします。

1 **設置に適した場所か確認します。**

→ 開梱と設置作業を行われる方へ（冊子）「設置に適した場所」

2 **フロントカバーを開け、プリントヘッド固定用の金属板をネジを回して取り外します。**



参考
取り外した金属板は、再輸送時に必要になりますので、保管しておいてください。

3 **フロントカバーを閉じます。**

4 **電源コードを取り付けて、プリンタの電源を入れます。**

→ 本書 8 ページ「保護材の取り外しと 付属品の取り付け」

5 **プリントヘッドの目詰まりがないかを確認します。**

→ 本書 71 ページ「ノズルチェック」

6 **ギャップ調整を行います。**

→ 本書 76 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

困ったときは

ディスプレイにエラーメッセージが表示される

エラーメッセージが表示される

表示されるメッセージには、プリンタ本体の状態に関するメッセージとエラーメッセージの 2 種類があります。

プリンタにエラー（正常でない状態）が発生したときは、操作パネルのランプ表示とディスプレイのメッセージでお知らせします。メッセージ内容を確認し、必要な処置をしてください。

エラーメッセージ	内容	対処方法
インク残量が少なくなりました	インクの残量が少なくなりました。	新しいインクカートリッジを用意して、交換に備えてください。 → 本書 63 ページ「インクカートリッジの種類」
メンテナンスタンク空き容量が少なくなりました	メンテナンスタンクの空き容量が少なくなりました。	新しいメンテナンスタンクと交換してください。 → 本書 66 ページ「メンテナンスタンクの交換」
用紙残量が少なくなりました	用紙残量が少なくなりました。	新しいロール紙を用意し、交換に備えてください。 → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」
タンクなし 左側にあるメンテナンスタンクをセットしてください	メンテナンスタンクが取り外されています。	メンテナンスタンクを正しく取り付けてください。 → 本書 66 ページ「メンテナンスタンクの交換」
タンクなし 右側にあるメンテナンスタンクをセットしてください		
タンクなし 背面中央のメンテナンスタンクをセットしてください		
インクカバー開放不可 右インクカバーの前に物がある場合は取り除いてください	インクカバーが開きません。	インクカバーをふさいでいる物を取り除いてください。
インクカバー開放不可 左インクカバーの前に物がある場合は取り除いてください		
インクカバー開放不可 その後、再度インクカバー開放ボタンを押してください		インクカバーをふさいでいる物を取り除いてから、［インクカバーオープン］ボタンを押してください。
カートリッジ交換中 インクカートリッジをセットしてください	インクカートリッジの交換中に表示されます。	インクカートリッジを交換してください。 → 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換手段」
用紙レバー 用紙レバーを下げてください	用紙セットレバーが手前に起きています（解除状態）。	用紙セットレバーを後ろに倒してください（固定状態）。
用紙レバー解除 用紙をセットしてください		
フロントカバー開 フロントカバーを閉じてください	フロントカバーが開いています。	フロントカバーを閉じてください。

エラーメッセージ	内容	対処方法
インクカバー開 左右のインクカバーを閉じてください	インクカバーが開いています。	インクカバーを閉じてください。
インクカバー開 右側のインクカバーを閉じてください		
インクカバー開 左側のインクカバーを閉じてください		
タンク空き容量不足 左側にあるメンテナンスタンクを交換してください	メンテナンスタンクの空き容量が不足しているため、クリーニングができません。	新しいメンテナンスタンクと交換してください。 → 本書 66 ページ「メンテナンスタンクの交換」
タンク空き容量不足 右側にあるメンテナンスタンクを交換してください)		
タンク空き容量不足 背面中央のメンテナンスタンクを交換してください		
インク残量不足 新しいインクカートリッジと交換してください	インク残量が不足しているため、クリーニングができません。	新しいインクカートリッジと交換してください。 → 本書 61 ページ「インクカートリッジの交換」
タンクエラー 左側にあるメンテナンスタンクを交換してください	メンテナンスタンクが正しくセットされていません。	メンテナンスタンクをセットしてください。 → 本書 66 ページ「メンテナンスタンクの交換」
タンクエラー 右側にあるメンテナンスタンクを交換してください		
タンクエラー 背面中央のメンテナンスタンクを交換してください		
メンテナンスタンク 純正のメンテナンスタンクに交換してください	取り付けたメンテナンスタンクの型番が、本製品で使用できる純正の型番ではありません。	本製品で使用できる純正型番のメンテナンスタンクを取り付けてください。 → 本書 66 ページ「メンテナンスタンクの交換」
メンテナンスタンク 非純正品です　本来の性能が発揮できない場合があります　使いますか <はい　いいえ>	取り付けたメンテナンスタンクの型番が、本製品で使用できる純正の型番ではありません。	「いいえ」を選択して、本製品で使用できる純正型番のメンテナンスタンクを取り付けてください。 → 本書 66 ページ「メンテナンスタンクの交換」
メンテナンスタンク エプソンの保証を受けられない場合があります　同意しますか <する　しない>	取り付けたメンテナンスタンクの型番が、本製品で使用できる純正の型番ではありません。	「しない」を選択して、本製品で使用できる純正型番のメンテナンスタンクを取り付けてください。「する」を選択すると、保証を受けられないことがあります。 → 本書 66 ページ「メンテナンスタンクの交換」
タンク空き容量なし 左側にあるメンテナンスタンクを交換してください	メンテナンスタンクの空き容量がありません。	新しいメンテナンスタンクと交換してください。 → 本書 66 ページ「メンテナンスタンクの交換」
タンク空き容量なし 右側にあるメンテナンスタンクを交換してください		
タンク空き容量なし 背面中央のメンテナンスタンクを交換してください		
カートリッジなし インクカートリッジをセットしてください	インクカートリッジがセットされていないか、外れています。	新しいインクカートリッジを正しく取り付けてください。エラーを起こしたインクカートリッジは取り付けないでください。 → 本書 61 ページ「インクカートリッジの交換」

エラーメッセージ	内容	対処方法
カートリッジエラー インクカートリッジを交換してください	装着しているインクカートリッジに不良箇所が発見されました。または、接触不良の可能性があります。 また、インクカートリッジが結露している可能性があります。	• インクカートリッジをセットし直してください。セットし直しても同じエラーが発生するときは、新しいインクカートリッジに交換してください（不良インクカートリッジは取り付けないでください）。 → 本書 63 ページ「インクカートリッジの種類」 → 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換手段」 • 結露している可能性があるので、4 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 → 本書 63 ページ「交換時のご注意」
インクカートリッジ 純正のカートリッジに交換してください	取り付けたインクカートリッジの型番が、本製品で使用できる純正の型番ではありません。	本製品で使用できる純正型番のインクカートリッジを取り付けてください。 → 本書 63 ページ「インクカートリッジの種類」 → 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換手段」
インクカートリッジ 非純正品です　本来の性能が発揮できない場合があります　使いますか ＜はい　いいえ＞	取り付けたインクカートリッジの型番が、本製品で使用できる純正の型番ではありません。	「いいえ」を選択して、本製品で使用できる純正型番のインクカートリッジを取り付けてください。 → 本書 63 ページ「インクカートリッジの種類」 → 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換手段」
インクカートリッジ エプソンの保証を受けられない場合があります　同意しますか ＜する　しない＞	取り付けたインクカートリッジの型番が、本製品で使用できる純正の型番ではありません。	「しない」を選択して、本製品で使用できる純正型番のインクカートリッジを取り付けてください。「する」を選択すると、保証を受けられないことがあります。 → 本書 63 ページ「インクカートリッジの種類」 → 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換手段」
カートリッジエラー 正しいインクカートリッジをセットしてください	本製品では使用できないインクカートリッジがセットされています。	本製品で使用できるインクカートリッジを正しくセットしてください。 → 本書 63 ページ「インクカートリッジの種類」 → 本書 64 ページ「インクカートリッジの交換手段」
カートリッジエラー マニュアルを参照し、インクカートリッジを確認してください	間違ったカートリッジがセットされています。	本製品で使用できるインクカートリッジを正しくセットしてください。 → 本書 61 ページ「インクカートリッジの交換」
インクカートリッジ インク量が限界値以下の為カートリッジ交換が必要です	インクがなくなりました。	新しいインクカートリッジと交換してください。 → 本書 61 ページ「インクカートリッジの交換」
コマンドエラー ドライバの設定を確認してください。	• 本製品が対応していない形式のデータを受信しました。 • 受信コマンドにエラーがあります。	印刷を中止し、II ボタンを3秒以上押して本製品をリセットしてください。
	使用するプリンタドライバと、接続されているプリンタが異なっている可能性があります。	印刷を中止し、II ボタンを 3 秒以上押して本製品をリセットしてください。接続されているプリンタと、プリンタドライバが一致しているか確認してください。
用紙カットエラー カッターの状態を確認します ［Menu］ボタンを押してください	ロール紙が正しくカットされませんでした。	• フロントカバーを開けて、カットされなかった用紙片を取り除きます。「用紙を正しくセットし直してください」と表示されたら、用紙セットレバーを解除して用紙をセットし直します。 → 本書 101 ページ「以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。」 • カッター刃が磨耗している場合は、交換してください。 → 本書 68 ページ「カッターの交換」
用紙カットエラー カットされなかった用紙を取り除いてください （①「カットされなかった用紙を取り除いてください」が表示された後、 ②「フロントカバーを開けてカッター交換ラベルを見てください」 ③「ラベルを見ながらカッターを交換してください」 ④「フロントカバーを閉じてください」というメッセージが交互に表示されます。）		

エラーメッセージ	内容	対処方法
斜め給紙されました 用紙を正しくセットし直してください	用紙が斜めに給紙されています。	• 印刷領域に正しく印刷されていない可能性があります。印刷結果を確認してください。 • 次の印刷のために用紙を正しくセットし直してください。 → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」 → 本書 40 ページ「単票紙のセット」
用紙認識エラー マニュアルを参照し用紙を正しくセットしてください	用紙が正しくセットされていません。	用紙セットレバーを手前に起こして用紙を取り除いてから、正しくセットし直してください。 → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」 → 本書 40 ページ「単票紙のセット」
巻き取りエラー 自動巻き取り装置に用紙を正しくセットしてください	ロール紙が自動巻き取り装置に正しくセットされていません。	ロール紙を自動巻き取り装置に正しくセットし直してください。 → 本書 44 ページ「自動巻き取り装置」
巻き取りエラー 自動巻き取り装置のセンサ部に障害物がないか確認し、用紙を再セットしてください	自動巻き取り装置のセンサ部に障害物があり、用紙を巻き取れませんでした。	自動巻き取り装置のセンサ部に障害物がないか確認し、ロール紙を自動巻き取り装置に正しくセットし直してください。 → 本書 44 ページ「自動巻き取り装置」
フチなし印刷不可 フチなし対応サイズの用紙をセットするか、用紙を正しい位置にセットしてください	フチなし印刷に対応していない用紙がセットされています。	⏸ ボタンを 3 秒以上押して本製品をリセットし、セットされている用紙を排紙します。排紙後、正しいサイズの用紙をセットしてください。 → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」 → 本書 40 ページ「単票紙のセット」 → 用紙ガイド（冊子）
	単票紙のサイズが正しく認識されていません。	用紙が波打ったり、たわんでいると用紙サイズを正しく認識できません。用紙を平らな状態に修正してから本製品にセットしてください。 → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」 → 本書 40 ページ「単票紙のセット」
	正しいサイズの用紙をセットしている場合は、用紙が正しくセットされていません。	用紙を正しくセットし直してください。 → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」 → 本書 40 ページ「単票紙のセット」
用紙なし 用紙をセットしてください	用紙がセットされていません。	用紙をセットしてください。 → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」 → 本書 40 ページ「単票紙のセット」
	用紙が正しく排紙されませんでした。	用紙セットレバーを手前に起こして用紙を取り除いてください。
	印刷の途中で用紙がなくなりました。	印刷の終了した用紙を取り外し、新しい用紙をセットしてください。残ったデータが印刷されます。
排紙に失敗しました プリンタから用紙を取り除いてください	用紙が正しく排紙されませんでした。	用紙セットレバーを手前に起こして用紙を取り除いてください。
用紙サイズが違います 正しいサイズの用紙をセットしてください	プリンタにセットした用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっています。	印刷データと同じサイズの用紙をセットしてください。
用紙読み取りエラー ⏸ ボタンを押し、異なる用紙を使用してください	設定した用紙種類とプリンタにセットした用紙種類が一致しません。	⏸ ボタンを押し、正しい用紙種類を設定してください。
調整エラー ⏸ ボタンを押したあと、マニュアルを参照し、調整に対応した用紙をセットしてください	セットした用紙はギャップ調整に適していません。	⏸ ボタンを押し、ギャップ調整に適した用紙をセットし直してください。エプソン製専用紙またはエプソン純正専用紙（普通紙を除く）のご使用をお勧めします。 → 本書 76 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
ノズル抜け検出不可 ⏸ ボタンを押してください	オートクリーニングを実行できません。	⏸ ボタンを押してエラーを解除し、クリーニングをやり直してください。 → 本書 71 ページ「ノズルチェック」 クリーニングが開始されない場合は、コンピュータで印刷を中止し、プリンタの電源を一旦切ってから再度入れてください。

エラーメッセージ	内容	対処方法
クリーニング失敗 Ⅱ ボタンを押してください また、再度のクリーニング実施をお勧めします	オートクリーニングを実行しましたが、ノズルがまだ目詰まりしています。	Ⅱ ボタンを押してエラーを解除し、再度クリーニングをしてください。 → 本書 71 ページ「ノズルチェック」 クリーニングが開始されない場合は、コンピュータで印刷を中止し、プリンタの電源を一旦切ってから再度入れてください。
クリーニング実行不可 プリンタから厚紙を取り除いてください	厚紙がセットされているためクリーニングが実行できません。	厚紙を取り外してから用紙セットレバーを後ろに倒してください（固定状態）。
用紙設定エラー 給紙方法をプリンタドライバの設定と合せてください	プリンタドライバの給紙方法がセットした用紙と一致しません。	プリンタドライバの［給紙方法］の設定を確認し、正しい用紙をセットし直してください。
ロール紙取り外し 用紙セットレバーを上げロール紙を外してください	ロール紙がプリンタから取り外されていません。	用紙セットレバーを手前に起こし、ロール紙を取り外してください。 → 本書 39 ページ「ロール紙の取り外し」
巻き取り装置未接続 マニュアルを参照し、自動巻き取り装置を本体に接続し、電源を再投入してください	自動巻き取り装置が正しく接続されていません。	自動巻き取り装置を正しく接続し直してください。 → 本書 44 ページ「自動巻き取り装置」
用紙設定エラー ロール紙を正しくセットしてください	ロール紙に印刷するときに、プリンタにセットした用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっています。	• 印刷データと同じサイズのロール紙をセットしてください。 → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」 • Ⅱ ボタンを押すと印刷を開始します。ただし、用紙からはみ出した印刷データの部分は印刷されません。
用紙設定エラー 単票紙を正しくセットしてください	単票紙に印刷するときに、プリンタにセットした用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっています。	• 印刷データと同じサイズの用紙をセットしてください。 → 本書 40 ページ「単票紙のセット」 • Ⅱ ボタンを押すと印刷を開始します。ただし、用紙からはみ出した印刷データの部分は印刷されません。
F/W インストール アップデート失敗 再起動してください	ファームウェアのアップデートが失敗しました。	電源を一旦切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。 MAXART リモートパネルで、再度ファームウェアのアップデートを行ってください。
用紙が詰まりました 詰まった用紙を取り除いてください	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いてください。 → 本書 101 ページ「以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。」
キャリッジ未解除 プリントヘッドの保護材を取り除いてください	プリントヘッドを固定する金属板が取り付けられています。	プリントヘッドを固定する金属板を取り外してください。 → 本書 84 ページ「プリンタの移動・輸送」
プリンタエラー プリンタを再起動してください	エラー復帰途中でプリンタの再起動が必要になっています。	電源を一旦切り、しばらく待ってから再度電源を入れてください。
メンテナンスコール NNNN	交換部品の交換時期が近付きました（「NNNN」には交換時期が近付いた部品のコードを示します）。	エプソンの修理窓口へ連絡してください。部品を交換しない限り解除されません。対処方法は以下を参照してください。 → 本書 91 ページ「メンテナンスコールが発生したら」

エラーメッセージ	内容	対処方法
サービスコール nnnn 修理窓口にお問い合わせください	1133 または 1137 が表示されたときは、プリントヘッドが固定されている可能性があります。	プリントヘッドを固定する金属板を取り外してください。 → 本書 8 ページ「保護材の取り外しと 付属品の取り付け」 すでに金属板を取り外している場合は、電源を一旦切り、電源コードをコンセントまたはプリンタ背面の AC インレットにしっかり差し込んで、電源を数回入れ直してください。
	3000 が表示されたときは、電源コードがコンセントまたはプリンタ背面の AC インレットに、正しく差し込まれていません。	電源を一旦切り、電源コードをコンセントまたはプリンタ背面の AC インレットにしっかり差し込んで、電源を数回入れ直してください。エラーが解除されたら、そのまま使用できます。再び同じエラーが発生したら、エプソンの修理窓口へ連絡してください。対処方法は以下を参照してください。 → 本書 91 ページ「サービスコールが発生したら」
	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました（「nnnn」はどんなトラブルが発生したかを示すコードです）。	電源を一旦オフにして電源を数回入れ直してください。エラーが解除されたら、そのまま使用可能です。再び同じエラーが発生したら、エプソンの修理窓口へ連絡してください。対処方法は以下を参照してください。 → 本書 91 ページ「サービスコールが発生したら」

メンテナンスコールが発生したら

メンテナンスコールは、プリンタの交換部品の交換時期が近付いたことを示す警告メッセージです。「メンテナンスコール NNNN」が表示された場合は、すぐにお買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口に連絡してください。連絡の際には、「NNNN」（メンテナンスコール番号）を必ず伝えてください。エプソンの修理窓口については、巻末を参照してください。メンテナンスコールが発生した状態で使い続けると、サービスコールが発生します。

サービスコールが発生したら

サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。

- 輸送用金属板を取り外していない
- 電源コードがコンセントまたはプリンタ背面の電源コネクタに正しく差し込まれていない
- エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生した

サービスコールが発生すると、「サービスコール nnnn」と表示され、プリンタは自動的に印刷を停止します。電源を一旦切り、輸送用金属板を取り外してあるか確認します。取り外してあれば、電源コードがコンセントまたはプリンタ背面の電源コネクタに、正しく差し込まれているか確認します。電源プラグをしっかり差し込んでから再度電源を入れてください。サービスコールのメッセージが表示されなくなった場合は、しばらくそのままお使いいただくことができます。再度同じサービスコールのメッセージが表示されてプリンタが使用できなくなった場合は、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口に連絡してください。連絡の際には、必ず「nnnn」（サービスコール番号）を伝えてください。エプソンの修理窓口については、巻末を参照してください。

原因の確認と対処方法

印刷できない（プリンタが動かない）

トラブル状態	対処方法
電源が入らない	**電源プラグがコンセントまたはプリンタから抜けていませんか？** 差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。 **電源コンセントに問題がありませんか？** ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。
プリンタドライバが正しくインストールされていない（Windows）	**［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダに本製品のアイコンはありますか？** • アイコンがある プリンタドライバはインストールされています。次項を確認します。 • アイコンがない プリンタドライバが正常にインストールされていません。プリンタドライバをインストールしてください。 → 本書 14 ページ「プリンタドライバおよびソフトウェアのインストール」
	印刷するポートの設定が使用するプリンタの接続先と合ってますか？ 印刷先のポートを確認します。 プリンタのプロパティ画面で［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］を確認します。 • USB：［USBxxx］（x はポート番号を表す数字） • ネットワーク接続：適切な IP アドレスなど 表示がない場合はプリンタドライバが正しくインストールされていません。プリンタドライバを削除して、インストールし直してください。 → 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「プリンタドライバの削除」
プリンタドライバが正しくインストールされていない（Mac OS X）	**本製品がプリンタリストに追加されていますか？** ［プリンタ設定ユーティリティ］（または［プリントセンター］）を表示して、本製品が追加されているか確認します。 ①ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。 ②［アプリケーション］をクリックして［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。 ③［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。 プリンタ名が表示されないときは、プリンタの追加をしてください。 → 本書 15 ページ「Mac OS X のプリンタ追加方法」

トラブル状態	対処方法
プリンタとコンピュータの接続に異常がある	**ケーブルが外れていませんか？** プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。 → 本書 14 ページ「コンピュータの接続」 **コンピュータの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？** インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類や本製品の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。 → 本書 104 ページ「コンピュータとの接続条件」 **プリンタ切り替え機などを使っていませんか？** プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機や延長ケーブルを使用していると、その組み合わせによっては正常に印刷できないことがあります。プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。 → 本書 14 ページ「コンピュータの接続」 **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？** USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本製品はコンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、このようなときはコンピュータの USB ポートに直接接続してください。 **USB ハブが正しく認識されていますか？（Windows）** コンピュータで USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、プリンタの USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。
ネットワーク環境下で印刷ができない	**操作パネルでネットワーク設定がされていますか？** 操作パネルの［ネットワーク I/F］を［する］に設定して各項目を設定します。 → 本書 31 ページ「［ネットワーク設定］メニュー」 **ネットワーク上の設定は正しいですか？** ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。 **プリンタとコンピュータを USB 接続して、印刷してみてください。** USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの環境に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムの取扱説明書を参照してください。USB 接続で印刷ができない場合は、本書の該当項目を参照してください。
プリンタ側でエラーが発生している	**操作パネルのランプ表示とディスプレイのメッセージで確認します。** → 本書 19 ページ「ランプ」 → 本書 86 ページ「ディスプレイにエラーメッセージが表示される」

トラブル状態	対処方法
印刷が中断されている	**プリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？（Windows）** 印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷が停止すると、プリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。 ［プリンタ］フォルダの本製品のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックしてチェックを外します。 **プリンタ設定ユーティリティ（またはプリントセンター）で、状況が「停止中」になっていませんか？（Mac OS X）** プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティで［ジョブの停止］をクリックすると、停止が解除されるまで印刷されません。 ① Dock で［プリンタ設定ユーティリティ］（または［プリントセンター］）のアイコンをクリックします。 ②状況が［停止中］と表示されているプリンタがあったら、そのプリンタをダブルクリックします。 ③停止中のジョブをクリックし、［ジョブを開始］をクリックします。
あてはまるトラブル状態がない	**プリンタドライバのトラブルか、アプリケーションソフトのトラブルか判断します。** プリンタドライバから印字テストすることにより、プリンタとコンピュータの接続、およびプリンタドライバの設定が正しいかどうかを確認できます。 ①プリンタが印刷可能状態であること（電源が入っていること）を確認し、プリンタに A4 サイズ以上の用紙をセットします。 ②［スタート］から［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。 ③本製品のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］を選択します。 ④プロパティ画面で［全般］タブを選択し、右下の［テストページの印刷］をクリックします。 しばらくすると、テストページの印刷が始まります。 • テストページが正しく印刷されたときは、プリンタとコンピュータの設定は正常です。続いて本書の次の確認項目へ進んでください。 • テストページが正しく印刷されないときは、本書のここまでの項目を再度確認してください。 → 本書 92 ページ「印刷できない（プリンタが動かない）」 * テストページに記載されている「ドライババージョン」とは Windows 内部のドライババージョンであり、お客様がインストールされた当社のプリンタドライバのバージョンとは異なります。

プリンタは動くが印刷されない

トラブル状態	対処方法
インクカートリッジに異常がある	**プリントヘッドは動くが印刷しないときは、プリンタの動作確認をしてください。** ノズルチェックパターンを印刷してください。コンピュータと接続していない状態で、プリンタの動作や印刷状態を確認できます。 → 本書 71 ページ「ノズルチェック」 **ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合はプリントヘッドのクリーニングを行ってください。** → 本書 73 ページ「ヘッドクリーニング」 プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われず、インクカートリッジの交換が必要になってもインクチェックランプが点灯しなかったり、正常な印刷ができないことがあります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。 → 本書 61 ページ「インクカートリッジの交換」 **プリンタを長期間使用していなかったのではありませんか？** プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。プリンタを長期間使用しなかったときの処置は、以下を参照してください。 → 本書 83 ページ「6ヵ月以上使わなかったときは」

印刷品質 / 印刷結果のトラブル

トラブル状態	対象方法
印刷品質が悪い / ムラがある / 薄い / 濃い	**プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？** プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。 プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われず、インクカートリッジの交換が必要になってもインクチェックランプが点灯しなかったり、正常な印刷ができないことがあります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。 → 本書 61 ページ「インクカートリッジの交換」 **プリントヘッドにずれ（ギャップ）が生じていませんか？（双方向印刷時）** 双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。 → 本書 76 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 **インクカートリッジは推奨品（当社純正品）を使用していますか？** 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるなどで色合いが変わることがあります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。 **古くなったインクカートリッジを使用していませんか？** 古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載されている有効期限内（プリンタ装着後は 6ヵ月以内）に使用することをお勧めします。 **［用紙種類］の設定は正しいですか？** プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）/［印刷］画面（Mac OS X）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。 **印刷品質の低いモード（［速い］など）で印刷していませんか？** プリンタドライバで［印刷品質］を［速い］または詳細設定で速度を優先した設定にしていると速度と引き替えに印刷品質が多少低下することがあります。より高品質な印刷を行うときは、［きれい］または［高精細］など、品質を優先した設定にしてください。 **オートフォトファイン（自動画質補正）の設定で印刷していませんか？** オートフォトファイン !EX は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン!EXを有効にしてあると、表示画面の色合いと異なる場合があります。 → 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「オートフォトファイン !EX による自動調整（Windows のみ）」 **カラー調整の設定をしていませんか？** 出力装置（この場合はディスプレイとプリンタ）の違いによってカラー出力の色合いが多少違うことがあります。このような場合に、ディスプレイの色をより忠実に再現するためのカラー調整の機能が用意されています。こうした機能を使ってカラー調整をしてみてください。 → 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「プリンタドライバによる色調整」

トラブル状態	対象方法
印刷品質が悪い/ムラがある/薄い/濃い（つづき）	**ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？** ディスプレイ表示とプリンタで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。 • テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の " 光の三原色 " と呼ばれる 3 色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3 色すべてが光っている状態が白となります。 • 一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、黄（Y）・マゼンタ（M）・シアン（C）の " 色の三原色 " を組み合わせています。まったく色を付けないのが白で、3 色を均等に混ぜた状態が黒になります。 • スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows）や ColorSync（Mac OS X）です。 **ICM（Windows）または ColorSync（Mac OS X）などのカラーマネージメントシステムをお使いの場合、モニタのプロファイル設定を行いましたか？** 正しくマネージメントを行うためには、入力機器・使用アプリケーションが ICM（Windows）または ColorSync（Mac OS X）に対応している必要があります。また、お使いのモニタのプロファイルを設定する必要があります。 → 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「色合いを調整して印刷」 **印刷中にフロントカバーを開けませんでしたか？** 印刷中にフロントカバーを開けると、キャリッジが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はフロントカバーを開けないでください。 **パネルディスプレイに「インク残量が少なくなりました」と表示されていませんか？** インク残量がわずかの場合、印刷品質に影響が出ることがあります。新しいインクカートリッジに交換することをお勧めします。また、カートリッジ交換後も色味が合わない場合は、ヘッドクリーニングを数回実施してください。
他機種と色味が異なる	**機器別にカラーマッチングをしていますか？** プリンタはそれぞれのカラープロファイルを持っており、同じデータで印刷をしても色味が異なって印刷されます。この色味のズレを可能な限り近付けるのがカラーマッチングです。 本製品はプリンタドライバでカラーマッチングができます。エプソンの推奨設定で印刷する場合は機種ごとに印刷色が異なります。印刷色をできるだけ近付けたい場合はカラーマネージメントを利用して印刷してみてください。また、アプリケーションソフトから、本製品のカラープロファイル情報を取り込むこともできます。 → 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「色合いを調整して印刷」 本製品以外のカラーマッチングについては、その機器やアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

トラブル状態	対象方法
印刷位置がずれる / はみ出す	**印刷範囲を指定していますか？** アプリケーションやプリンタの設定で印刷範囲の確認をしてください。 **用紙サイズの設定は正しいですか？** セットした用紙のサイズと、プリンタドライバの［用紙サイズ］が合っていないと、印刷位置がずれたり、データの一部が印刷されなかったりします。印刷設定を確認してください。 **用紙が斜行していませんか？** パネル設定の［斜行エラー検出］が［OFF］になっていると用紙が斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。パネル設定モードの［斜行エラー検出］を［ON］に設定してください。 → 本書 26 ページ「［プリンタ設定］メニュー」 **印刷データは用紙幅に納まっていますか？** 印刷イメージが用紙幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、パネル設定の［用紙幅検出］が［OFF］になっていると用紙幅を超えても印刷してしまいます。パネル設定モードの［用紙幅検出］を［ON］に設定してください。 → 本書 26 ページ「［プリンタ設定］メニュー」
	ロール紙余白を 15mm または 35mm に設定していませんか？ 自動回転した場合や用紙幅いっぱいの印刷（24 インチ幅のロール紙に A1 縦サイズの印刷をしたり A2 横サイズの印刷をする場合など）をする場合、パネル設定の［ロール紙余白］を 15mm、または 35mm に設定すると、印刷領域からはみ出した用紙右端のデータが印刷されなくなります。［ロール紙余白］を 3mm に設定して印刷してください。 → 本書 26 ページ「［プリンタ設定］メニュー」
罫線が左右にガタガタになる	**プリントヘッドにずれ（ギャップ）が生じていませんか？（双方向印刷時）** 双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。 → 本書 76 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
印刷面がこすれる / 汚れる	**用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？** 本製品で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。エプソン製以外の用紙への印刷やラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先または RIP の製造元にお問い合わせください。 **厚い用紙でプリントヘッドが印刷面をこすっていませんか？** 厚い用紙を使用するとプリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。このようなときには、パネル設定の［プラテンギャップ］を［広くする］から［最大］の間より選択して設定してください。 → 本書 26 ページ「［プリンタ設定］メニュー」
用紙にしわが発生する	**一般の室温環境下で使用していますか？** エプソン製の専用紙は一般の室温環境下（温度：15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。また、エプソン製以外の薄紙など使用方法に注意が必要な用紙については、用紙の取扱説明書を参照してください。 **エプソン製の専用紙以外の場合、用紙調整しましたか？** エプソン製以外の用紙を使うときは、用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせた設定を行ってから印刷してください。 → 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「エプソン製以外の用紙への印刷」

トラブル状態	対象方法
印刷した用紙の裏側が汚れる	**パネル設定の［用紙幅検出］を［ON］に設定してください** 印刷イメージが用紙幅より大きい場合、パネル設定の［用紙幅検出］が［OFF］になっていると、そのまま印刷され、印刷領域からはみ出すため、プリンタ内部が汚れます。プリンタ内部をよごさないためにも、パネル設定の［用紙幅検出］を［ON］に設定してください。 → 本書 26 ページ「［プリンタ設定］メニュー」
インクが出すぎてしまう	**［用紙種類］の設定は正しいですか？** お使いの用紙とプリンタの用紙設定を合わせてください。用紙ごとにインクの吐出量をコントロールしているため、例えば写真用紙の設定で普通紙に印刷すると、用紙に対してインクが過剰な状態で印刷されることがあります。 **［インク濃度］の設定は適切ですか？** プリンタドライバの「用紙調整」でインクの濃度を下げてください。用紙によって、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。［用紙調整］画面の詳細はプリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
フチなし印刷ができない、余白が発生する。	**アプリケーションソフト側で適切な印刷データを作成していますか？** プリンタドライバ側だけでなく、アプリケーションソフト側でも用紙設定をしてから印刷してください。 → 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「フチなし印刷」 **用紙の設定は合っていますか？** お使いの用紙とプリンタの用紙設定を合わせてください。 → 用紙ガイド（冊子） **はみ出し量を変更していますか？** フチなし印刷のはみ出し量を調整してください。はみ出し量を［少ない］に設定していると余白が残る場合があります。 → 取扱説明書 2 詳細編（PDF マニュアル）「フチなし印刷」 **用紙の保管は適切でしたか？** 用紙の保管状況によっては、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。用紙の保管方法は用紙の取扱説明書を参照してください。 **フチなし印刷対応用紙を使用していますか？** フチなし印刷対応用紙以外の用紙を使用すると、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。フチなし推奨用紙を使用することをお勧めします。 → 用紙ガイド（冊子）

給紙ミス / 排紙のトラブル

トラブル状態	対処方法
給紙・排紙がうまくできない	**用紙のセット位置は正しいですか？** 以下を参照のうえ正しい位置に用紙をセットしてください。 → 本書 33 ページ「用紙のセット」 用紙が正しくセットされている場合は、使用している用紙の状態を確認します。 **用紙を縦長にセットしていますか？** 単票紙は、必ず縦長にセットして印刷してください。横長にセットすると、用紙が認識されず、エラーが発生します。 → 本書 106 ページ「用紙仕様」 **用紙にシワや折り目がありませんか？** 古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。 **用紙が湿気を含んでいませんか？** 湿気を含んだ用紙は使用しないでください。また、エプソン製の専用紙は、使う分だけ袋から出してください。長期間放置しておくと、用紙が反ったり、湿気を含んで正常に給紙できない原因となります。 **用紙が波打ったり、たわんでいませんか？** 単票紙は、温度や湿度などの環境の変化により波打ったり、たわんでしまい、プリンタ側で用紙サイズを正しく認識できなくなってしまう場合があります。用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。 **用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？** 本製品で使用できる仕様の用紙か確認してください。エプソン製以外の用紙に印刷したり、ラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはRIP の購入先にお問い合わせください。 **一般の室温環境下で使用していますか？** エプソン製の専用紙は一般の室温環境下（温度：15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。 **プリンタに用紙が詰まっていませんか？** プリンタのフロントカバーを開き、プリンタに異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。紙詰まりが発生しているときは、以下を参照しながら用紙を取り除いてください。 → 本書 101 ページ「以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。」 **ロール紙スピンドルのテンションは正しいですか？** 用紙の種類によっては、スピンドルをハイテンションに切り替えていないと、印刷時、用紙にしわが発生します。用紙に合ったテンションにしてください。 普通紙は通常ノーマルテンションに設定しますが、シワがよるときはハイテンションに設定してください。 → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」

トラブル状態	対処方法
用紙が詰まった	**以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。** ①ロール紙の場合は、ロール紙カバーを開き、給紙スロットにセットされている用紙を市販のカッターなどで切り取ります。 ②ポーズランプが点滅していないことを確認してから、用紙セットレバーを手前に起こします。 ロール紙残量機能が［ON（交換時印刷モード）］のときで用紙セットレバーがロックされているときは、⏎ 3 秒以上押してロックを解除してから用紙セットレバーを手前に起こします。 ③ロール紙を巻き戻します。 ④プリンタ内部で用紙が詰まっている場合は、フロントカバーを開けます。
	!重要 プリントヘッド周辺のケーブル類には触らないでください。故障の原因となります。 → 本書 68 ページ「カッターの交換」手順 7

トラブル状態	対処方法
用紙が詰まった（つづき）	⑤詰まった用紙を取り除きます。 ローラー、インク吸収部、インクチューブには絶対に触らないでください。 ⑥プリンタの電源を一旦切ってから、再度入れます。 用紙のセット方法は以下を参照してください。 → 本書 34 ページ「ロール紙のセット」 → 本書 40 ページ「単票紙のセット」

その他

トラブル状態	対処方法
モノクロモードで印刷、もしくは黒データで印刷しているがカラーのインクの減りが速い	**ヘッドクリーニングにより、カラーインクが消費されています。** プリントヘッドのクリーニングをすると、すべてのノズルのクリーニングが行われ、すべての色のインクが消費されます。（モノクロモードを選択していても、クリーニング時にはすべての色のインクが消費されます。） ただし、分割クリーニングを実行することで、クリーニング時のカラーインクの消費を抑えることができます。 → 本書 73 ページ「ヘッドクリーニング」
プリンタドライバが最新ではない	**最新のプリンタドライバを入手してください。** 通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要になることがあります。このようなときは、以下を参照のうえ、プリンタドライバを入手してください。 → 本書 103 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」
用紙がきれいに切り取れない	**カッターを交換してください。** 用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したら、カッターを交換してください。 → 本書 68 ページ「カッターの交換」
Windows でプリンタドライバのコピーができてしまった	**同じプリンタドライバを何度もインストールしていませんか？** Windows において、本製品のプリンタドライバがインストールされている状態で新たに本製品のプリンタドライバをインストールすると、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダの中に［EPSON PX-20000（コピー 2）］、［EPSON PX-20000（コピー 3）］というように、コピーという名称でアイコンが増えていきます。本製品のアイコンを残して、コピーのアイコンは削除しても問題はありません。プリンタフォルダ内に本製品のアイコンが 1 つでも残っていれば、ほかのアイコンを削除しても、本製品のプリンタドライバ自体が削除されることはありません。

お問い合わせいただく前に

エプソンのホームページの Q&A

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

プリンタドライバのバージョンアップ

プリンタドライバをバージョンアップすることによって、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタドライバをお使いいただくことをお勧めします。

最新プリンタドライバの入手方法

最新のプリンタドライバは、以下の方法で入手してください。

- エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）からダウンロードしてください。
- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承ります。

→ 本書巻末



各種ドライバの最新バージョンは、エプソンのホームページまたは FAX インフォメーションにてご確認ください。
ホームページまたは FAX インフォメーションの詳細は、本書巻末にてご案内しています。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では最新のファームウェアのバージョンアップ情報をご提供しています。

また、MAXART リモートパネルを使うと、簡単にファームウェアのアップデートができます。詳細は MAXART リモートパネルのヘルプを参照してください。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのホームページで確認をしても、トラブルが解消されないときは、プリンタの動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

→ 本書 108 ページ「サービス・サポートのご案内」

付録

プリンタドライバの システム条件

付属のプリンタドライバを使用するためのハードウェアおよびシステムの推奨条件は次の通りです。

推奨システム条件

Windows

オペレーティングシステム	Windows 2000 日本語版 Windows XP 日本語版 Windows Vista 日本語版
CPU	Pentium®4 3GHz 以上
主記憶メモリ	1GB 以上
ハードディスク空き容量	32GB 以上
インターフェイス	USB2.0 High Speed Ethernet 100/1000* *Ethernet 100Base-TX/1000Base-T
ディスプレイ	SVGA（800×600）以上の解像度

参考

- Windows 2000 でのインストールは、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。
- Windows XP でのインストールは、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Windows Vista でのインストールは、「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンする必要があります。なお、管理者のパスワードまたは確認を求められる場合があります。パスワードが求められた場合は、パスワードを入力して操作を続行してください。

Mac OS X

オペレーティングシステム	Mac OS X v10.2.8 以降
CPU	PowerPC G5 2GHz以上または Intel 社製プロセッサ
主記憶メモリ	1GB 以上
ハードディスク空き容量	32GB 以上

コンピュータとの接続条件

本製品とコンピュータを接続する条件はお使いになるケーブルによって異なります。また、最新の OS 対応状況は、EPSON のホームページを確認ください。

USB ケーブルで接続する場合

Windows
次の 2 つの条件を満たしている必要があります。

- Windows 2000/XP/Vista がプレインストール（購入時すでにインストールされている状態）されているコンピュータ、または Windows 98/Me/2000 がプレインストールされていて、Windows 2000/XP/Vista にアップグレードしたコンピュータ。
- USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ（コンピュータメーカーにお問い合わせください）。

Mac OS X
アップル社により USB ポートの動作が保証されているコンピュータと OS の組み合わせによるシステム。
アップル社により USB ポートの動作が保証されているコンピュータと OS の組み合わせによるシステム。

ネットワークケーブルで 接続する場合

取扱説明書 ネットワーク編（PDF マニュアル）を参照してください。

本製品の仕様

本製品の技術的な仕様について記載しています。

基本仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	ブラック系：360 ノズル× 4 色（フォトブラック、マットブラック、グレー、ライトグレー）
	カラー：360 ノズル× 5 色（シアン、ライトシアン、ビビッドマゼンタ、ビビッドライトマゼンタ、イエロー）
印刷方向	双方向最短距離印字
解像度（最大）	2880×1440dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター（コマンドは非公開）
紙送り方式	フリクションフィード
内蔵メモリ	メイン用　256MB ネットワーク用　64MB
インターフェイス	USB 2.0 High Speed Ethernet 100/1000

電気関係仕様	
定格電圧	AC100 ～ 240V
入力電圧範囲	AC90 ～ 264V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49.5 ～ 60.5Hz
定格電流	1.2 ～ 0.6A
消費電力	動作時：約 100W 低電力モード時：約 20W 電源ボタンオフ時：1W 以下
絶縁抵抗	10MΩ 以上（DC500V にて AC ラインとシャーシ間）
絶縁耐力	AC1.0kVrms 1 分または AC1.2kVrms 1 秒（AC ラインとシャーシ間）
漏洩電流	0.5mA 以下
適合規格、規制	高調波電流規格 JIS C61000-3-2、VCCI クラス A

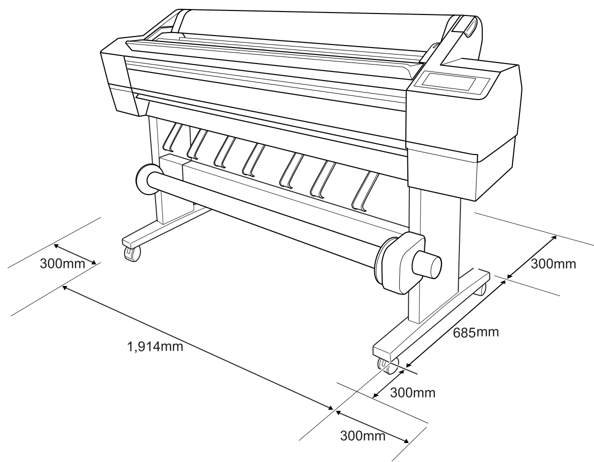
インク仕様	
形態	専用インクカートリッジ
顔料インク	ブラック系：フォトブラック、マットブラック、グレー、ライトグレー カラー：シアン、ライトシアン、ビビッドマゼンタ、ビビッドライトマゼンタ、イエロー
有効期限	個装箱、カートリッジに記載された期限（常温）
印刷品質保証期限	6ヵ月（プリンタ取り付け後）
保存温度	梱包保存時：－ 20 ～ 40 ℃ （40 ℃の場合 1ヵ月以内） 本体装着時：－ 20 ～ 40 ℃ （40 ℃の場合 1ヵ月以内） 梱包輸送時：－ 20 ～ 60 ℃（60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1ヵ月以内）
容量	700ml
カートリッジ外形寸法	40（幅）×320（長さ）× 107（高さ）mm

!重要

- **インクは－ 15 ℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 ℃）で 4 時間以上かけて解凍してから使用してください（非結露）。**
- **インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。**

総合仕様	
温度	動作時：10 ～ 35 ℃ 保存時（開梱前）：－ 20 ～ 60 ℃ （60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1ヵ月以内） 保存時（開梱後）：－ 20 ～ 40 ℃ （40 ℃の場合 1ヵ月以内）
湿度	動作時：20 ～ 80%（非結露） 保存時（開梱前）：20 ～ 85%（非結露） 保存時（開梱後）：5 ～ 85%（非結露）
質量	約 150.5kg（インクカートリッジを含まない）
外形寸法	2348（幅）× 685（奥行き）× 1190（高さ）mm

設置スペース



プリンタの外形寸法：
2348（幅）×685（奥行き）×1190（高さ）mm

用紙仕様

ロール紙

用紙種類	普通紙、再生紙、その他
ロール紙サイズ	2 インチ芯径：外径 103mm 以内 /1 本セット可能
	3 インチ芯径：外径 150mm 以内 /1 本セット可能
用紙サイズ	2 インチ芯径：406 ～ 1626mm（横）× 45m（縦）（ロール紙サイズ内のこと）
	3 インチ芯径：406 ～ 1626mm（横）× 202m（縦）（ロール紙サイズ内のこと）
用紙厚	普通紙、再生紙の場合：0.08 ～ 0.11mm（用紙質量 64 ～ 90g/m2）
	その他の用紙種類の場合：0.08mm ～ 0.50mm
フチなし印刷可能幅	10 インチ、300mm、13 インチ（A3 ノビ）、16 インチ、17 インチ、515mm（B2）、594mm（A1）、24 インチ（A1 ノビ）、728mm（B1）、36 インチ（A0 ノビ）、44 インチ（B0 ノビ）、1200mm、50 インチ、54 インチ

単票紙

用紙種類	普通紙、再生紙、その他
用紙サイズ	A4、A3、A3 ノビ（329 × 483mm）、A2、A1、A1 ノビ（610 × 914mm）、A0、A0 ノビ（914 × 1292mm）、B5、B4、B3、B2、B1、B1（横）、B0、B0 ノビ（1118 × 1580mm）、Letter（8-1/2 × 11 インチ）、USB（11 × 17 インチ）、USC（17 × 22 インチ）、USD（22 × 34 インチ）、USE（34 × 44 インチ）、ARCHA（9 × 12 インチ）、ARCHB（12 × 18 インチ）、ARCHC（18 × 24 インチ）、ARCHD（24 × 36 インチ）、ARCHE（36 × 48 インチ）、六切（8 × 10 インチ）、四切（10 × 12 インチ）、11 × 14 インチ、半切（14 × 17 インチ）、全紙（18 × 22 インチ）、16 × 20 インチ、17 × 24 インチ、大全（20 × 24 インチ）、全倍（22 × 36 インチ）、24 × 30 インチ、30 × 40 インチ、36 × 44 インチ、50 × 64 インチ、60 × 75 インチ、64 × 80 インチ、30 × 40 cm、40 × 60 cm、60 × 90 cm、ユーザー定義サイズ（210 × 279mm）～（1118 × 1580mm）
用紙厚	普通紙、再生紙の場合：0.08 ～ 0.11mm（用紙質量 64 ～ 90g/m2）
	その他の用紙種類の場合 • 用紙長さ 279mm 以上 728mm まで：0.08 ～ 1.50mm • 用紙長さ 728mm を超え 1580mm まで：0.08 ～ 0.50mm • 横入れの場合：0.08 ～ 1.50mm まで対応可能（ただし、普通紙および再生紙の単票紙は必ず縦長にセットしてください）
フチなし印刷可能幅	10 インチ、300mm、13 インチ（A3 ノビ）、16 インチ、17 インチ、515mm（B2）、594mm（A1）、24 インチ（A1 ノビ）、728mm（B1）、36 インチ（A0 ノビ）、44 インチ（B0 ノビ）

エプソン製の専用紙については以下を参照してください。

→ 用紙ガイド（冊子）

! 重要

- 普通紙や再生紙は、上記仕様の用紙を本製品に装着して通紙できますが印刷品質を保証するものではありません。
- そのほかの用紙種類については、上記仕様の用紙が本製品に装着できますが通紙および印刷品質を保証するものではありません。
- しわ、毛羽立ち、破れなどがある用紙は使用しないでください。

環境基本仕様

消費電力	動作時：約 100W 低電力モード時：約 20W 電源ボタンオフ時：1W 以下 * 消費電力を 0W にするためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
省資源機能	割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	インクカートリッジとメンテナンスタンクのリサイクル 弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取り扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジと使用済みメンテナンスタンクの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジと使用済みメンテナンスタンクは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。 最寄りの回収ポスト設置店舗は、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）を参照してください。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスを用意しています。詳細は以下を参照してください。 → 本書 108 ページ「保守サービスのご案内」
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年

本製品の廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事務所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートの一覧

弊社が行っている各種サービス・サポートは以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	本書巻末の一覧表をご覧ください。
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON*	エプソンの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます（東京・大阪）。	
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書の PDF データをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。	エプソンのホームページ
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください（2007 年 9 月現在）。	本書巻末の一覧表をご覧ください。
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	詳細は次項を参照してください。

*「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

→ 本書 86 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

* 改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（本書巻末の一覧表をご覧ください）
  受付日時：月曜日～金曜日　（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代･部品代 * は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙）などは、保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料 + 技術料 + 部品代 修理完了後そのつどお支払いください。

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。（年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。）
- 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

索引

A

Auto Backward... 19
Auto Forward... 18, 19

B

Bi-D 2 色 ... 78
Bi-D 全色 ... 78
BONJOUR... 31

C

CUSTOM... 32

E

EDM ステータス ... 28
EPSON Printer Utility2... 62
EPSON プリンタウィンドウ !3... 62

I

IP,SM,GM 設定 ... 31
IP アドレス設定 ... 31

M

MAXART リモートパネル ... 74
Menu ボタン ... 18

P

PX-P/K3 インク ... 7

S

SS クリーニング ... 32

U

UNI-D... 78
USB インターフェイスコネクタ ... 6

あ

アタッチメント ... 34

い

インクエンドランプ ... 19
インクカートッリッジ収納ボックス ... 6
インクカートリッジ ... 58
インクカートリッジの交換 ... 61, 64
インクカバー ... 6, 64
インクカバーオープンボタン ... 6
インク残量 ... 28, 62
インクドットサイズ ... 80
印刷 ... 51
印刷可能枚数 ... 28
印刷可能領域 ... 50
印刷の中止 ... 55
インターフェースケーブル ... 59

え

エプソン製の専用紙 ... 58
エラーメッセージ ... 86

お

お手入れ ... 81
オプション ... 58

か

各色インク残量の目安 ... 20
カッター位置調整 ... 27
カッター替え刃 ... 58
カッター交換 ... 27
カッターの交換 ... 68
カット圧調整 ... 32
カット方法 ... 30
乾燥時間 ... 30

き

キャッピング ... 75
ギャップ調整 ... 76
ギャップ調整メニュー ... 31
給紙スロット ... 12, 40
吸着力 ... 30
切り取り線 ... 26

く

クリーニング ... 70
クリーニング (プリンタ外部)... 81

こ

固定用紙ストッパ ... 35
コントラスト調整 ... 27

さ

サービスコール ... 91

し

紙管 ... 34, 47, 48
システム条件 ... 104
実行ボタン ... 18
自動カット ... 38
自動ノズルチェック印刷 ... 27
自動ノズル抜け検出 ... 26
自動ノズル抜け検出機能 ... 75
自動巻き取り装置 ... 44
自動メンテナンス機能 ... 75
斜行エラー検出 ... 26
手動カット ... 38
仕様 ... 105
使用済みインクカートリッジ回収ポスト ... 65
消費量 ... 28
消費量クリア ... 28
消耗品 ... 58
ジョブ情報 ... 27
ジョブ履歴 ... 28

す

ステータスシート ... 27
スピンドル ... 6, 34
スピンドル受け ... 36

せ

設置スペース ... 106
設定初期化 ... 27
設定メニュー ... 21
設定メニュー一覧 ... 23, 26
セルフクリーニング機能 ... 75
センサランプ ... 45

そ

総印刷枚数 ... 28
操作パネル ... 6, 18

た

単位設定 ... 32
単票紙 ... 33, 40

ち

調整 ... 31

て

ディスプレイ ... 19
テスト印刷メニュー ... 27
デュアルテンションスピンドル ... 58
電源オン時ロール紙送り ... 32
電源コネクタ ... 6
電源ボタン ... 18
電源ランプ ... 19
テンション ... 34

に

日時設定 ... 27

ね

ネットワーク I/F... 31
ネットワークインターフェイスコネクタ ... 6
ネットワークシート ... 27
ネットワーク初期化 ... 31
ネットワーク設定メニュー ... 31

の

ノズルチェック ... 27, 71

は

バージョン ... 28
バージョンアップ ... 103
排紙 ... 44
排紙 / 給紙ローラ ... 81
排紙サポート ... 6
排紙バスケット ... 49, 58
パネル設定初期化 ... 32
パワークリーニング ... 27, 74

ひ

表示言語 ... 32

ふ

フォトブラック ... 57
ブラックインク種類の使い分け ... 57
プラテンギャップ ... 26, 30
プラテンギャップの設定 ... 20
プリンタステータスメニュー ... 28
プリンタ設定メニュー ... 26
プリントヘッド ... 70
プリントヘッド固定用の金属板 ... 84
プログレスメータ ... 52
フロントカバー ... 6
分割クリーニング ... 27

へ

ヘッドクリーニング ... 73

ほ

ポーズ / リセットボタン ... 18
ポーズランプ ... 19
ボタン ... 18

ま

マージンリフレッシュ ... 26
巻き取り装置接続用コネクタ ... 6
マットブラック ... 57

め

メッセージ ... 19
目詰まり ... 70, 71, 73, 74
メンテナンスコール ... 91
メンテナンスタンク ... 6, 28
メンテナンスタンクの空き容量の目安 ... 20
メンテナンスタンクの交換 ... 66
メンテナンスタンク（メンテナンスタンク）... 58
メンテナンスメニュー ... 27
メンテナンスモード ... 32

も

モノクロ写真印刷 ... 7

ゆ

ユーザー用紙設定 ... 27, 29
ユーザー用紙設定の登録番号 ... 19
ユーザー用紙設定メニュー ... 29

よ

用紙厚検出パターン ... 30
用紙厚入力 ... 31
用紙送り補正 ... 30
用紙送りボタン ... 18
用紙種類選択 ... 29
用紙種類とロール紙カット設定 ... 20
用紙設定メニュー ... 29
用紙セットレバー ... 6
用紙選択ボタン ... 18
用紙チェックランプ ... 19
用紙詰まり ... 101, 102
用紙の厚さ ... 33
用紙のサイズ ... 33
用紙幅検出 ... 26
用紙番号選択 ... 29

り

リサイクル（インクカートリッジ）... 65

ろ

ロール紙余白設定 ... 26
ロール紙 ... 33
ロール紙カバー ... 6
ロール紙固定ベルト ... 58
ロール紙残量 ... 19, 29
ロール紙のセット ... 34
ロール紙余白の設定値 ... 19

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

Info-ZIP copyright and license

EPSON

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00〜17:30 月〜金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日〜金曜日　9:00〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　050ー3155ー7150【受付時間】月〜金曜日9:00〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30〜20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00〜20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066 【受付時間】月〜金曜日9:00〜20:00　土日祝日10:00〜17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月〜金曜日　9:00〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221ー7911　東京(042)585ー8500　名古屋(052)202ー9532　大阪(06)6397ー4359　福岡(092)452ー3305

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日〜金曜日 9:30〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日〜金曜日 9:30〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！　http://myepson.jp/　▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120ー545ー101）でお買い求め下さい。(2007年9月現在)

エプソン販売株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（インク）2007. 9



411022200

Printed in XXXXX 07.xx-xx　XXX

EPSON PX-20000 取扱説明書1 セットアップと使い方編